



博愛病院年誌

博愛便2022

HAKUAI information



博愛病院の理念

私たちは博愛の心で医療を行い地域に貢献します

運営の基本方針

- 1 急性期から慢性期まで、患者さんの価値観に配慮した医療を提供します。
- 2 新しい医療知識と技能を修得し、根拠に基づいた医療を実践します。
- 3 博愛病院職員としての誇りを持ち、患者さんの心に寄り添う接遇を行います。
- 4 医療と介護の懸け橋となり、地域包括ケアシステムの円滑な運用に貢献していきます。
- 5 地域の期待と信頼に応えるため、断らない救急医療を目指します。
- 6 健康診断や人間ドックを推進し、病気の予防と早期発見に努めます。
- 7 これらの方針を実現するため、健全な病院経営を行います。

重点施策（博愛病院 BSC2022）

- 1 経営の改善
- 2 組織運営の見直し
- 3 救急医療の充実
- 4 新規事業の開拓

日本医療機能評価機構認定



2019年 3月 公益財団法人 日本医療機能評価機構認定
認定番号JC2308 バージョン 3rdG:Ver.2.0

2021年 3月 期中の確認完了

2024年10月 更新予定

参考1) 博愛 (philanthropy: フィランソロピーの訳語) とは、人類への愛に基づいて、人々のwell being (心や体が健やかな状態で人生を送れること) を改善し、高めることを目的とした利他的活動や奉仕的活動をいう。大正10年10月本院が設立された時に病院名の由来となった。

参考2) 地域包括ケアシステムの法律上の定義(H25年社会保障プログラム法、H26年医療介護一括法)は、地域の実情に応じて、高齢者が自立した日常生活の支援が包括的に確保される体制をいう。可能な限り、住み慣れた地域でその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される体制をいう。



博愛病院年誌「博愛便 2022」発刊にあたり

同愛会 理事長 石部 裕一

日頃は、社会医療法人同愛会博愛病院に対して多大なご支援とご指導を賜り厚く御礼を申し上げます。

今年も「博愛便 2022」をお届けすることが出来ました。本誌は、私たちの医療活動の現状を知っていただくと共に、一貫した編集方針で病院の現状と診療実績に加えて様々な活動を正確に記録し将来の病院誌編纂に資することを目指しています。

同愛会では執行部の年次目標に基づき各部署は年間活動計画を Balance Score Card で作成し、それをもとに活動しPDCAを廻しています。どうか関連医療機関の皆様方には活動実績をご高覧頂き、ご指導ご鞭撻をお願いいたします。

さて、令和3年度最大のイベントは2021年10月3日ANAクラウンプラザホテル米子で博愛病院創立100周年記念事業を行ったことです。平井伸治鳥取県知事、伊木隆司米子市長、渡邊憲鳥取県医師会長（代理小林副会長）、中村廣繁鳥取大学医学部長はじめ多数の皆様のご列席を得て、理事長式辞、来賓祝辞、スライドショー「博愛病院物語」、感謝状贈呈、Chie Sadayama Gala Concert、法人歌発表、記念講演「コロナ禍における保健医療体制について」、パネルディスカッション「アフターコロナの西部医療体制について」と多彩なプログラムを行うことができました。ご参列、ご講演いただいた方々に改めて感謝いたします。

博愛病院の診療面では、入院は延60,151人（前年度比

96.8%）、外来は延81,616人（前年度比99.9%）で入院患者が減少しました。コロナ関連診療では発熱・感染症外来では1,384名を診察し108名が陽性（陽性率7.8%）、専用病棟では入院患者は160名、延入院日数は1,136日（平均在院日数7.1日）でした。経営面では昨年度に引き続き「新型コロナウイルス感染症重点医療機関」の指定を受けたことで空床補償収入などにより黒字決算となりました。

介護老人保険施設「やわらぎ」はデイケア部門の減少によりやや実績を落としましたが、医療的ケア児の訪問診療など特殊なニーズに対応する「博愛こども発達在宅支援クリニック」は開設3年目に入り順調に運営できています。博愛病院のサテライトクリニック「ふくよね博愛クリニック」は4月に開設となりました。同愛会グループの「やすぎ博愛クリニック」は増改築が完成し、新規にレディース検診を加えて5月に再スタートしました。

博愛病院では社会医療法人の要件である時間外診療はもとより、これまで以上に社会に貢献する病院としてその機能を充実していきたいと思えます。私たちは「いつまでも未達成」を自覚して、「常に新しい医療サービスの創造」を目指してまいります。

本誌が地域医療機関の皆様と同愛会博愛病院職員の懸け橋となることを願って発刊のご挨拶とします。

2022年夏

Profile

1967年 鳥取大学医学部医学科卒業
 1968年 鳥取大学医学部附属病院研修医
 1969年 天理よろづ相談所病院麻酔科医員
 1971年 鳥取県立中央病院麻酔科医員
 1974年 学校法人近畿大学医学部附属病院麻酔科講師
 京都大学胸部疾患研究所臨床肺生理部門医員併任
 1979年 近畿大学医学部麻酔科学講座講師
 近畿大学医学部附属病院集中治療室室長兼務
 京都大学胸部疾患研究所非常勤講師併任
 1986年 米国ペンシルベニア大学医学部麻酔科客員研究員
 1989年 厚生労働省官立大阪南病院麻酔科医長
 近畿大学医学部非常勤講師併任
 1991年 文部教官教育職鳥取大学医学部麻酔学講座助教授
 1997年 鳥取大学医学部麻酔・蘇生学（現：麻酔・集中治療医学）講座教授
 鳥取大学医学部集中治療部長兼務
 2001年 鳥取大学医学部附属病院副院長
 2003年 鳥取大学医学部附属病院院長
 2005年 鳥取大学医学部附属病院院長
 鳥取大学理事 鳥取大学副学長 鳥取大学医学部教授兼務
 2007年 独立行政法人労働者健康福祉機構山陰労災病院院長
 2013年 独立行政法人労働者健康福祉機構山陰労災病院顧問
 （将来構想アドバイザー）
 独立行政法人労働者健康福祉機構山陰労災病院名誉院長

2013年 医療法人真誠会理事 院長代理
 2015年 医療法人同愛会理事長 博愛病院院長
 2016年 博愛病院院長退任
 2020年 社会医療法人同愛会理事長
 2022年 社会医療法人同愛会理事長 博愛病院院長

主な所属学会と取得資格

日本麻酔科学会（会員・認定指導医）
 日本集中治療医学会（専門医・功労会員）
 日本蘇生学会（功労会員）
 日本臨床麻酔学会（会員）
 日本医療マネジメント学会（会員）
 日本老年麻酔学会（理事）
 American Society of Anesthesiologists
 Society of Critical Care Medicine
 山陰リスクマネジメント研究会（代表世話人）
 厚生労働省 麻酔科標榜医
 日本医師会 認定産業医
 厚生労働省健康局長 緩和ケア研修会修了

目次

博愛病院の理念・運営の基本方針・重点施策(BSC) …	1
巻頭言 ……………	2
目次……………	3
沿革……………	4
令和3年度の主な出来事 ……………	5
病院概要 ……………	6
組織図 ……………	8

診療科・専門外来

内科(消化器内科) ……………	10
内科(循環器内科) ……………	13
内科(呼吸器内科) ……………	14
内科(糖尿病内科) ……………	16
内科(脳神経内科) ……………	17
内科(総合診療内科) ……………	19
外科(一般外科・消化器・肛門外科) ……………	20
外科(乳腺外科) ……………	23
外科(アミノインデックス外来) ……………	24
外科(腎臓外科(腎臓移植)) ……………	26
整形外科 ……………	27
産婦人科 ……………	29
麻酔科 ……………	31
放射線科 ……………	32
眼科 ……………	33
小児科 ……………	34
臨床検査科 ……………	34
非常勤医師による専門外来 ……………	35
救急科・救急診療体制 ……………	36

看護部

看護部 ……………	37
外来看護部 ……………	38
2階病棟(地域包括ケア病床) ……………	38
3階A病棟(療養病床) ……………	39
3階B病棟(回復期リハビリテーション病床) ……………	39
4階A病棟(一般病床、地域包括ケア病床) ……………	40
4階B病棟(一般病床) ……………	40

中央診療部

手術室 ……………	41
透析室 ……………	41
内視鏡室 ……………	42
化学療法室 ……………	42
ドック健診センター ……………	43

診療技術部

薬剤部 ……………	44
臨床検査部 ……………	45
診療放射線部 ……………	46
リハビリテーション部 ……………	47
臨床工学室 ……………	48
栄養管理室 ……………	49

在宅医療センター

在宅医療センター ……………	50
訪問診療部 ……………	50
訪問看護ステーション博愛 ……………	51
訪問リハビリテーション博愛 ……………	51
サービスプラン博愛 ……………	52
ヘルパーステーション博愛 ……………	52

医療安全管理部

医療安全対策室 ……………	53
感染対策室 ……………	53

チーム医療

感染対策チーム(ICT) ……………	54
栄養サポートチーム ……………	54
緩和ケアチーム ……………	55
褥瘡対策チーム(スキンケアチーム) ……………	55
心不全チーム ……………	56
がんのリハビリテーションチーム ……………	56
呼吸サポートチーム(RST) ……………	57
整形外科チーム ……………	57
糖尿病チーム ……………	58

患者支援部

地域連携室・入退院支援室・医療相談室・患者相談室 ……	59
-----------------------------	----

その他

事務部・医師支援室・情報システム管理室 ……………	60
活動目標……………	62
医療の質に関する指標 ……………	64
教育・研究実績 ……………	68
満足度調査(患者・開業医・職員) ……………	72
広報物紹介 ……………	76
外来診療予約・放射線科検査予約について ……………	77

外来診療担当医師一覧表

沿革

年 月	事 項
大正 9年	株式会社博愛病院創立の趣旨決定
大正10年 7月12日	博愛病院創立総会開催
大正10年10月 3日	株式会社博愛病院として登記(創立記念日とする)西伯郡米子町東倉吉町40番地
大正11年 6月20日	加茂町に博愛病院開院(総病床数130床)西伯郡米子町加茂町1丁目1番地
大正11年	看護婦養成所設立
昭和28年	第10病棟・第11病棟建築増床(総病床数242床)
昭和38年 6月 1日	株式会社から医療法人へ移行
昭和39年 9月	6床増床(総病床数248床)
昭和45年 3月	隔離病棟閉鎖・病床再編(総病床数195床)
昭和50年10月	加茂町から両三柳へ新築移転(総病床数180床)
昭和61年 1月	人工透析を導入し治療開始(4床)
昭和62年 7月	救急指定病院となる
平成 元年 7月	東館完成52床増床(総病床数232床)
平成 5年 5月	小児専門病棟30床増床(総病床数262床)
平成 6年 5月	介護老人保健施設やわらぎ開設
平成10年 2月	10床増床(総病床数272床)
平成11年12月	社会福祉法人博愛会設立に協賛、「博愛苑」開設支援
平成14年12月	本館増改修移転(総病床数247床)
平成19年 4月	訪問看護ステーション博愛と訪問看護センター合併し、博愛病院内に「訪問看護ステーション博愛」を設置
平成20年 8月	1階小児科病棟を閉鎖し、本館4階へ移転
平成21年 4月	回復期リハビリテーション病棟開設 病床再編:一般病床(急性期)217床、回復期リハビリテーション病床30床(総病床数247床)
平成21年 4月	院内保育所(はくあい保育園かるがも)開設
平成23年 7月	がん診療連携拠点病院に準じる病院に指定
平成25年 7月	特定医療法人財団へ法人名変更
平成25年 9月	病床数削減再編:一般病床(急性期)131床、回復期リハビリテーション病床30床、療養病床(医療型)38床(総病床数199床)
平成26年 6月	病床再編:一般病床(急性期)115床、回復期リハビリテーション病床30床、療養病床(医療型)38床、地域包括ケア病床16床(総病床数199床)
平成27年 6月	病児保育所(病児保育かるがも)開設
平成27年11月	病床再編:一般病床(急性期)80床、地域包括ケア病床51床、回復期リハビリテーション病床30床、療養病床(医療型)38床(総病床数199床)
平成29年 5月	在宅医療センター竣工
平成30年 1月	病床再編:一般病床(急性期)72床、地域包括ケア病床59床、回復期リハビリテーション病床30床、療養病床(医療型)38床(総病床数199床)
平成31年 4月	博愛こども発達・在宅支援クリニック開設
令和 2年 2月	社会医療法人へ法人格変更
令和 2年 4月	日立記念病院を承継し、やすぎ博愛クリニックとして業務開始
令和 4年 4月 4日	ふくよね博愛クリニック開設

令和3年度の主な出来事

年	月	日	事 項
令和3年	4月	1日	辞令式、新採用者オリエンテーション(14名)
	4月	1日	看護部ユニフォーム変更
	4月	14日	新型コロナワクチン用ディープフリーザー納品
	4月	26日	新型コロナウイルス感染症患者専用病棟運用再開
	5月	1日	クールビズ実施(9月30日まで)
	5月	10日	救急医療研修会
	5月	11日	看護の日ポスター展示(5月31日まで)
	5月	28日	BSCスプリングレビュー
	6月	8日	創立100周年記念おめでとうメッセージボード設置
	6月	8日	新型コロナウイルスワクチン個別接種開始
	6月	30日	開業医満足度調査実施
	7月	19日	第1回 院内感染対策オンライン研修会(8月15日まで)
	7月	26日	防災避難訓練実施
	7月	26日	第1回 医療安全オンライン研修会(8月27日まで)
	8月	1日	同愛会組織改編 経営統括部設置(財務管理室、経営企画室、戦略推進室)、事業統括部廃止
	8月	2日	紙おむつ(日額制サービス)導入
	8月	4日	同愛会ロゴマーク決定
	8月	16日	胸部CT診断支援システム導入
	8月	23日	正面玄関完成
	8月	27日	新型コロナウイルス感染症メディカルチェックセンター委託業務開始
	9月	1日	骨塩定量検査共同利用開始
	9月	1日	人事労務管理新システム更新(SmartHR)
	9月	17日	管理者育成講習会実施(令和4年2月まで全10回)
	9月	22日	はくあい健康カレンダー加茂地区自治会へ配布
	9月	30日	入院費立替払いシステム導入
	10月	1日	インフルエンザ予防接種受付開始
	10月	1日	敷地内保険調剤薬局(日本調剤博愛前薬局)オープン
	10月	3日	創立100周年記念式典開催
	10月	4日	かるがもパトロール活動開始
	10月	5日	米子商工会議所永年会員加入事業所表彰 感謝状、盾授与
10月	14日	防災避難訓練実施	
10月	26日	創立100周年記念品(マイボトル・カレンダー)職員へ配布	
10月	26日	オンライン面会利用エリア拡大(自宅等、遠隔接続可能)	
10月	28日	創立100周年記念碑建立募金募集(1月14日まで)	
10月	29日	医学・看護関連書展示会開催	
11月	12日	ふくよね博愛クリニック準備委員会キックオフ	
11月	12日	3A病棟改修工事終了(人工呼吸器等整備5床)	
11月	15日	メンタルヘルス研修会	
11月	26日	BSCオータムレビュー	
11月	27日	創立100周年記念事業特別番組放送(12月17日まで全28回放送)	
12月	14日	メンタルヘルスオンライン研修会(1月18日まで)	
12月	14日・16日・21日	BLS研修会	
12月	17日	新型コロナワクチン3回目追加接種実施(医療従事者等)	
12月	22日	新型コロナ患者入院専用病床確保期間の延長(1月10日まで)	
12月	31日	PCR検査(自費)価格改定	
令和4年	1月	4日	新年互例会
	1月	17日	外来患者満足度調査実施(1月21日まで)
	1月	21日	新型コロナ患者入院専用病床確保期間の延長(3月末まで)
	1月	24日	入院・透析患者満足度調査実施(2月28日まで)
	1月	26日	倫理・人権研修会
	2月	5日	倫理・人権オンライン研修会(3月14日まで)
	2月	8日	虐待防止オンライン研修会(2月28日まで)
	2月	17日	新型コロナ患者入院専用病床確保期間の延長(5月末まで)
	3月	1日	第2回 医療安全対策・医療ガス安全管理オンライン研修会(3月25日まで)
	3月	7日	博愛病院東側駐車場新設運用開始
	3月	7日	個人情報保護オンライン研修会(3月31日まで)
	3月	11日	3回目新型コロナワクチン接種開始(予定:9月まで)
	3月	14日	ドック健診職員ご家族半額キャンペーン開始(3月28日まで)
	3月	14日	第2回 院内感染対策オンライン研修会(3月31日まで)
	3月	30日	創立100周年記念碑除幕式

病院概要

法人名称	社会医療法人同愛会 理事長 石部裕一
病院名称	博愛病院 院長 石部裕一
所在地	〒683-0853 鳥取県米子市両三柳1880番地 TEL(0859)29-1100(代) FAX(0859)29-6322
創立	大正10年10月
病床数	199床 急性期一般入院料4(DPC) 72床/地域包括ケア病棟入院料1 51床 地域包括ケア入院医療管理料1 8床/回復期リハビリテーション病棟入院料3 30床 療養病棟入院基本料1 38床
診療科	内科、消化器内科、肝臓内科、循環器内科、呼吸器内科、糖尿病内科、内分泌内科、脳神経内科、人工透析内科、外科、消化器外科、肛門外科、乳腺外科、腎臓外科(臓器移植)、小児科、整形外科、リハビリテーション科、産婦人科、麻酔科(佐藤章子)、放射線科、臨床検査科、眼科、皮膚科、泌尿器科、血液内科、救急科【計26科】
専門外来	人工関節専門外来、骨粗鬆症専門外来、糖尿病専門外来、乳腺専門外来
センター	ドック健診センター、在宅医療センター(訪問看護ステーション博愛、訪問リハビリテーション博愛、サービスプラン博愛、ヘルパーステーション博愛)
その他事業	居宅療養管理指導事業 博愛居宅療養管理指導センター、障害福祉サービス事業重度障がい児者医療型ショートステイ、重度後遺障害者短期入院協力事業
関連施設	ふくよね博愛クリニック、博愛こども発達・在宅支援クリニック、介護老人保健施設やわらぎ、病児保育かるがも、院内保育所はくあい保育園かるがも、やすぎ博愛クリニック
敷地内禁煙	実施あり

職員数(職種別)

医師	34	臨床工学技士	5
薬剤師	7	管理栄養士	3
看護師	186	MSW	3
診療放射線技師	10	介護支援専門員	5
臨床検査技師	13	介護福祉士	20
理学療法士	25	看護助手	11
作業療法士	19	事務員等	68
言語聴覚士	9		

総数(嘱託、パート、出向含む) **418**

施設指定

がん検診精密検査医療機関

①胃がん②大腸がん③肝臓がん④肺がん⑤乳がん⑥子宮がん
(鳥取県健康対策協議会) (鳥取県成人健診管理指導協議会)

鳥取県心臓疾患精密検査医療機関

鳥取県肝疾患専門医医療機関

鳥取県肝炎ウイルス医療機関検診協力医療機関

骨粗鬆症精密検査医療機関 (鳥取県保健事業団)

保険医療機関

救急指定病院

労働災害保険指定病院

労災保険二次健診等給付医療機関指定病院

母体保護法指定病院

児童福祉法指定助産施設

生活保護法指定病院

結核指定医療機関

原子爆弾被爆者一般疾病医療機関

協力型臨床研修指定病院

育成医療・更生医療指定病院(整形外科・眼科・腎臓)

精神通院医療指定病院

鳥取県がん診療連携拠点病院に準じる病院指定施設

発熱患者の「診察・検査医療機関」

新型コロナウイルス感染症に係る重点医療機関(確保病床数:20床)

施設認定

日本内科学会認定医制度教育関連病院

日本消化器病学会専門医制度認定施設

日本消化器内視鏡学会認定制度指導施設

日本肝臓学会認定施設

日本神経学会認定准教育施設

日本外科学会専門医制度修練施設

日本消化器外科学会専門医修練施設

日本乳癌学会認定施設

日本大腸肛門病学会認定施設

日本整形外科学会専門医研修施設

マンモグラフィ検診施設画像認定(デジタル)

日本がん治療認定医機構研修施設

日本臨床栄養代謝学会NST稼働認定施設

がん病態栄養専門管理栄養士研修実地修練施設

日本認知症学会教育施設

日本呼吸器学会関連施設

外国人患者の受け入れに係る準拠点病院

日本膵臓学会認定指導施設

日本麻酔科学会認定病院

日本脊椎脊髄病学会椎間板酵素注入療法実施可能施設

日本医学放射線学会画像診断管理認証施設

(MRI安全管理に関する事項)

基本診療料の施設基準

機能強化加算
オンライン診療料
一般病棟入院基本料
急性期一般入院料4
療養病棟入院基本料1
在宅復帰機能強化加算
救急医療管理加算
診療録管理体制加算1
医師事務作業補助体制加算1
急性期看護補助体制加算
療養環境加算
重症者等療養環境特別加算
療養病棟療養環境加算1
医療安全対策加算1
医療安全対策地域連携加算1
感染対策向上加算1
指導強化加算
患者サポート体制充実加算
後発医薬品使用体制加算3
データ提出加算2
提出データ評価加算
入退院支援加算1
地域連携診療計画加算
入院時支援加算
総合機能評価加算
認知症ケア加算3
せん妄ハイリスク患者ケア加算
回復期リハビリテーション病棟入院料3
地域包括ケア病棟入院料1
看護職員配置加算
地域包括ケア入院医療管理料1
看護職員配置加算

入院時食事療養費の基準

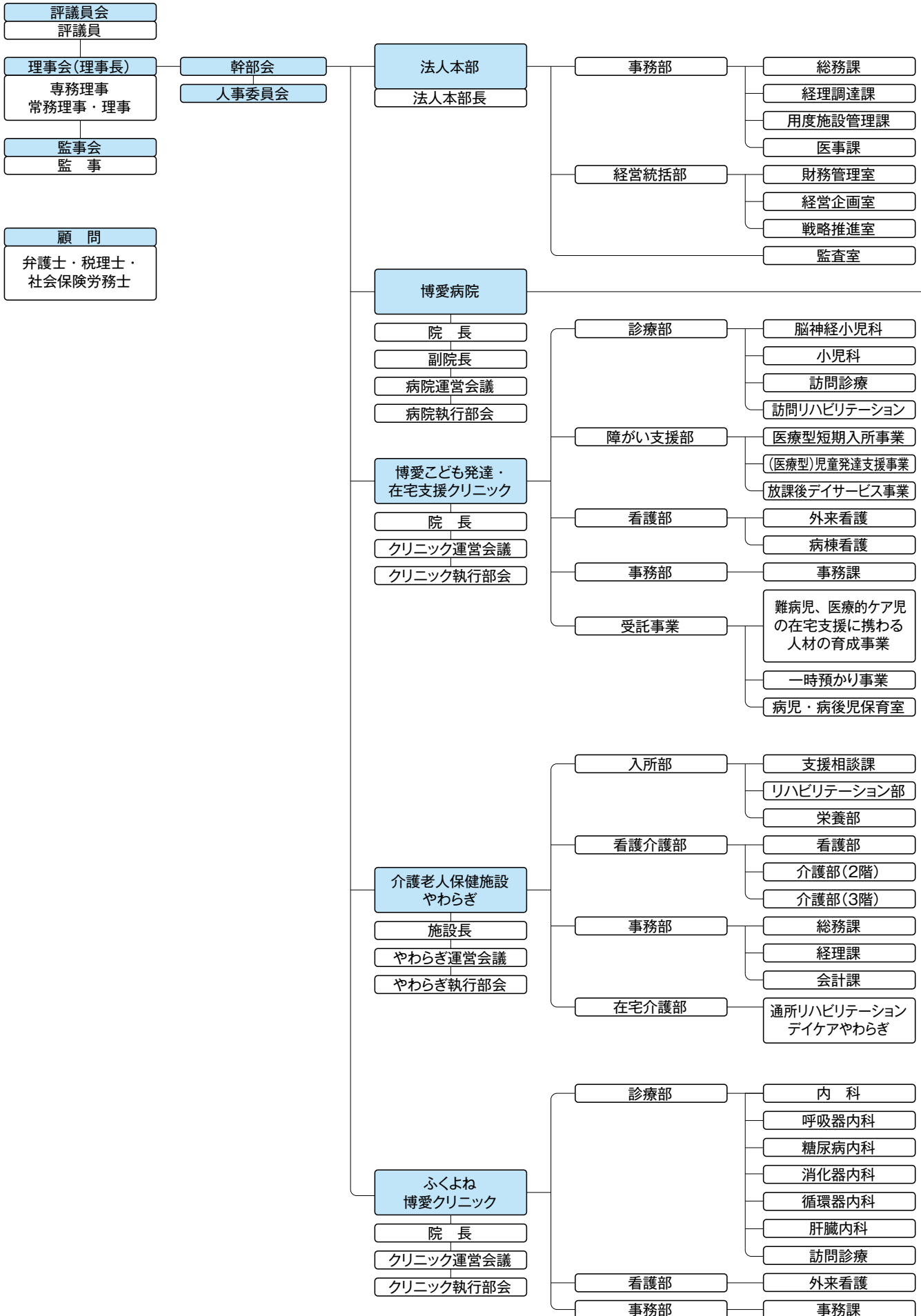
入院時食事療養 (I)
入院時生活療養 (I)
食堂加算

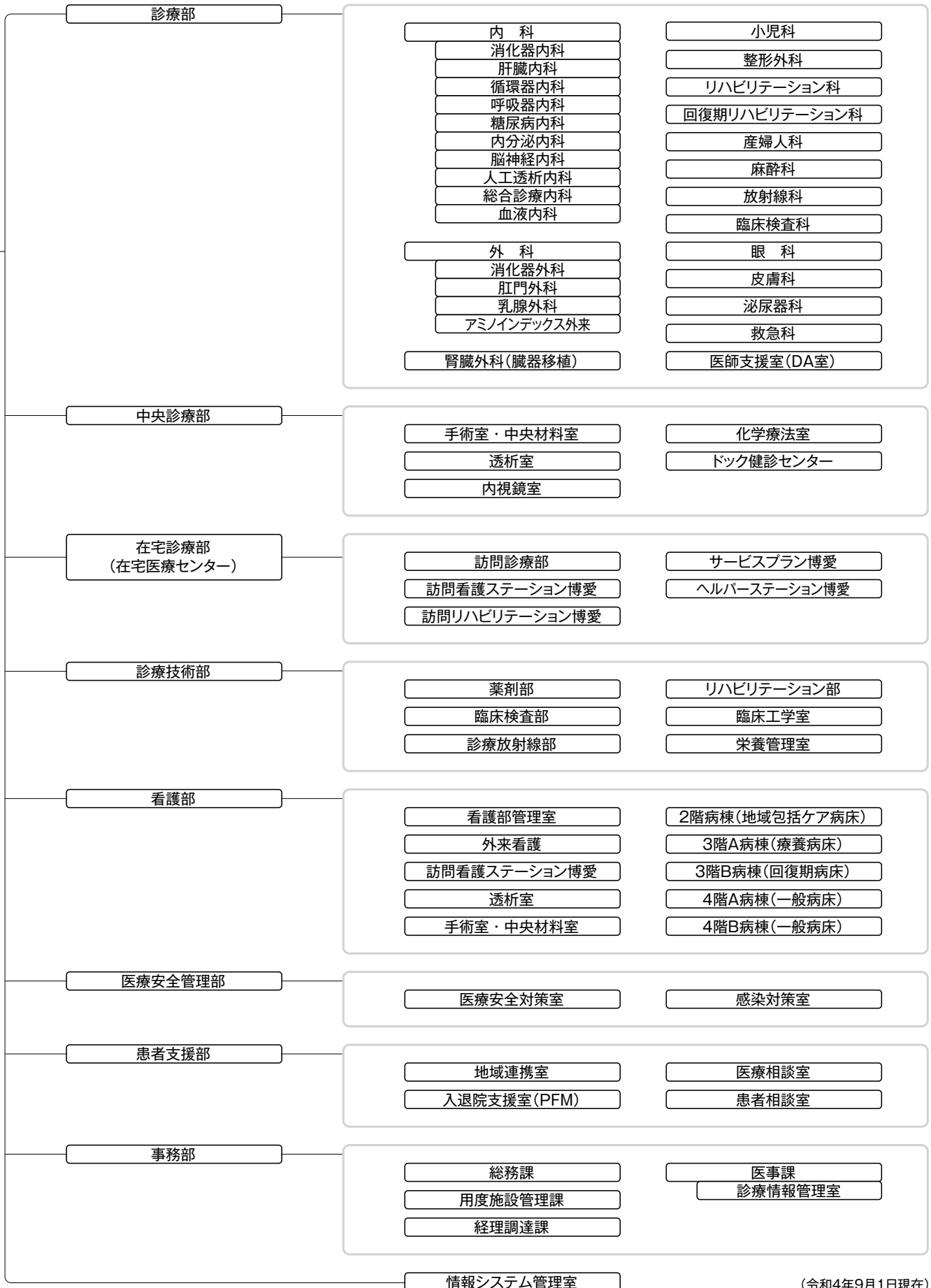
特掲診療料の施設基準

心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタリング加算
糖尿病合併症管理料
がん性疼痛緩和指導管理料
がん患者指導管理料イ
がん患者指導管理料ロ
がん患者指導管理料ハ
がん患者指導管理料ニ
糖尿病透析予防指導管理料
小児運動器疾患指導管理料
婦人科特定疾患治療管理料
一般不妊治療管理料
二次性骨折予防継続管理料1・2・3
院内トリアージ実施料
救急搬送看護体制加算2
外来腫瘍化学療法診療料1
ニコチン依存症管理料
がん治療連携計画策定料

肝炎インターフェロン治療計画料
薬剤管理指導料
地域連携診療計画加算
検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料
医療機器安全管理料1
BRCA1/2遺伝子検査
別添1の「第14の2」の1の(1)に規定する在宅療養支援病院
在宅時医学総合管理料及び施設入居時等医学総合管理料
在宅がん医療総合診療料
在宅患者訪問褥瘡管理指導料
在宅酸素療法指導管理料の注2に掲げる遠隔モニタリング加算
在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に掲げる遠隔モニタリング加算
遺伝学的検査
HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
検体検査管理加算(I)
検体検査管理加算(IV)
時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
神経学的検査
コンタクトレンズ検査料1
画像診断管理加算1
画像診断管理加算2
CT撮影及びMRI撮影
冠動脈CT撮影加算
乳房MRI撮影加算
外来化学療法加算1
無菌製剤処理料
心大血管疾患リハビリテーション料(I)初期加算
脳血管疾患リハビリテーション料(I)初期加算
運動器リハビリテーション料(I)初期加算
呼吸器リハビリテーション料(I)初期加算
がん患者リハビリテーション料
エタノール局所注入(甲状腺)
エタノール局所注入(副甲状腺)
透析液水質確保加算 慢性維持透析濾過加算
人工腎臓1
導入期加算1
移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法
椎間板内酵素注入療法
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剝離術
医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
胃瘻造設時嚥下機能評価加算
輸血管理料II 輸血適正使用加算
麻酔管理料(I)
保険医療機関間の連携による病理診断

組織図 (社会医療法人同愛会)





(令和4年9月1日現在)

消化器内科

【概要】

当院の消化器内科は、日本消化器病学会指導施設、日本消化器内視鏡学会指導施設、日本肝臓学会認定施設、日本膵臓学会認定指導施設に認定されており、複数の認定医、専門医、指導医などの資格をもった医師が、消化管疾患、肝疾患、胆膵疾患に関して質の高い診断・治療を行っています。消化器外科、放射線科と合同カンファレンスを行い、最良の消化器疾患の診療を行えるように努めています。また、内視鏡室に配属されている看護師5名のうちの3名は消化器内視鏡学会が認定する消化器内視鏡技師の資格も取得し、消化器内科のカンファレンスにも参加して一緒にチーム医療を行っています。

対象疾患

- ◆食道疾患(逆流性食道炎、食道癌、静脈瘤など)
- ◆胃・十二指腸疾患(潰瘍、癌、胃炎、ヘリコバクターピロリ感染症、機能性ディスペプシアなど)
- ◆腸疾患(大腸ポリープ、大腸癌、潰瘍性大腸炎、クローン病、虚血性腸炎、感染性腸炎、過敏性腸症候群、便秘症など)
- ◆肝疾患(急性肝炎、慢性肝炎、肝硬変、肝臓癌、脂肪肝など)
- ◆胆道疾患(胆石症、胆道癌など)
- ◆膵臓疾患(急性膵炎、慢性膵炎、膵臓癌、嚢胞性膵疾患など)

【実績】

上部消化管	令和1年度	令和2年度	令和3年度
上部消化管内視鏡検査(EGD)	4,714	4,462	4,699
内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)	23	23	27
下部消化管	令和1年度	令和2年度	令和3年度
下部消化管内視鏡検査(CS)	1,184	1,081	1,102
ポリヘクトミー	81	175	157
内視鏡的粘膜切除術(EMR)	341	332	343
カプセル内視鏡	13	11	4
CT colonography	67	41	41
肝・胆・膵	令和1年度	令和2年度	令和3年度
肝生検	8	6	2
内視鏡的逆行性膵胆管造影(ERCP)	91	64	61
内視鏡的十二指腸乳頭切開術(EST)	32	27	27
内視鏡的胆道結石除去術	56	41	36
内視鏡的胆道ドレナージ	34	14	10

【医師紹介】



副院長 濱本 哲郎(鳥取大学 昭和57年卒)

外来診療／火曜日・金曜日

所属学会・専門医情報

- ◆日本内科学会(認定内科医、総合内科専門医、指導医、中国支部評議員)
- ◆日本消化器病学会(専門医、指導医、中国支部評議員)
- ◆日本消化器内視鏡学会(専門医、指導医、全国学術評議員)
- ◆日本消化器がん検診学会(認定医、中国四国支部幹事)
- ◆日本膵臓学会(指導医)
- ◆日本消化管学会(胃腸科認定医、胃腸科専門医)
- ◆日本カプセル内視鏡学会(認定医、指導医)
- ◆日本人間ドック学会(認定医)
- ◆鳥取大学医学部附属病院連携診療教授
- ◆鳥取県健康対策協議会・大腸がん対策専門委員会委員長
- ◆厚生労働省緩和ケア研修修了

FIELD/専門分野

上部・下部消化管および胆膵領域の疾患の診断と、消化管癌の内視鏡的切除、消化管出血の内視鏡的止血、胆管結石除去や腫瘍による閉塞性黄疸の減黄等の内視鏡的治療を行っています。また、CTコログラフィや大腸カプセル内視鏡などをいち早く導入し、大腸内視鏡検査に抵抗感が強い人にも対応しています。

MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

看護師やコメディカル等のスタッフと一緒に、高いレベルの医療を患者の気持ちに寄り添って提供することを心がけています。



消化器内科部長 松本 栄二(岡山大学 平成5年卒)

外来診療／火曜日・木曜日

所属学会・専門医情報

- ◆日本内科学会(認定内科医)
- ◆日本消化器病学会(専門医)
- ◆日本肝臓学会(専門医)
- ◆日本消化器内視鏡学会(専門医)
- ◆厚生労働省緩和ケア研修修了

FIELD/専門分野

肝疾患を中心に診療を行っております。肝機能異常の診断、B型肝炎、C型肝炎など標準的な薬物治療、肝硬変のマネジメントなどの外来診療を行い、腹部エコー、CT、MRIなどの診断機器を用いて肝がんの早期発見、早期治療に努めております。また、ラジオ波焼灼療法、肝動脈塞栓術など肝がん治療を行っております。

MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

非アルコール性脂肪性肝障害など肝疾患は増加傾向です。肝疾患の診断や治療にお困りでしたら当院に紹介していただけたら幸いです。



消化器内科医長 河村 知彦(藤田保健衛生大学 平成20年卒)

外来診療／月曜日・木曜日

所属学会・専門医情報

- ◆日本内科学会
- ◆日本消化器病学会
- ◆日本消化器内視鏡学会

FIELD/専門分野

上部・下部消化管内視鏡検査および消化器疾患の診断、治療を行っています。

MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

看護師やコメディカル等のスタッフと一緒に、地域医療を担ってまいります。



消化器内科医員 安井 翔(鳥取大学 平成28年卒)

外来診療/水曜日

所属学会・専門医情報

- ◆日本内科学会(内科専門医)
- ◆日本消化器病学会
- ◆日本消化器内視鏡学会

FIELD/専門分野

主に内視鏡を扱う消化器診療(上下部消化管内視鏡検査、胆管結石や閉塞性黄疸に対する内視鏡治療、消化管腫瘍に対する内視鏡切除、消化管止血術など)を中心に診療にあたっています。

MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

患者様の苦痛の少ない内視鏡検査を心がけて日々診療を行っています。



消化器内科部長 堀 立明(鳥取大学 昭和55年卒)(嘱託)

外来診療/水曜日・金曜日

所属学会・専門医情報

- ◆日本内科学会(総合内科専門医)
- ◆日本消化器病学会(専門医、指導医)
- ◆日本肝臓学会(専門医、指導医)
- ◆日本消化器内視鏡学会(専門医)
- ◆日本透析医学会
- ◆日本医師会認定産業医
- ◆日本医師会認定健康スポーツ医
- ◆嚥下機能評価研修修了

FIELD/専門分野

B型肝炎、C型肝炎の専門的な検査、治療を行っています。NASHやアルコール性肝臓病に対する栄養管理、合併症の予防と治療、肝細胞癌のサーベイランスおよび診断と治療を行っています。

MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

抗ウイルス療法で肝硬変や肝細胞癌のリスクを低下させることが可能となりました。B型、C型肝炎を指摘されても専門医を受診されていない方のご紹介をお願いします。



消化器内科部長 岸本 幸廣(鳥取大学 昭和48年卒)(嘱託)

外来診療/月曜日・金曜日

所属学会・専門医情報

- ◆日本内科学会(認定内科医)
- ◆日本消化器病学会(専門医、指導医)
- ◆日本消化器内視鏡学会(専門医、指導医)
- ◆日本肝臓学会(専門医、指導医)
- ◆日本消化器がん検診学会(認定医)
- ◆日本医師会認定産業医
- ◆厚生労働省緩和ケア研修修了

FIELD/専門分野

HBV、HCVなどのウイルス性肝疾患、脂肪性肝疾患(NAFLD)などの肝疾患を中心として診療、研究してきました。現在はそれに加えて、上部下部消化管疾患、胆膵疾患も診察しています。消化器疾患の総合医を目指して診療しています。

MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

約50年間の臨床経験を活かし、消化器疾患全般にわたって、皆様に貢献できるように努力しています。また、患者さんへは丁寧な説明と、診療を心がけていきます。

循環器内科

【概要】

循環器疾患は高血圧症、虚血性心疾患（心筋梗塞、狭心症）、心不全、不整脈、心臓弁膜症など高齢化、生活習慣により発症する疾患が多く、現在増加してきています。特に心不全はあらゆる循環器疾患の終末像であり、生命予後、QOLを改善することが必要で患者個人個人に対するそれぞれの加療が必要です。基本的な検査である血液検査、胸部レントゲン、心電図、心エコーの検査で個々の患者に応じて治療法を考えていきます。

心不全の原因となる心筋梗塞、弁膜症、高血圧症などは喫煙や塩分の摂りすぎといった生活習慣の悪化によって発症します。

心不全患者は医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、リハビリテーション（理学療法士、作業療法士）等、多職種での「チーム医療」が必要となります。

博愛病院では心不全チームを作り、心不全患者の包括治療を実践しています。週1回の心不全回診、月1度の症例検討会を通じ、個々の患者さんに応じた治療を行っています。

対象疾患

- ◆高血圧症、虚血性心疾患（心筋梗塞、狭心症）
- ◆心臓弁膜症などの循環器疾患及び関連疾患である
高コレステロール血症
- ◆心不全
- ◆慢性腎臓病
- ◆不整脈

【医師紹介】



循環器内科部長 田中 保則（鳥取大学 昭和63年卒）

外来診療／月曜日・火曜日・木曜日・金曜日

所属学会・専門医情報

- ◆日本内科学会
- ◆日本循環器学会
- ◆日本透析医学会

FIELD/専門分野

高血圧症、虚血性心疾患（心筋梗塞、狭心症）、慢性心不全、不整脈、心臓弁膜症等の循環器内科疾患だけでなく関連疾患である高コレステロール血症、慢性閉塞性動脈硬化症、深部静脈血栓症、慢性腎臓病など幅広い疾患の診療を行っています。特に慢性心不全は高齢化に伴い増え続けている疾患で病院全体として取り組んでいます。

MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

2018年より心臓リハビリテーションを開始し、心不全患者さんをチーム医療で行っています。医師会との心不全連携バスを利用して、地域全体で診ることに取り組んでいます。

非常勤 外来担当 外来診療／水曜日

鳥取大学循環器内科助教 松原 剛一

鳥取大学循環器内科 網崎 良佑

呼吸器内科

【概要】

現在3人体制で診療を行っています。急性期から慢性期までの呼吸器疾患全般に対応しております。加えて、睡眠時無呼吸症候群の診断・治療、在宅呼吸器ケアの充実に取り組んでいます。

診療内容は以下となります。

- 1) 日本版あるいは国際ガイドラインに従って診断・治療を行っています。
- 2) 高齢者誤嚥性肺炎に対して、薬物治療はもとより、看護や介護、リハビリテーション、栄養管理などを含めた包括的な取り組みを行っています。
- 3) 超音波気管支鏡を行っています。本法は、気管支鏡を通して超音波プローブを病変に誘導し、病変を描出し位置を確認する方法です。ガイドシースを使うと生検鉗子を病変部に挿入することが可能です。

対象疾患

- ◆ 感染性呼吸器疾患 (肺炎、非結核性肺抗酸菌症など)
- ◆ 腫瘍性肺疾患 (肺癌、転移性肺癌など)
- ◆ 気道閉塞性疾患
(慢性閉塞性肺疾患、びまん性汎細気管支炎など)
- ◆ 胸膜疾患 (気胸、膿胸など)
- ◆ アレルギー性肺疾患 (気管支喘息、過敏性肺臓炎など)
- ◆ 呼吸不全 (急性呼吸不全、慢性呼吸不全)
- ◆ 間質性肺疾患 (特発性間質性肺炎、膠原病肺など)
- ◆ その他 (気管支拡張症、睡眠時無呼吸症候群など)

【実績】

項目		令和1年度	令和2年度	令和3年度
外来患者延数(人)		6,720	7,776	7,311
入院患者延数(人)		12,444	13,870	12,278
HOT 延数(件)		196	215	224
CPAP 延数(件)		529	834	939
HMV 延数(件)		17	18	20
終夜睡眠ポリグラフィー延数(件)	簡易	56	32	11
	精密	31	34	13
気管支鏡検査延数(件)		25	27	20

【医師紹介】



呼吸器内科部長 山本 司生(鳥取大学 平成8年卒)

外来診療／月曜日・木曜日

所属学会・専門医情報

- ◆日本内科学会
- ◆日本呼吸器学会
- ◆日本感染症学会
- ◆日本環境感染学会
- ◆日本臨床栄養代謝学会
- ◆厚生労働省緩和ケア研修修了
- ◆臨床研修指導医研修修了
- ◆日本臨床栄養代謝学会TNT研修修了

FIELD/専門分野

肺炎、気管支喘息、肺気腫等、呼吸器疾患を主体に診療を行っています。最近のCovid-19流行においては、同疾患の入院を担当しています。睡眠時無呼吸症候群の診断・治療にも力を入れています。

MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

Covid-19の入院治療においては、より多くの急性期治療を行いたいと考えていますので、退院時の御支援等お願いいたします。



呼吸器内科部長 西井 静香(鳥取大学 平成19年卒)

外来診療／水曜日・金曜日

所属学会・専門医情報

- ◆日本内科学会(総合内科専門医)
- ◆日本呼吸器学会(専門医)
- ◆日本肺癌学会
- ◆日本臨床腫瘍学会
- ◆日本呼吸器内視鏡学会
- ◆日本呼吸療法医学会
- ◆日本結核病学会
- ◆厚生労働省緩和ケア研修修了
- ◆臨床研修指導医研修修了
- ◆日本がん治療認定医機構(認定医)
- ◆インフェクションコントロールドクター(ICD)

FIELD/専門分野

呼吸器疾患の診療を中心にしています。状態に応じて訪問診療も対応しています。

MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

地域の呼吸器内科診療にわずかでも貢献できるように診療に取り組んでいます。



呼吸器内科部長 総合診療内科部長 重白 啓司(鳥取大学 昭和54年卒)(嘱託)

外来診療／水曜日・金曜日

所属学会・専門医情報

- ◆日本内科学会
- ◆日本呼吸器学会

FIELD/専門分野

呼吸器疾患の診療を行っています。特に入院や在宅の長期療養患者の治療を中心として、丁寧に寄り添う診療を心がけています。

MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

長引く咳、息苦しさなどは、患者さんが気にかけていても治療に結びついていないケースがあります。気軽にご相談ご紹介いただきますよう、お願いいたします。

非常勤 外来担当 外来診療／火曜日
鳥取大学呼吸器内科講師 山口 耕介

糖尿病内科

【概要】

糖尿病の外来診療、ならびに教育、血糖コントロール、急性・慢性合併症治療を含めた入院診療を担当します。また、手術等にて他科入院中の糖尿病合併例のフォローを行います。糖尿病の診療にあたっては、医師、看護師、薬剤師、理学療法士、管理栄養士、臨床検査技師など多職種からなる専門チームを組み、生活習慣の改善指導、支援や治療を行います。

対象疾患

◆糖尿病

◆脂質異常症

◆肥満症

◆メタボリックシンドローム

【実績】

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度
糖尿病教室	163人(84回)	147人(84回)	129人(84回)
博愛ウォーキング	55人(2回)	—	—

(令和2年度、令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を見合わせた。)

◆かえで通信(2ヶ月に1回発行)／令和4年3月現在 第83号

【医師紹介】



糖尿病・内分泌内科部長 竹内 龍男(鳥取大学 昭和57年卒)

外来診療／月曜日・火曜日・木曜日

所属学会・専門医情報

- ◆日本内科学会(認定内科医)
- ◆日本糖尿病学会(専門医、研修指導医)
- ◆日本臨床栄養代謝学会TNT研修修了

FIELD/専門分野

糖尿病の診断、治療方針の決定、内服薬の調整、インスリンやGLP-1受容体作動薬など注射薬適応の判断、患者教育、急性合併症や慢性合併症への対応、他科連携など、各々の患者さんの診療全般に関与します。

MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

多職種で連携しながら、誠実な診療を行います。



糖尿病・内分泌内科部長 藤岡 洋平(鳥取大学 平成19年卒)

外来診療／水曜日・金曜日

所属学会・専門医情報

- ◆日本内科学会(認定内科医、総合内科専門医)
- ◆日本糖尿病学会(専門医、指導医)
- ◆日本内分泌学会 内分泌代謝科(内科)専門医
- ◆日本糖尿病協会 療養指導医
- ◆日本糖尿病合併症学会
- ◆アジア糖尿病学会
- ◆日本肥満学会

FIELD/専門分野

糖尿病、高血圧、脂質異常症などの代謝疾患の治療を中心に行っております。専門分野は糖尿病であり、教育入院や、外来での治療薬の調節などを行います。また代謝疾患に加えて、甲状腺疾患や副腎疾患などの内分泌内科としての診断、治療を行っております。

MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

糖尿病患者さんに、コメディカルスタッフと一緒に最適な療養指導を行い、より質の高い治療を提供できるように心がけています。

脳神経内科

【概要】

脳神経内科では脳、脊髄、末梢神経、筋疾患の診断及び内科的治療を行っています。

入院診療では、代表的救急疾患である脳血管障害（脳卒中）の救急診療、回復期リハビリテーション、在宅へむけての地域包括診療を中心に行っています。

外来診療では、頭痛、めまい、しびれ、認知症の診断・治療、慢性期脳血管障害の再発予防治療、神経難病の通院診療を主体に行っています。

特殊診療として、以下を行っています。

- 1) 摂食嚥下機能障害に対する嚥下機能評価と対応
- 2) 神経難病のレスパイト入院・訪問診療
- 3) 脳深部刺激（DBS）の調整・管理
- 4) ボツリヌス治療

当院は日本神経学会准教育施設、また日本認知症学会教育施設です。

対象疾患

- ◆脳血管障害
- ◆てんかん
- ◆パーキンソン病・脊髄小脳変性症・筋萎縮性側索硬化症などの神経変性疾患（神経難病）
- ◆末梢神経障害
- ◆アルツハイマー型認知症・レビー小体型認知症などの認知症
- ◆筋疾患
- ◆多発性硬化症・重症筋無力症などの神経免疫疾患
- ◆頭痛
- ◆髄膜炎・脳炎などの神経感染症
- ◆めまいなど

【実績】

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度
外来患者延数(人)	6,832	6,504	6,696
入院患者延数(人)	6,158	5,930	6,280
嚥下造影検査(件)	37	23	29
嚥下内視鏡検査(件)	46	24	39
神経難病レスパイト入院(件)	28	16	13
DBS管理・調整(人)	8	8	8
ボツリヌス治療(件)	61	35	54

【医師紹介】



回復期リハビリテーション科部長
脳神経内科部長

足立 晶子(山口大学 昭和60年卒)

外来診療／月曜日・水曜日

所属学会・専門医情報

- ◆日本神経学会(専門医、指導医、代議員)
- ◆日本脳卒中学会
- ◆日本内科学会(認定内科医、総合内科専門医)
- ◆日本神経治療学会
- ◆日本認知症学会(専門医、指導医)
- ◆鳥取大学医学部附属病院連携診療教授
- ◆日本リハビリテーション医学会(臨床認定医)
- ◆米子医療センター附属看護学校 非常勤講師
- ◆日本摂食嚥下リハビリテーション学会(認定士)
- ◆認知症サポート医
- ◆日本臨床倫理学会(臨床倫理認定士)

FIELD/専門分野

外来では脳神経内科一般の診療を行い、嚥下障害の診療にも力を入れてきました。入院診療では2009年回復期リハビリテーション病棟開設時より病棟の専任医として主に脳血管障害のリハビリテーション、社会復帰に携わっています。

MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

地域の先生方と連携し、脳血管障害、認知症、神経難病などの患者さんご家族のニーズに応え、日常生活動作の向上と生活の質を考慮した診療を行います。



脳神経内科部長
在宅診療部部長

安井 建一 (鳥取大学 平成8年卒)

外来診療 / 木曜日・金曜日

所属学会・専門医情報

- ◆ 日本神経学会 (専門医、指導医、SCD MSA診療ガイドライン委員会委員)
- ◆ 日本内科学会 (認定内科医、総合内科専門医、内科指導医、JMECCインストラクター、中国支部評議員)
- ◆ 日本救急医学会 (ICLSインストラクター)
- ◆ 日本神経治療学会
- ◆ 日本神経感染症学会
- ◆ 日本認知症学会
- ◆ 日本頭痛学会
- ◆ 日本臨床倫理学会 (臨床倫理認定士)
- ◆ 鳥取大学医学部脳神経内科 非常勤講師
- ◆ 米子医療センター附属看護学校 非常勤講師
- ◆ 嚥下機能評価研修修了
- ◆ 臨床研修指導医研修修了

FIELD/専門分野

地域の脳血管障害を中心とした、神経救急疾患の診療を主体として行っています。専門分野としては、パーキンソン病、多系統萎縮症などの神経難病診療を行うため、訪問診療、レスパイト入院、DBS、LCIGなどの術後DAT管理に関わっています。そのほか、痙縮などに対するボツリヌス治療を行っています。

MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

神経疾患患者さんの症状を少しでも軽減し、寄り添う診療を心掛けています。
地域の神経内科診療をより質の高いものにすることを目標にして診療に取り組んでいます。

非常勤 外来担当 外来診療 / 火曜日

鳥取大学脳神経内科 佐菜 真悠子

総合診療内科

【概要】

総合診療とは、専門診療の対義語です。患者を全人的、多角的に捉え、特定の臓器・疾患に限定しない診療形態です。内科関連疾患を対象とする場合には総合診療内科と呼びます。当院では毎日紹介状のない初診患者を中心に診療を行っています。診察の結果、専門診療科の受診が必要と判断されれば適切な診療科へ紹介します。従来、電話での救急患者の入院依頼は対応に時間がかかっていましたが、総合診療内科外来を通すことで時間短縮が可能となっています。

【対象疾患】

- ◆ 内科を初めて受診する患者で紹介状をお持ちでない方
- ◆ 内科以外に通院中で、内科受診が必要と思われる患者
- ◆ 内科に通院中で、予約外に受診を希望する患者
- ◆ 検診で精密検査を勧められた患者
- ◆ 救急外来を受診した後に外来予約を取った患者
- ◆ 上記のうち、明らかに専門外来を受診したほうがよい患者を除く

【実績】

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度
初診紹介件数(件)	58	38	52
初診患者数(人)	752	477	354
再来患者数(人)	2,306	2,989	2,401

【医師紹介】



総合診療内科部長
呼吸器内科部長

重白 啓司 ……………呼吸器内科(P15)参照

非常勤 外来担当 外来診療／第1・3・5木曜日
鳥取大学血液内科教授 福田 哲也

一般外科・消化器・肛門外科

【概要】

日本外科学会、日本消化器外科学会、日本消化器病学会の専門医、指導医による一般外科手術、消化器外科手術、消化器がんの手術や術後の抗がん剤治療を行っています。

また、内視鏡外科技術認定医も増え、胆石や早期胃がん、大腸がん、急性虫垂炎、鼠径ヘルニアの腹腔鏡下手術も導入し、患者のニーズに応えています。

その他にも、直腸肛門疾患の診療や、消化器がんの末期患者の在宅診療など、幅広い医療を提供しています。

乳腺専門外来と協力して、日本乳がん学会の専門医等による乳腺疾患の診断、治療や乳癌の患者の診断、治療を行っています。

対象疾患

- ◆胃がん
- ◆直腸肛門疾患
- ◆ヘルニア
- ◆大腸がん
- ◆乳がん
- ◆一般外科疾患など
- ◆胆石
- ◆急性虫垂炎

【実績】

疾患	令和1年度		令和2年度		令和3年度	
	症例	全摘/温存	症例	全摘/温存	症例	全摘/温存
乳癌	42	26/16	39	23/16	44	22/22
乳腺腫瘍	3		10		7	
乳腺その他	0		3		1	
疾患	症例	開腹/腹腔鏡	症例	開腹/腹腔鏡	症例	開腹/腹腔鏡
胃癌	20		8		8	
胃全摘	8	8/0	0		0	
胃切除	11	7/4	8	6/2	8	6/2
噴門切除	1	1/0	0		0	
結腸癌	22	18/4	32	24/8	32	27/5
直腸癌	9	7/2	7	4/3	6	4/2
胆石、胆嚢ポリープ、胆嚢炎	31	11/20	39	6/33	34	5/29
総胆管結石	4	0/4	2	0/2	0	
直腸脱	1		1		3	
痔核手術	22		13		22	
ヘルニア	20	13/7	30	15/15	40	19/21
膵臓疾患	0		0		0	
肝臓疾患	1		0		1	1

【医師紹介】



副院長 角 賢一(山口大学 昭和58年卒)

外来診療／火曜日・水曜日・金曜日

所属学会・専門医情報

- ◆日本外科学会(認定医・専門医・指導医)
- ◆日本消化器外科学会(専門医・指導医)
- ◆日本消化器病学会(専門医)
- ◆日本乳癌学会(専門医・指導医)
- ◆日本臨床外科学会
- ◆日本内視鏡外科学会 日本医療マネジメント学会
- ◆日本医師会認定産業医
- ◆介護支援専門員
- ◆検診マンモグラフィ読影認定医師
- ◆乳房超音波読影認定医師

FIELD/専門分野

乳腺疾患:乳がん学会の専門医、マンモグラフィ読影医、乳房超音波読影医として、乳がん検診で精査が必要な方の精密検査を担当しています。また、乳がんの方の手術や化学療法も担当しています。
 肛門疾患:内痔核に対するジオン注射や手術、直腸脱に対する経肛門の手術を施行しています。
 外科一般、消化器外科。

MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

乳腺疾患や消化器疾患(胃から肛門まで)の診断から治療までの診療に携わっています。
 在宅診療にもかわり、患者様やご家族様のニーズに応えるようにしています。



消化器外科部長 近藤 亮(鳥取大学 平成元年卒)

外来診療／月曜日・水曜日(交代)・木曜日

所属学会・専門医情報

- ◆日本外科学会(認定医、専門医)
- ◆日本消化器外科学会(認定医、専門医、指導医)
- ◆日本臨床栄養代謝学会
- ◆日本臨床栄養代謝学会TNT研修修了
- ◆日本がん治療認定医機構(認定医)
- ◆検診マンモグラフィ読影認定医師
- ◆日本乳癌学会
- ◆日本乳癌検診学会

FIELD/専門分野

専門は胆膵外科ですが、一般消化器外科、乳腺外科、抗がん剤治療、緩和医療、訪問診療など広く対応しております。

MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

患者さんやご家族の不安をやわらげ、安心して治療を受けていただけるように心がけながら、日々診療に当たっております。



消化器外科部長 山根 成之(鳥取大学 平成5年卒)

外来診療／火曜日・金曜日

所属学会・専門医情報

- ◆日本外科学会(認定医、専門医、指導医)
- ◆日本消化器外科学会(専門医、指導医)
- ◆日本内視鏡外科学会(技術認定医)
- ◆日本がん治療認定医機構(認定医)
- ◆検診マンモグラフィ読影認定医師
- ◆日本臨床外科学会
- ◆臨床研修指導医

FIELD/専門分野

消化器外科、内視鏡外科
 胃、結腸、直腸など消化器の悪性腫瘍に対する手術、特に腹腔鏡下での手術、胆嚢結石、胆嚢炎、胆嚢ポリープに対する腹腔鏡下手術、虫垂炎、鼠径ヘルニアに対する腹腔鏡下手術

MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

当院でも5mmポート×3カ所での腹腔鏡下での鼠径ヘルニア手術を開始し、順調に行っています。是非ともご紹介いただければ有難いです。



消化器外科部長 **竹本 大樹**(鳥取大学 平成9年卒)

外来診療／月曜日・水曜日(交代)・木曜日

所属学会・専門医情報

- ◆日本外科学会(専門医、指導医)
- ◆日本消化器外科学会
(専門医、指導医、消化器がん外科治療認定)
- ◆日本臨床外科学会
- ◆日本大腸肛門病学会
- ◆日本救急医学会
- ◆日本がん治療認定医機構(認定医)
- ◆インフェクションコントロールドクター

FIELD/専門分野

日本外科学会専門医及び指導医、日本消化器外科学会専門医および指導医として、消化器癌の手術を主に、一般外科、乳腺外科、腹部救急の分野で、日々診療にあたっています。また必要に応じて化学療法などの薬物療法を外来治療室の看護師、薬剤師と協力・情報交換しながら行っています。

MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

消化器外科、一般・救急外科及び乳腺外科の分野で、診断から治療、フォローアップを丁寧に行い、患者様やご家族様に寄り添っていきたいと思います。



ドック健診センター長・外科部長 **木村 修**

..... アミノインデックス外来(P25) 参照

乳腺外科

【概要】

日本乳癌学会認定の専門医（指導医）二人体制による乳腺疾患の専門外来です。
乳がん検診で精査が必要な方、乳房にしこりを触れるなどの症状がある方の精査、診療等を行っています。
乳がんと診断された方に対して、乳癌学会専門医の指導のもと、外科医師と協力して手術や術後の化学療法などを行なっています。

対象疾患

- ◆乳がん検診で要精査
- ◆乳房に良性疾患(良性腫瘍、乳腺炎)など
- ◆乳がんの診断、治療

【実績】

疾患	令和1年度		令和2年度		令和3年度	
	症例	全摘/温存	症例	全摘/温存	症例	全摘/温存
乳癌	42	26/16	39	23/16	44	22/22
乳腺腫瘍	3		10		7	
乳腺その他	0		3		1	

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度
デジタルマンモグラフィ	5,523	5,266	5,659
乳腺エコー	1,648	1,935	2,209

【医師紹介】



副院長 角 賢一 …………… 消化器・肛門外科(P21)参照



乳腺外科部長 工藤 浩史(鳥取大学 昭和48年卒)(嘱託)
外来診療/月曜日・水曜日 ドック健診センター：火曜日～木曜日

所属学会・専門医情報

- ◆日本乳癌学会(専門医、指導医)
- ◆日本人間ドック学会
- ◆日本外科学会(専門医)
- ◆検診マンモグラフィ読影認定医師
- ◆日本臨床細胞学会(細胞診専門医、教育研修指導医)
- ◆日本乳がん検診学会
- ◆日本感染症学会(感染コントロール医)

FIELD/専門分野

乳腺専門医および指導医として外来並びにドック健診センターで業務を担当し、乳がんの早期発見に日々努力しています。また、外来で発見された乳がんの手術や術前検査にも携わっています。

MESSAGE/地域医療機関のみならず

当院は乳腺専門医が2人いて、乳がん診断用機器も充実しているので、安心して患者様をご紹介下さい。

アミノインデックス外来

【概要】

これまで、血中のアミノ酸濃度は各疾患によって変化することが知られていましたが、それを臨床応用する試みは行われていませんでした。現在、長年の研究結果から、血中アミノ酸濃度の変化から、がん、糖尿病、脳卒中・心筋梗塞の三大疾患に加え、認知症のリスクを評価できるようになりました。日本人の死亡原因は、がん、心疾患、脳血管疾患の順に高率で、糖尿病はこの三疾患の主な原因の一つです。血中アミノ酸濃度の測定により、がん、糖尿病、脳心疾患、認知症のリスクを知り、疾患の予防、早期発見、早期治療にお役立て下さい。がんの危険性に関しては、ランクA は通常の1/3、ランクB は通常の1.6 倍、ランクC は通常の10 倍のリスクを表します。

対象疾患

- ◆がん
 - 男性 胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、前立腺がん
 - 女性 胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、乳がん、子宮がん、卵巣がん
- ◆糖尿病
- ◆脳卒中・心筋梗塞
- ◆認知症

【実績】

2018年4月～2022年3月までの4年間に、当院のアミノインデックス外来で検査を受けた方は124例であり、その判定結果は表1の示すように各がん腫のランクCの出現頻度は約10%でありました。この中で、がん発見例は大腸がん1例、甲状腺がん1例、前立腺がん2例、小腸がん1例、肺がん1例の6例であり、がん疑い病変は膵嚢胞性腫瘍2例、胆嚢腫瘍1例、食道SMT1例、子宮頸部腫瘍1例の5例でありました。これらの症例の多くは、南部町での結果同様、ランクCが複数のがん腫に付いた症例であり、ランクCの数が多くなるほど高率となる傾向にありました(表2)。

表1 AICS判定結果

	n	ランクA	ランクB	ランクC
胃癌	124	75	30	19(15%)
肺癌	124	82	29	13(10%)
大腸癌	124	81	29	14(11%)
膵臓癌	124	97	17	10(8%)
前立腺癌	59	30	14	15(25%)
乳癌	65	43	17	5(8%)
子宮・卵巣癌	65	42	18	5(8%)
計	685	450	154	81(12%)

表2 ランクCの数と癌・癌疑発見率

ランクCの数	n	癌・癌疑発見数	癌・癌疑発見率
0個	79例	3例	3/79(4%)
1個	24例	2例	2/24(8%)
2個	12例	4例	4/12(33%)
3個以上	9例	2例	2/9(22%)
計	124例	11例	11/124(9%)

【医師紹介】



ドック健診センター長・外科部長 **木村 修**(鳥取大学 昭和52年卒)(嘱託)
 外来診療／水曜日 ドック健診センター／月曜日・火曜日・木曜日・金曜日

所属学会・専門医情報

- ◆日本外科学会(認定医、専門医)
- ◆日本消化器外科学会(認定医、認定登録医、指導医、消化器がん外科治療認定医)
- ◆日本大腸肛門病学会(専門医、指導医)
- ◆日本人間ドック学会(認定医、人間ドック健診情報管理指導士)
- ◆日本臨床外科学会
- ◆鳥取県健康対策協議会西部胃がん・大腸がん検診読影会委員
- ◆難病指定医:身体障害者福祉法指定医(大腸、小腸)
- ◆医師卒後臨床研修指導医
- ◆中四国ストーマリハビリテーション研究会幹事
- ◆日本オストミー協会顧問医

FIELD/専門分野

これまでの多くの消化器疾患の外科治療、ならびにアミノインデックス検査の経験から、消化器疾患術後の方の経過観察、アミノインデックス検査を用いたがん、糖尿病、脳・心疾患、認知症のリスク判定、ならびにドック健診センターにおける生活習慣病、がんの早期発見に努めております。

MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

アミノインデックス検査を用いたがん、糖尿病、脳・心疾患、認知症のリスク判定、ドック健診センターにおける生活習慣病、がんの早期発見に努めています。

腎臓外科(臓器移植)

【概要】

移植患者、生体ドナー、透析患者の定期外来を中心に診療しています。腎移植、膵移植患者の免疫抑制療法と拒絶反応の診断、がん健診を主とし、感染症、合併症、腎生検と拒絶反応治療は緊急入院で対応します。

外来では、一般血液・尿検査、免疫抑制剤の血中濃度、感染マーカーの定期検査、処方に加え、移植腎エコー、CT、MRAによる移植腎・膵の形態と血流評価、心機能評価、骨密度測定などをします。移植後糖尿病患者に対する内服・インスリン療法、高齢患者の認知症と服薬対応、精神的支援も守備範囲です。入院患者では該当疾患の治療に加え、腎臓リハと栄養指導、さらに外来リハに継続して、長期生着と身体活動改善を目指しています。

対象疾患

- ◆移植後免疫抑制療法
- ◆急性拒絶反応
- ◆慢性拒絶反応
- ◆ウイルス感染症(CMV感染、BKV感染、ヘルペス感染など)
- ◆真菌感染症(カンジダ症、ニューモシスチス肺炎など)
- ◆細菌感染症(肺炎、腎盂腎炎、蜂窩織炎、胃腸炎など)
- ◆PTLD
- ◆移植後糖尿病
- ◆ステロイド骨粗鬆症
- ◆透析再導入
- ◆シャントトラブル

【実績】

令和4年8月末時点で、外来患者は延べ257名。口唇ヘルペス、口腔内カンジダ症、CMV感染症、带状疱疹が各1例ありました。入院患者は、移植患者のCOVID-19感染症6例、腎盂腎炎4例、下腿カルシフィラキシス1例、下腿蜂窩織炎1例、腹膜透析後の急性虫垂炎1例。手術はシャントグラフト置換3例を行いました。

かつて米国と名古屋で行っていた経験を生かして、移植後患者のシャント閉鎖、腎不全患者に対する新規シャント造設、透析患者に対するシャント狭窄・閉塞手術、外科的PTA、グラフト再建・置換などの血管外科領域でもお役に立てたら幸いです。

【医師紹介】



腎臓外科部長 杉谷 篤(九州大学 昭和58年卒)(囑託)

外来診療/月曜日～木曜日

所属学会・専門医情報

- ◆日本外科学会(専門医、指導医)
- ◆日本消化器外科学会(専門医、指導医、消化器癌外科治療認定医)
- ◆日本肝胆膵外科学会(評議員、名誉指導医)
- ◆日本移植学会(評議員、移植認定医)
- ◆日本臨床腎移植学会(副理事長、腎移植認定医)
- ◆日本小児腎不全学会(理事)
- ◆日本膵・膵島移植学会(世話人)
- ◆日本臨床倫理学会(理事)
- ◆日本サイコネフロジー学会(代議員)
- ◆日本透析医学会
- ◆日本腎臓学会
- ◆日本腎臓リハビリテーション学会
- ◆移植腎病理研究会(幹事)
- ◆医師卒後研修指導医
- ◆外国医師臨床修練指導医
- ◆鳥取県難病指定医(専門医)

FIELD/専門分野

一般・消化器外科、移植外科(腎移植、膵移植)、血管外科、維持透析の診療を中心にしています。腎移植・膵移植患者と生体ドナーの定期外来で、免疫抑制療法と拒絶反応の診断、がん健診を主とし、感染症や合併症、腎生検と拒絶反応治療、血漿交換療法は緊急入院で行います。また、透析患者のシャント造設、グラフト再建・置換もします。

MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

この地域の移植患者、移植希望者、腎不全患者、透析患者さんのための診療と有益な情報提供を心掛けていきます。できることがあれば、気軽に声をかけて下さい。

整形外科

【概要】

昨今の人口高齢化を反映し、当科を受診される方も腰痛・膝痛など加齢による「変性疾患」が原因である場合が多く見受けられます。また、女性に関しては「骨粗鬆症」を基盤にした種々の病態のほか、骨粗鬆症関連骨折といわれる四肢・脊椎の骨折が増加する傾向にあります。一般整形外科診療としては、乳児・小児の先天性疾患や発育期の骨関節疾患、青壮年期の脊椎・関節疾患および外傷や骨折などの保存的・観血的治療を行っています。人工関節専門外来と骨粗鬆症専門外来では、それぞれの専門性を生かした治療を目指しています。患者さんのQOLを維持するために、痛みへの治療も行っています。

対象疾患

- ◆変形性腰椎症
- ◆関節リウマチ
- ◆ステロイド骨粗鬆症
- ◆腰椎椎間板ヘルニア
- ◆骨粗鬆症関連骨折(大腿骨近位部・上腕骨近位部・橈骨遠位端など)
- ◆慢性腎臓病(CKD)・糖尿病など生活習慣病関連の骨粗鬆症
- ◆変形性頸椎症
- ◆閉経後骨粗鬆症
- ◆その他代謝性骨疾患
- ◆脊椎骨粗鬆症
- ◆老年性骨粗鬆症
- ◆腰痛・下肢痛(坐骨神経痛、大腿神経痛)を引き起こす疾患(腰椎椎間板ヘルニア・腰部脊柱管狭窄症・腰椎変性すべり症)
- ◆変形性関節症(股・膝・足など)

【実績】

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度
人工関節手術(膝・股・肩)数(件)	30	25	18
大腿骨近位部骨折手術(人工骨頭挿入術)数(件)	26	33	28
大腿骨近位部骨折手術(骨折観血的手術)数(件)	28	27	36
骨密度測定数(件)	1,714	1,552	1,224

【医師紹介】



整形外科部長
リハビリテーション科部長

中村 達彦(鳥取大学 昭和61年卒)

外来診療／火曜日・木曜日

所属学会・専門医情報

- ◆日本整形外科学会(専門医、認定運動器リハビリテーション医)
- ◆日本骨代謝学会
- ◆日本骨粗鬆症学会
- ◆日本骨折治療学会
- ◆日本医療マネジメント学会

FIELD/専門分野

乳児から超高齢者まで整形外科疾患全般広く診療しています。股関節開排制限のある乳児に対してはレントゲン検査の他、超音波検査を行い脱臼の有無を調べます。その結果に沿った治療を進めて参ります。骨粗鬆症に対してはDXA装置を用いた骨密度測定結果と血液検査による骨代謝マーカー測定結果を参考にして最適な治療法を選択しています。

MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

患者さんの希望に添い、喜んで貰える医療を提供したいと考えて日々診療に従事しています。



整形外科医長 根津 明菜(久留米大学 平成21年卒)

外来診療／月曜日・水曜日・金曜日

所属学会・専門医情報

- ◆日本整形外科学会(専門医)

FIELD/専門分野

整形外科一般

MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

地域医療に貢献できるよう頑張りたいと思います。よろしく願いいたします。



整形外科顧問 山本 吉藏(鳥取大学 昭和34年卒)(嘱託)

外来診療／月曜日・木曜日

所属学会・専門医情報

- ◆日本整形外科学会(名誉会員)
- ◆日本骨代謝学会(名誉会員・学会賞受賞)
- ◆日本骨粗鬆症学会(名誉会員・学会賞受賞)
- ◆日本骨形態計測学会(名誉会員)
- ◆日本人工関節学会
- ◆下田賞受賞

FIELD/専門分野

骨・関節疾患が専門です。骨粗鬆症と人工関節を中心に診断・治療・研究を行ってきました。特に骨粗鬆症はDXA法で測定した骨密度の結果から病態に応じた治療を行っており、人工関節は45年の経験に基づいて相談に応じています。また、整形外科疾患一般のセカンドオピニオンにも対応しています。

MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

骨粗鬆症の外来通院の患者さんには、骨密度の測定結果を報告しながら連携治療を行っていますので御利用頂ければ幸いです。

整形外科部長 三木 純(山口大学 昭和55年卒)(嘱託)

外来診療／火曜日・木曜日

所属学会・専門医情報

- ◆日本整形外科学会(専門医、認定運動器リハビリテーション医)

FIELD/専門分野

整形外科全般の外来診療を行っています。痛みを抱えて生活することは心身に大きなストレスを与えます。痛みの原因を調べて、患者さんに分かりやすく説明し、納得いただいた上で治療方針を決定するように心がけています。糖尿病患者の骨粗鬆症など他疾患との関連も確認しながら診療を行っています。

MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

長年続く腰や下肢の痛みなどでお困りの患者様がおられましたら、お気軽にご相談、ご紹介下さい。

非常勤 外来担当

医療法人元町病院病院長 奥野 誠(外来診療／金曜日)
野島病院整形外科医師 岸本 英彰(外来診療／月曜日)

非常勤 手術・外来担当

鳥取大学整形外科助教 三原 徳満(外来診療／水曜日)

産婦人科

【概要】

女性のライフステージは女性ホルモンの一つであるエストロゲンの分泌動態により、思春期、性成熟期、更年期、老年期の4つに分類されます。そしてそれぞれのステージには、このエストロゲンの変化に伴った特有の病気がみられます。当院では全てのステージでおこるこれら女性特有の疾患に対して最新・最善の治療を受けていただけるよう、女性医師を含めた4名の専門医（常勤:男性1名、女性2名、非常勤:女性1名）により、日々努力しております。また手術に関しても月、火、木の午前・午後と十分な枠を確保して、患者の要望に応えられるよう努めております。なお周産期医療に関しましては平成26年より分娩の取り扱いを中止しておりますが、妊婦健診は引き続き行っております。

【対象疾患】

- ◆ 良性疾患—子宮（子宮筋腫、子宮内膜ポリープ、子宮腺筋症、子宮内膜症）卵巣（卵巣のう腫、チョコレート嚢胞など）卵管（卵管留水症、卵管膿瘍、子宮外妊娠）外陰（外陰腫瘍、バルトリン腺膿瘍など）
- ◆ 悪性疾患—子宮頸癌、子宮体癌、卵巣癌の診断や検診
- ◆ 骨盤臓器脱—子宮脱、膀胱瘤、直腸瘤
- ◆ 生殖・内分泌異常—不妊症の検査と治療（人工授精まで）、思春期の月経異常、月経困難症、月経前症候群、更年期症候群など

【実績】

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度
総手術数(件)	170	151	141
子宮全摘術(開腹)	29	30	20
腹腔鏡下手術	21	26	20
子宮鏡下手術	37	32	42
子宮脱手術(膣式)	30	24	19
子宮頸部円錐切除術	33	26	30

【医師紹介】



産婦人科部長 片桐 千恵子（鳥取大学 平成元年卒）

外来診療／月曜日・火曜日・木曜日・金曜日

所属学会・専門医情報

- ◆ 日本産科婦人科学会（専門医）
- ◆ 日本女性医学学会（女性ヘルスケア専門医）
- ◆ 日本生殖医学会
- ◆ 日本産科婦人科内視鏡学会
- ◆ 日本女性心身医学会
- ◆ 臨床研修指導医研修了
- ◆ 母体保護法指定医
- ◆ 日本スポーツ協会公認スポーツドクター
- ◆ 日本女性心身医学会

FIELD/専門分野

一般婦人科疾患、不妊症検査と治療、女性内分泌変化による思春期、更年期の諸症状、女性アスリートの健康支援、性に関するトラブルと疾患（性被害、性感染症、性教育など）

MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

当院では分娩を取り扱っておらず、婦人科疾患中心の診療を行っております。小児からご高齢の方まで幅広い年齢層の患者様に受診いただいています。診察時の身体的、精神的な負担を軽減できるようスタッフとともに努めています。



産婦人科部長 下雅意 るり(鳥取大学 平成13年卒)

外来診療／月曜日・水曜日・木曜日(交代)

所属学会・専門医情報

- ◆日本産科婦人科学会(専門医)
- ◆日本臨床細胞学会(専門医)
- ◆日本女性医学学会
- ◆日本婦人科腫瘍学会
- ◆臨床研修指導医研修修了
- ◆緩和ケアの基本教育に関する指導者研修会修了
- ◆緩和ケアの基本教育に関する指導者研修会修了
- ◆母体保護法指定医

FIELD/専門分野

婦人科腫瘍を専門としており、特に検診やワクチンの勧奨、早期受診の啓発に力をいれています。その他、月経に伴う不調や更年期症状といった女性に特有の症状を緩和する女性医学を学んでいます。

MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

成人女性だけでなく、すべての女性の健康をサポートするのが産婦人科です。そのために、いつでも・誰でも気軽に相談できるような産婦人科医でありたいと思います。



産婦人科部長 石原 幸一(鳥取大学 昭和56年卒)(嘱託)

外来診療／火曜日・水曜日(午後)・木曜日(交代)・金曜日

所属学会・専門医情報

- ◆日本産科婦人科学会(専門医)
- ◆日本産婦人科手術学会
- ◆日本婦人科腫瘍学会
- ◆日本臨床細胞学会
- ◆母体保護法指定医
- ◆臨床研修指導医研修修了
- ◆厚生労働省緩和医療研修修了

FIELD/専門分野

女性の内外性器(外陰・膣・子宮・卵巣・卵管)に発生する疾患を経腔超音波や骨盤MRI/CTなどの画像診断を駆使して、できるだけ短期間で精査を行います。そして診断が確定すれば低侵襲手術である内視鏡下手術(子宮鏡・腹腔鏡)も含め、最も適した治療法を検討して早急に治療を始めるよう尽力しております。

MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

医師スタッフの増員で、手術枠を月(午後)、火(午前・午後)木(午前・午後)と増やしております。そしてより早期の治療や患者様の要望にお応えできるようになりました。

麻酔科

【概要】

手術適応年齢の高齢化が一段と進み、全身麻酔を必要とする手術件数は増加し続けています。当院麻酔科は、日本麻酔科学会認定の常勤専門医2名と非常勤専門医1名で手術麻酔を担当しています。

対象疾患

◆当院手術室で行われる各手術

◆産科診療所の帝王切開

【実績】

麻酔別手術件数	令和1年度	令和2年度	令和3年度
全身麻酔	514	545	605
脊硬麻	17	11	17
静脈麻酔	8	9	2
局所麻酔	212	218	179
総数	751	783	803

【医師紹介】



麻酔科部長 佐藤 章子(金沢医科大学 平成12年卒)

所属学会・専門医情報

- ◆日本麻酔科学会(認定医・専門医)
- ◆日本臨床麻酔科学会
- ◆厚生労働省麻酔科標榜医
- ◆厚生労働省緩和ケア研修修了

FIELD/専門分野

手術室での外科・整形外科・婦人科の麻酔に関わっています。手術内容や患者様の術前の全身状態に応じて、より最適な麻酔方法や薬物を選択しています。硬膜外麻酔による術後鎮痛や早期の日常生活への復帰など、術後の生活の質(QOL)を考慮した麻酔・周術期管理をめざしています。

MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

患者様の不安を軽減できるよう、手術前に丁寧な説明を心がけています。安心安全な医療を提供できるよう連携を図り、患者様に寄り添った麻酔を日々心がけています。



麻酔科医員 多喜 小夜(鳥取大学 平成3年卒)(嘱託)

所属学会・専門医情報

- ◆日本麻酔科学会(専門医、指導医)
- ◆日本産科麻酔学会
- ◆日本障害者歯科学
- ◆日本臨床麻酔学会
- ◆厚生労働省麻酔科標榜医

FIELD/専門分野

各科手術の麻酔管理を行っています。全身麻酔に加え、硬膜外麻酔、脊椎麻酔を組み合わせることにより、術後の鎮痛にも配慮しています。また、米子市内の産科診療所における帝王切開の麻酔管理も出張で行っています。

MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

手術を受ける患者さんの安全を第一に麻酔管理を行っています。地域の産科医療を微力ながら支えたいと思っています。

非常勤 手術援助

麻酔科医師 廣澤 壽一

放射線科

【概要】

各診療科や近隣の医院、病院からの依頼に応じて、各々の画像検査を行いその結果を診断レポートとして報告しています。依頼された検査のみで診断が見つからない場合は、追加の必要な検査を提示し、早期に的確な治療へと結びつくように努力しています。また、画像診断装置を利用した IVR（インターベンショナルラジオロジー）という治療を行っています。対象疾患は全身に及びます。

対象疾患

◆肝腫瘍

◆透析シャントトラブル

◆中心静脈ポート留置

【実績】

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度
IVR(件)	51	77	70

【医師紹介】



放射線科部長 中村 希代志 (鳥取大学 平成3年卒)

外来診療 / 月曜日～金曜日

所属学会・専門医情報

- ◆日本医学放射線学会(放射線診断専門医)
- ◆日本インターベンショナルラジオロジー学会(IVR専門医)
- ◆検診マンモグラフィ読影認定医
- ◆日本消化器病学会

FIELD/専門分野

頭部・胸部・腹部を中心とした全身の画像診断をCTとMRIを用いて行っています。また、透析シャントトラブルに対するバルーンカテーテルを用いた経皮経管的治療や中心静脈ポート留置等の低侵襲的治療を行っています。

MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

必要十分な画像診断を少しでも早く、そして正確にできるように放射線技師や看護師等のスタッフと心がけています。

非常勤 外来担当

鳥取大学放射線科 仕名野 堅太郎

鳥取大学放射線科 川口 萌

眼科

【概要】

人間の五感のうち、視覚から得られる情報量は80%以上とされています。特にパソコンやスマートフォンが普及した現代においては、QOLを守るため、視機能を維持することは大変重要となります。高齢化社会に伴って、白内障・緑内障・糖尿病網膜症・加齢黄斑変性などの疾患が増加しています。眼科は視機能を守るお手伝いをさせていただいております。

外来は平日の午前診療、手術は水曜午後、主に白内障手術を行っています。眼科一般を診療しております。

対象疾患

- ◆ドライアイ
- ◆ぶどう膜炎
- ◆緑内障
- ◆加齢黄斑変性症
- ◆角膜炎
- ◆白内障
- ◆糖尿病網膜症
- ◆網膜静脈閉塞症等

【実績】

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度
白内障手術	135	125	124

【医師紹介】



眼科部長 **小松 恵子**(鳥取大学 平成13年卒)(嘱託)

外来診療/月曜日～金曜日

所属学会・専門医情報

- ◆日本眼科学会(専門医)
- ◆日本眼科医会

FIELD/専門分野

角結膜疾患、白内障、緑内障、糖尿病網膜症等、眼科一般を診療しております。

MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

患者様に丁寧な診察、わかりやすい説明を心掛けています。地域の皆様のお役に立てるよう精進してまいります。

非常勤 手術援助

鳥取大学眼科助教 稲田 耕大

小児科

【概要】

小児リハビリテーションで、発達障害などがある児に対し作業療法・言語聴覚療法を行います。2015年11月から発達障害児に対するリハビリテーションを行っています。運動面やコミュニケーションなどについて、それぞれの児の発達に応じて療法士が個別に対応しています。まず、「博愛こども発達・在宅支援クリニック(以下クリニック)」を受診していただきます。クリニックからの紹介で、病院の小児リハビリテーション外来を受診していただき診察いたします。(クリニック・病院いずれも予約制です。)クリニックでは経過を診察し、病院ではリハビリテーションの実施計画を立て指示を出し、作業療法・言語聴覚療法を行います。定期的にクリニック脳神経小児科医・病院小児リハビリテーション担当医・療法士でカンファレンスを行い、クリニックと病院とで発達支援の連携を図っています。

対象疾患

- ◆広汎性発達障害
- ◆注意欠陥多動障害
- ◆知的障害
- ◆自閉症スペクトラム障害
- ◆言語発達遅滞
- ◆ダウン症候群など

非常勤 外来担当 外来診療／月曜日・火曜日・木曜日・金曜日

博愛こども発達・在宅支援クリニック小児科部長 福永 真紀

臨床検査科

【概要】

検査結果の判断の補助を行うとともに、臨床検査全般の管理、運営並びに院内検査に用いる検査機器及び試薬の管理を担当しています。また検査部員の指導、教育、育成にも携わり臨床検査部全体の質の向上を目指しています。

【医師紹介】



臨床検査科部長 鶴原 一郎(鳥取大学 昭和45年卒)

臨床検査科業務／月曜日～金曜日

ドック健診センター／月曜日～金曜日

所属学会・専門医情報

- ◆日本内科学会(認定内科医)
- ◆日本消化器病学会(専門医)
- ◆日本消化器内視鏡学会(専門医)
- ◆日本消化器がん検診学会

FIELD/専門分野

定年までは消化器病の診療、検査等に従事していましたが、以後は内科医として消化器を含む内科全般における診察と検査科支援に携わっています。

MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

多岐にわたる検査項目を取り入れ正確な検査結果を速やかに報告するよう努めています。ドックを利用されている皆様の健康管理を地域の先生に依頼するよう取り組んでいます。

非常勤医師による専門外来

診療日

診療科目		月	火	水	木	金
血液内科	午前診	—	—	—	鳥取大学医師 (第1,3,5)	—
皮膚科	午後診	—	—	—	鳥取大学医師 (診療:14時～)	—
泌尿器科	午前診 (受付:11時まで)	—	鳥取大学医師 (診療:9時30分～)	—	鳥取大学医師 (診療:9時30分～)	宮川 征男

血液内科

診察内容

血液疾患全般について外来診療を行っております。当院で検査後、必要に応じて鳥取大学医学部附属病院に紹介し、連携を図っています。

対象疾患

◆各種貧血 ◆骨髄増殖性腫瘍 ◆悪性リンパ腫 ◆慢性白血病 ◆急性白血病

医師紹介

鳥取大学血液内科教授 福田 哲也

皮膚科

診察内容

一般皮膚疾患について外来診療を行っております。当院で精査および治療完遂が難しい場合は、鳥取大学医学部附属病院に紹介し、連携を図っています。

対象疾患

◆湿疹・皮膚炎(アトピー性皮膚炎、脂漏性皮膚炎、かぶれ等)
◆皮膚感染症(水虫、とびひ、いぼ等) ◆じんま疹 ◆ざ瘡他

医師紹介

鳥取大学皮膚科助教 谷 直実
鳥取大学皮膚科助教 松永 拓磨

泌尿器科

診察内容

尿路性器腫瘍、排尿障害、尿路性器感染症を中心に泌尿器疾患全般について外来診療を行っております。腹部超音波検査、膀胱鏡検査、CT検査、MRI検査、尿路造影検査など、泌尿器科外来で行われる主要検査の全てが実施可能な体制を整えており、尿管ステント留置など緊急に必要な処置も行っております。また、鳥取大学医学部附属病院など、近隣の総合病院と緊密な連携をとっており、手術や検査などで入院治療が必要な場合には、適切な施設に紹介させていただいております。

対象疾患

◆尿路性器腫瘍(前立腺がん、膀胱がん、腎がんなど)
◆排尿障害(尿失禁、前立腺肥大症など)
◆尿路性器感染症(膀胱炎など) ◆尿路結石症 ◆副腎疾患 ◆後腹膜疾患 ◆男性不妊
◆男性性機能障害 ◆尿路性器先天性疾患

医師紹介

鳥取大学泌尿器科准教授 本田 正史
鳥取大学泌尿器科助教 寺岡 祥吾
鳥取大学名誉教授 宮川 征男

救急科・救急診療体制

【概要】

地域の期待と信頼に応えるため、職員一丸となって断らない救急医療を目指しております。日中の救急患者の対応は、地域連携室を窓口にして各診療科で行っています。夜間、休日は、医師1名、看護師1名で救急患者の対応を行っています。診療科ごとに待機医師を設け、必要時には連絡を取って専門的な救急診療が提供できるように努めています。薬剤師、放射線技師、検査技師についても待機制を取っており、必要時には呼び出して諸検査等に対応することが可能です。

また、毎週水曜日(午前)に鳥取大学医学部附属病院救急科より医師を派遣していただき、救急患者の診療を行っています。今後、鳥取大学との連携を推進し、救急体制を充実させていきます。

対象疾患

内科、外科、整形外科、婦人科領域における全ての救急疾患の診療にあたっています。
 小児救急については、小児科が2019年10月に博愛病院から博愛こども発達・在宅支援クリニックに移行したため、小児救急診療は行っておりませんので、ご承知のほどお願いいたします。

【実績】

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度
救急車受入数(終日)	1,228	1,299	1,444
時間外・休日患者数	4,322	3,396	3,499
時間外・休日救急車受入数	789	784	931

非常勤 救急外来担当

鳥取大学救急科医師(毎週水曜日午前 4名で交代)

救急診療情報

鳥取医療情報ネット宿日直情報より救急診療の情報が確認できます。



看護部

【理念・基本方針】

1. 理念 すべての人々の生命と、人間としての尊厳を守り、地域に根差した患者中心の看護を提供します
2. 基本方針
 - ①人としての人格・権利を尊重し、患者が納得できる個別性のある看護を提供します
 - ②患者の安全を第一とし、科学的・倫理的判断に基づいた質の高い看護を目指します
 - ③地域ニーズを把握し、予防・救急・在宅医療へと高い見識と広い視野を持ち、継続性のある看護を推進します
 - ④患者を中心にチーム医療の担い手としてコーディネーターの役割を發揮します
 - ⑤看護専門職業人としての能力開発と看護職として自律のために、常に自己研鑽に努めます

スローガン

令和3年度

患者の力を引き出す待つ看護の実践
— 肯定的アプローチと快の提供 —

令和4年度

新しい力を生かした個別性のある看護の実践

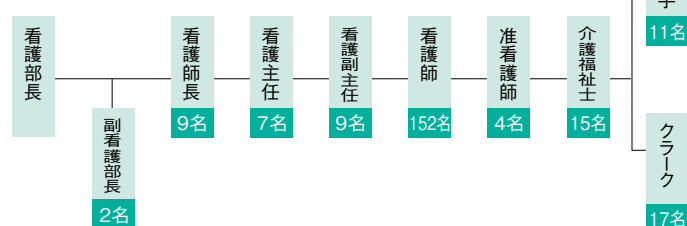
【組織・人員構成(看護体制)】

責任者

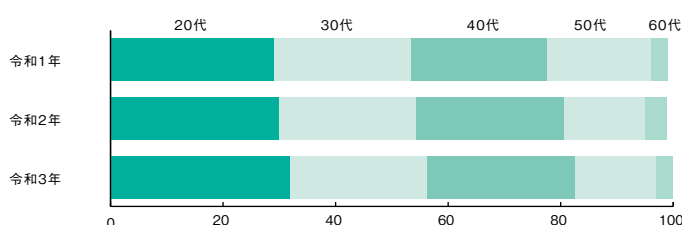
看護部長 / 中村真由美

副看護部長 / 足塚則子・竹仲美奈子

人員構成 2022年4月1日現在



年度別看護師年齢構成



看護体制

- 病棟2階 51床 地域包括ケア病棟 (13:1)
- 病棟3階A 38床 療養病棟1 (20:1)
- 病棟3階B 30床 回復期リハビリテーション病棟 (15:1)
- 病棟4階A 41床 一般病棟 (10:1)
- 病棟4階B 39床 一般病棟 (10:1)
- 外来
- 手術室
- 透析室

看護実践

看護部では、①入院を機に高齢者のADLを低下させない ②身体抑制をしない看護の実践 ③認知症看護の質向上を目指した博愛セル方式による看護の提供、タクティールケアの導入と定着に取り組んでいます。

その結果、2021年度は各部署がタクティールケア実践数の目標を達成し、そばに在る看護により身体拘束件数を減らすことができました。

2022年度も継続して、常に患者に寄り添い、高齢者看護・認知症看護の質向上に取り組んでいきます。

【教育体制】

教育目的

看護師が倫理的な思考と正確な看護技術を基盤にケアの受け手のニーズに応じた看護を臨地で実践する能力を養う



1. ラダーI(新人)研修

- ①基礎看護技術の習得(集合研修・部署研修)
- ②ローテーション研修(希望部署での業務体験)
- ③患者体験研修(1日患者体験を実施・研修の学びを発表)
- ④eラーニング(基礎習得コース)

2. ラダーII・III研修

(個々のキャリアアップ支援)

- ①事例学修報告会(ラダーII)
- ②メンバーシップ研修

③意思決定支援

④リフレクション研修(ラダーIII)

⑤eラーニング(看護研究コース・中堅コース)

3. 統合研修(全看護師を対象とした研修)

- ①疾患に関する研修(心不全・呼吸器疾患・神経難病等)
- ②高齢者の摂食嚥下障害
- ③BLS研修
- ④履修報告会(前期・後期)

MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

当院は急性期から慢性期・在宅医療・救急医療等地域に根差した医療と看護を提供しています。地域のみなさんの期待と信頼に応えるため地域医療機関と連携し地域医療に貢献したいと思います。

外来看護部

【概要】

当院外来は、幅広い診療科において看護を展開しています。内視鏡室、ドック健診センター、化学療法室、血管造影室、訪問診療など様々な分野で患者さんが安心して安全に検査・処置・治療をいただけるように努めています。さらに、乳がん看護認定看護師や糖尿病看護認定看護師、糖尿病療養指導士、内視鏡技師を配置しておりそれぞれの分野の専門性を活かして看護を提供しています。

目標(BSC重点施策)

令和3年度

1. 外来の重症患者を見逃さない気づける看護の実践
2. 患者・家族との信頼関係を構築し患者の価値観や意向を引き出す力を高め患者の意思決定支援ができる
3. 働き続けたいと思える外来への変革

令和4年度

- 患者に寄り添い、思いに応える外来看護の提供
- 救急看護・ACPの実践・リリーフの実践・化学療法カンファレンス実践
 - 対応困難事例への取り組み・内視鏡でのタクティール・ドック室機能評価認定取得

【実績】

*在宅療養指導件数(糖尿病認定看護師)14件
透析予防指導件数14件

がん相談外来	令和1年度	令和2年度	令和3年度
看護介入数(件)	378	348	379
がん患者指導管理料(イ)	64	103	108
がん患者指導管理料(ハ)	—	17	53

【スタッフ紹介】

責任者

看護師長／西川厚子

人員構成

看護師 ……………26名
乳がん看護認定看護師 ……………1名
糖尿病看護認定看護師 ……………1名
糖尿病療養指導士 ……………2名
内視鏡技師 ……………3名
看護助手 ……………2名
クラーク ……………10名



MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

外来は病院と在宅をつなぐ場として病棟看護師と連携を取り、切れ目のない継続看護の提供を行っています。患者さんが安心して自分らしい生活が継続できるよう支援しています。

2階病棟(地域包括ケア病床)

【概要】

急性期治療を終えた患者の継続的治療やリハビリテーションを行い、在宅復帰の支援を行っています。また、在宅にて療養されている方の入院受け入れを行っています。治療後、引き続き在宅療養へ戻れるよう、退院後の生活のイメージを共有し方向性を患者・家族と検討し医療チームで情報共有しています。

退院前は必要な社会資源を活用できるように、当院の医療スタッフや在宅支援スタッフと共に自宅退院に向けた支援を行っています。

目標(BSC重点施策)

令和3年度

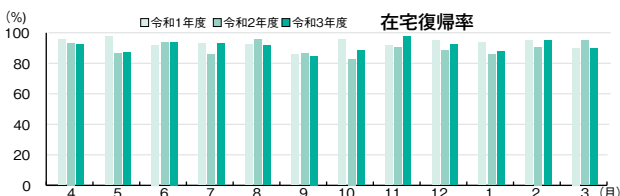
1. 認知症患者の特性を理解し、患者個々に合わせた看護を提供する
2. 受持ち看護師の意識を向上させる
3. 業務改善を継続し、時間外勤務を減少させ、イキイキと働ける職場にする

令和4年度

1. 地域包括ケア病棟の役割を発揮し、患者家族が満足できる退院支援を行う
2. 退院後の生活を意識し、患者の能力を引き出す看護を実践する
3. リーダーシップが取れる人材を育成し、看護師の満足度の向上を図る

【実績】

2階病棟では昨年度より患者と共に退院後の生活を意識した看護展開を行っています。患者満足度調査では、ベッドサイドカンファレンスに参加した患者の85%が看護師の関わりに満足していると回答をいただきました。私たちは、住み慣れた自宅での生活に戻れるよう入院中から支援・調整を行っています。



【スタッフ紹介】

責任者

看護師長／藤居貴子

人員構成

入退院支援看護師 ……………1名
看護師 ……………28名
(育休2名含む)
理学療法士 ……………1名
看護助手 ……………3名
クラーク ……………1名



MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

医療チームによる各職の専門知識を活かし連携を図り、患者の今後の治療や在宅復帰に向けて質の高いサービスを提供しています。

3階A病棟 (療養病床)

【概要】

急性期の治療を終え、引き続き医療の必要性が高く、病院での入院療養が継続的に必要な患者様にご利用いただく病床です。

【受け入れ可能な医療処置】人工呼吸器、気管カニューレ留置酸素療法、喀痰吸引、血液透析、中心静脈栄養、末期の悪性腫瘍、褥瘡、胃瘻などの経腸栄養など。※人工呼吸器は人数制限、条件あり

目標 (BSC重点施策)

令和3年度

- 1.五感を通した快の刺激に働きかけ、患者の尊厳を守り支えることでスタッフのモチベーションアップにつなげる
- 2.慢性期疾患の理解を深め安全な療養環境を提供する
- 3.スタッフが問題の共通認識を持ち、業務改善を行う事で仕事への意欲が湧き、やりがい感に繋げる

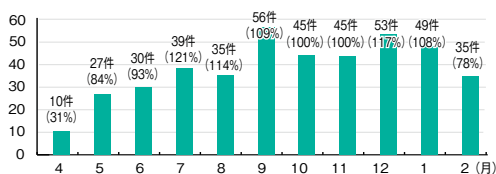
令和4年度

- 1.患者が「持てる力」を引き出す看護実践
- 2.エンドオブライフケアを患者家族と共に考え、終末期患者を支えることで、スタッフの終末期ケアに対する意識を向上させる
- 3.新人看護師の個々に合った指導を行い成長を支援する

【実績】

タクティールケアを行う事で患者様からは「こんなサービスもしてもらえて最高です。またお願いしたいです」と喜んでいただくことができました。タクティールは患者様の刺激に有効であり、今後も『快の提供』の看護実践として継続していきます。

タクティール実践件数



【スタッフ紹介】

責任者

看護師長 / 池嶋美緒

人員構成

入退院支援看護師(兼務)……………1名
 看護師……………19名
 緩和ケア認定看護師……………1名
 介護福祉士……………5名
 看護助手……………1名
 クラーク……………1名



MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

3A病棟(療養病床)は『やさしく寄り添う看護と介護』を目標に、多職種が協力し患者様のケアを提供しています。各職種の専門知識を活かし、医療・看護・日常生活の支援を行い、安心安全な療養生活を支援していきます。

3階B病棟 (回復期リハビリテーション病床)

【概要】

回復期リハビリテーション病棟は、脳血管疾患や大腿骨骨折などの発症から急性期治療を経た後、在宅生活復帰・社会生活復帰を目指してリハビリテーションを専門に行っていく病棟です。

現在1病棟30床あります。

入院対象となる疾患や入院期間は、診療報酬で決められています。

目標 (BSC重点施策)

令和3年度

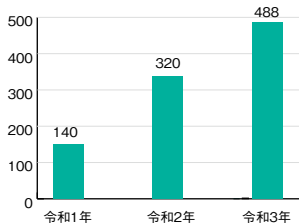
- 1.患者の『快』を引き出し患者の意欲、身体機能向上を目指した認知症看護の実践ができる
- 2.業務改善に取り組み、時間内業務終了を目指す
- 3.看護実践によりケア加算を確実に算定し、病院経営に貢献する

令和4年度

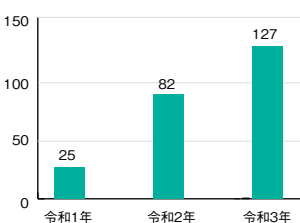
- 1.リハビリテーション看護の知識を向上させ、個別性を重視した看護計画を実践する
- 2.安全な環境調整を行い、患者の日常生活機能を向上させる
- 3.チームの一員として、個別性のある看護が提供できる新人看護師を育成する

【実績】

認知症ケア加算(月平均件数)



摂食機能療法加算(月平均件数)



【スタッフ紹介】

責任者

看護師長 / 細田友加

人員構成

入退院支援看護師(兼務)……………1名
 看護師……………14名
 准看護師……………1名
 介護福祉士……………8名
 理学療法士……………6名
 作業療法士……………6名
 言語聴覚士……………3名
 クラーク……………1名



MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

患者様一人一人に合わせたリハビリテーションを、専門職によるチームで実践しています。入院中から在宅生活を見据えた日常生活を送り、在宅・社会復帰を目指します。

4階A病棟（一般病床、地域包括ケア病床）

【概要】

主な対象疾患は、骨折、変形性関節症などの整形疾患と、心不全・肺炎などの内科疾患です。地域包括ケア病床（8床）を含む急性期一般病床の41床となっています。急性期から慢性期まで幅広く、入院と同時に退院に向けての支援を強化しています。専従の入退院支援看護師・受け持ち看護師を中心に、出来るだけ入院前の生活に戻れることを目標に、日々多職種で話し合いを行っています。

目標（BSC重点施策）

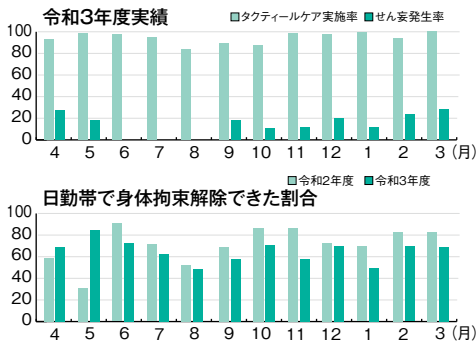
令和3年度

1. タクティールケアの実践と患者のそばに寄り添うことで身体拘束を減少させる
2. 業務改善により時間外労働を減らし、やりたい看護実践につなげることでスタッフの満足度向上をめざす
3. 入院患者の多い疾患の知識と看護技術の向上を図り医師への適切な報告をめざすとともに在院日数を減少させる

令和4年度

1. 整形外科患者の適切なポジショニングで良肢位の保持と観察を行うことで新規褥瘡発生を減少させる
2. プリセプティ、プリセプター、アソシエイトの満足度を高めることで新人看護師離職率ゼロを目指す
3. タクティールケアの実践と患者のそばに寄り添うことで身体拘束を減少させる

【実績】



【スタッフ紹介】

責任者

看護師長 / 松岡洋子

人員構成

- 入退院支援看護師 1名
- 看護師 23名
(育休1名含む)
- 介護福祉士 1名
- 看護助手 2名
- クラーク 1名 (育休中)



MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

認知症看護に力を入れ、患者のそばに居ることで離床センサー等の解除に取り組み、また、整形外科周術期の患者にタクティールケアを実施し、せん妄発生予防に努めています。

4階B病棟（一般病床）

【概要】

外科・婦人科・内科を中心に、急性期病棟として周術期や緊急入院の患者さんを受け入れています。また終末期患者さんの受け入れも行い、多職種で症状コントロールについて検討し苦痛の緩和を行っています。超高齢の患者さんも多く、安全への配慮やADLが維持出来るような支援も行っています。退院後安心して生活していただけるよう、地域包括支援システムへの移行と継続看護を行っています。

目標（BSC重点施策）

令和3年度

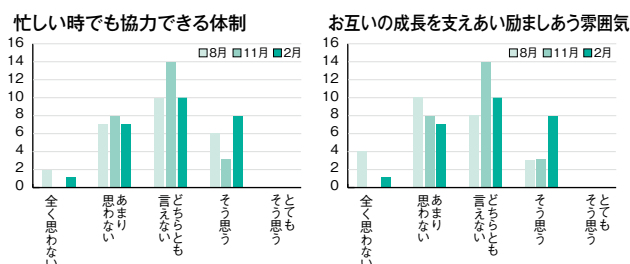
1. 安心できる療養環境の提供や看護ケアを実施し「急性期病棟でもできる」患者に寄り添う看護の実践
2. 急性期における疾患・看護について看護師の基礎知識の向上を図り、早期退院支援へつなげる
3. 信頼関係の構築を図り、働きやすい職場環境の定着を目指す

令和4年度

1. 患者参画型カンファレンスを取り入れることにより個を重視した看護の提供
2. 協力体制のしくみを作り、働きやすい職場環境を構築
3. 個々が「やりたい看護」に対して明確な目標をもち、達成することで「やりがい感」を得る

【実績】

信頼関係の構築を図り、働きやすい職場環境の定着を目指す



【スタッフ紹介】

責任者

看護師長 / 加藤美樹

人員構成

- 入退院支援看護師 1名
- 看護師 24名
(育休2名含む)
- がん化学療法看護認定看護師 1名
- 准看護師 1名
- 看護助手 3名
- クラーク 1名



MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

患者さんが住み慣れた場所で安心して生活できるよう、またご家族の負担も軽減できるよう、サポートスタッフと共に歩んでおります。ご不明な点がありましたらご連絡下さい。

手術室

【概要】

手術室部門は、外科系各科（消化器外科、乳腺外科、整形外科、産婦人科、腎臓外科）の医師、内視鏡手術やペーサーメーカー埋め込み術を行う内科医師、麻酔科専門医、看護チームで構成され、さらに手術のための各種医療機器の点検整備をする臨床工学技士、診療放射線技師による術中X線操作、迅速検査に関わる臨床検査技師など、各部門が連携して手術業務を行っています。

目標(BSC重点施策)

令和3年度

- 1.意識下での手術患者の看護介入を向上させ患者満足を得る
- 2.麻酔看護・術式に対する知識を充実させることで達成感につなげ看護師が満足する

令和4年度

- 1.全身麻酔下患者へ安全な手術看護を提供することで神経損傷・褥瘡発生ゼロを目指す
- 2.禁煙指導を強化することで安全な麻酔及び合併症予防につなげ患者が満足する

【実績】

各科手術件数

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度
外科	258	261	291
整形外科	155	199	211
産婦人科	167	155	169
血管外科	26	33	0
眼科	135	125	124
麻酔科	1	0	0
内科	9	10	8
総数	751	783	803

【スタッフ紹介】

責任者

室長／佐藤章子 看護師長／渡邊卓

人員構成

医師 …………… 3名
 (うち1名は非常勤)
 看護師 …………… 7名
 (師長は透析室兼務)

所属学会※医師以外

日本手術看護学会 …………… 5名



MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

開業医の先生方からの紹介患者は速やかに検査を行い、早期に手術ができるようにしています。感染予防・事故防止・褥瘡対策など、スタッフ一丸となって取り組んでいます。

透析室

【概要】

透析室は医師・看護師・臨床工学技士・理学療法士がチームとなり、透析患者と家族が安心して治療を受けていただけるような環境を目指しています。ベッド数は20床で40名以上の方の透析療法を行っています。2019年からは腎臓リハビリテーションにも取り組んでおり、透析中に看護師・理学療法士がベッドサイドでストレッチ、自転車こぎ(下肢エルゴメーター)や下肢運動の支援を行っています。

目標(BSC重点施策)

令和3年度

- 1.患者自身がシャントに興味を持ち、自己管理能力を高めることができる
- 2.患者のベッド周囲の環境改善を行い、スタッフの動線の短縮をすることにより、業務改善を図りスタッフが満足する

令和4年度

- 1.フットケアを通し、患者のセルフケア能力の維持・向上につなげ、より安心・安全な透析看護を提供する
- 2.患者と共に確実な感染対策を行い、全ての感染発症ゼロを目指す

【実績】

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度
透析数(回)	5,928	6,324	6,510

【スタッフ紹介】

責任者

室長／田中保則 看護師長／渡邊卓

人員構成

医師 …………… 3名
 看護師 …………… 9名
 (師長は手術室兼務)
 臨床工学技士 …………… 5名
 看護助手 …………… 1名

認定資格(研修修了含む)※医師以外

透析技術認定士 …………… 1名



MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

当院はケアミックス病院です。透析医療が必要な様々な病期の患者に対応できる施設です。送迎サービスなど患者に寄り添える地域に密着した透析室を目指しています。

内視鏡室

【概要】

当院は日本消化器内視鏡学会の指導施設に認定されており、指導医、専門医を中心に、消化器内視鏡検査と治療を行っています。内視鏡室には5名の看護師が配置され、そのうち3名は学会が認定する消化器内視鏡技師の資格を取得しています。呼吸器内科診療の充実に伴い、気管支鏡検査も増加傾向です。また、嚥下機能評価研修を修了した脳神経内科医師が嚥下内視鏡による嚥下機能評価を行っています。

目 標

1. 質が高く、苦痛の少ない、上部・下部消化管や胆膵領域の内視鏡検査と治療、気管支内視鏡検査、嚥下内視鏡検査を継続します。
2. 新型コロナウイルス感染症の蔓延下において、感染を来さないような十分な感染対策を行ったうえで内視鏡検査を継続します。

【実績】

	令和1年度	令和2年度	令和3年度
上部消化管内視鏡検査	4,714	4,462	4,699
下部消化管内視鏡検査	1,184	1,081	1,102
内視鏡的逆行性胆膵管造影	91	64	61
気管支鏡検査	25	27	20
嚥下内視鏡検査	48	23	37

【スタッフ紹介】

責任者

室長／濱本哲郎

人員構成

医師(消化器、呼吸器、脳神経内科を含む)
 ……………11名
 看護師 ……………5名
 看護助手 ……………1名

認定資格※医師以外

消化器内視鏡技師……………3名

所属学会※医師以外

日本消化器内視鏡技師会…3名



MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

上部・下部消化管、胆膵、呼吸器、嚥下機能評価など、幅広い領域の内視鏡検査と治療を高い精度で行っていますので、内視鏡検査や治療が必要な場合には、お気軽にご相談下さい。

化学療法室

【概要】

化学療法室は、外来通院で抗がん剤や生物学的製剤の点滴治療を受ける患者さんを対象に活動しています。認定看護師を含む4名の看護師が交代で常駐し、副反応への対応などに配慮し、治療を安全かつ快適に受けただけよう心がけています。テレビの設置など快適に治療を受けただけようようなアメニティーも充実させています。

目 標

1. ガイドラインや学会報告などを参考に、引き続き2カ月に1回、レジメン内容の見直しや不要なレジメンの削除を行っていく。
2. 副作用対策の強化内容を入れていく。
3. 免疫チェックポイント阻害薬による免疫関連有害事象の早期発見と対策の整備を行う。

【実績】

	令和1年度	令和2年度	令和3年度
化学療法数(件)	532	594	517

【スタッフ紹介】

責任者

室長／近藤亮

人員構成

医師……………1名
 看護師……………4名



MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

心理的なフォローも心がけ、傾聴し、心療内科紹介も行っています。日々新たな知識を獲得し、患者さんに安心かつ快適に治療を受けていただけるよう取り組んでいきます。

ドック健診センター

【概要】

人間ドックとは、船が定期的に修理ドックに入って点検、整備を受け安全な航行に備えるのに例えて付けられた名称と言われており、生活習慣病のわずかな兆候を見逃すまいと身体の隅々まで点検することを目的として日本では昭和29年に、当院では昭和54年に始まりました。

現在、当院のドック健診センターでは人間ドック、各種健診、婦人科検診など年間1万人以上の方が受診され、画像診断のダブルチェック体制、疾患のフォローアップ体制を重視し、病気の予防と早期発見に努めています。特に、乳がん検診においてはマンモグラフィに加え、診断能の優れた最新機器である3D画像のマンモグラフィ(トモシンセシス)、超音波診断装置(ABUS)も使用可能です。また、当施設は新型コロナウイルス感染防止を強化し、日本人間ドック学会認定の感染防止対策実施施設となっております。

健診種類

- ◆ 外来・入院ドック
- ◆ 特定健診、婦人科検診(子宮がん検診、乳がん検診)
- ◆ 全国健康保険協会生活習慣病予防健診
- ◆ 労災二次健診
- ◆ 個人、企業の一般健診
- ◆ 専門ドック(脳ドック、循環器・動脈硬化ドック、骨ドック)

【実績】

	令和1年度	令和2年度	令和3年度
人間ドック	3,853	3,736	4,055
協会けんぽ、健診	3,563	3,548	3,517
婦人科検診	3,401	2,941	3,077
計	10,817	10,225	10,649

令和3年度上半期(4~9月) 外来・入院ドック 精密検査実施の把握率(精検受診率)

	生活習慣病			生活習慣病関連			がん検診						
	血圧	血糖	脂質	心電図	眼底	腹部超音波検査	胸部X線	胃部X線	胃カメラ(生検)	便潜血	子宮頸部細胞診	乳房超音波検査	マンモグラフィ
受診者数(人)	1,988	1,988	1,988	1,988	1,972	1,984	1,979	409	1,447	1,951	616	165	536
D判定	C3+D判定			E判定(要精密検査) 計			E判定(要精密検査) 計						
	23	70	191	94	133	56	61	23	40	140	7	11	46
	1.2%	3.5%	9.6%	4.7%	6.7%	2.8%	3.1%	5.6%	2.8%	7.2%	1.1%	6.7%	8.6%
精検受診数(人)	9	22	51	60	62	41	47	13	40	92	6	8	38
精検受診率(%)	39.1%	31.4%	26.7%	63.8%	46.6%	73.2%	77.4%	56.5%	100.0%	65.7%	85.7%	72.7%	82.6%

C3:3ヶ月後再検、D:要治療、E:要精密検査

【スタッフ紹介】

責任者

センター長 / 木村修 副センター長 / 浅中雅彦

人員構成

医師 3名
 看護師 5名
 保健師 1名
 事務 9名
 クラーク 1名

認定資格

人間ドック健診情報管理指導士 1名(保健師)

所属学会

日本人間ドック学会

【担当医師】

木村 修 アミノインデックス外来(P25)参照
 工藤浩史 乳腺外科(P23)参照
 鶴原一郎 臨床検査科(P34)参照



MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

日本人間ドック学会の判定区分では、3ヶ月後の再検査が必要(C3)、要治療(D)、要精密検査(E)と判定しております。かかりつけ医の先生方には、これらの判定を受けられた方が紹介状を持って受診される場合があると思われまますのでよろしくお願い申し上げます。

【概要】

薬剤部は、医薬品の安全管理、適正使用の役割を担い、安全で質の高い医療を提供出来るように業務に取り組んでいます。医薬品の適正使用の推進においては、他の医療スタッフとは異なる視点（薬学的視点）に立ち、薬の専門家として職能を発揮することが薬剤師としての責務と考えています。調剤業務、持参薬鑑別、医薬品管理、TDM、抗がん剤の無菌調製、外来患者・入院患者への服薬指導、各種チーム医療への参加とともに、医療スタッフへ医薬品安全使用にかかわる情報提供・共有を行っています。また、地域薬剤師や他職種とも連携を図り、入院から外来・在宅まで切れ目ない薬物治療の支援体制を整えています。

目標 (BSC重点施策)

令和3年度

1. 病棟薬剤業務の拡大と充実
2. 地域医療連携の推進
3. 働きやすく・働きがいのある職場づくり
4. 新規事業の開拓

令和4年度

1. 病棟薬剤業務の拡大と充実
2. 地域医療連携の推進
3. 働きやすく・働きがいのある職場づくり
4. SDGs活動の推進

【実績】

	令和1年度	令和2年度	令和3年度
入院処方(枚数)	29,567	26,397	23,802
外来処方(枚数)	5,099	4,256	4,720
院外処方(枚数)	48,237	44,586	44,367
院外処方箋発行率	90.40%	91.10%	90.4%
入院注射処方(枚数)	45,760	32,566	22,433
外来注射処方(枚数)	16,486	15,213	13,250
薬剤管理指導件数	404	761	669
無菌調製件数(月平均)	50	44	39
持参薬鑑別件数(平成30年度より集計開始)	1,991	1,890	1,872

【スタッフ紹介】

責任者

薬剤部長／足立晶子 主任／中山卓

人員構成

医師 …………… 1名
 薬剤師 …………… 7名
 調剤助手 …………… 2名
 SPD スタッフ…………… 4名

認定資格(研修修了含む)※医師以外

日本病院薬剤師会 感染制御認定薬剤師 …………… 1名
 日本緩和医療薬学会 緩和薬物療法認定薬剤師 …………… 1名
 日本臨床栄養代謝学会 NST専門療法士 …………… 1名
 日本糖尿病療養指導認定機構 糖尿病療養指導士 …………… 1名
 日本薬剤師研修センター 認定実務実習指導薬剤師 …………… 2名
 日本病院薬剤師会 病院薬学認定薬剤師 …………… 3名
 日本病院薬剤師会 認定指導薬剤師 …………… 1名

所属学会

日本病院薬剤師会 …………… 7名
 日本医療薬学会 …………… 3名
 日本緩和医療薬学会・日本緩和医療学会・日本環境感染学会・日本静脈栄養学会 …………… 各1名
 日本老年医学会 …………… 1名



MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

当薬剤部では、医療・介護スタッフと協働し、入院から在宅まで切れ目ない質の高い薬物療法を提供するように努めて参ります。薬のことは我々にお任せ下さい。

臨床検査部

【概要】

当院検査部は、地域医療に貢献すべく24時間体制で検査業務に励んでいます。最新型の機器の導入や徹底した品質管理により、迅速で精度の高い検査値報告を目指しています。検査値の精度を高めるために、外部精度管理事業への参加や品質保証施設認証の取得、また学会発表や資格取得など学術研鑽にも積極的に取り組んでいます。そして栄養サポートチームや感染対策チームへの参画、糖尿病教室や自己血糖測定機指導も行っておりチーム医療の一員として活躍しています。さらに近隣住民の方々の健康意識向上、健康管理を目的とした「すまいるプチ検診」を検査部主導で運営しており、地域の方々の健康増進に貢献しています。

目標 (BSC重点施策)

令和3年度

1. 検査部経営の改善
2. 職場環境の改善
3. 機器更新による救急医療強化
4. 肝線維化評価 SWM の導入

令和4年度

1. 検査部経営の改善
2. 職場環境の見直し
3. 安全で質の高い医療の提供
4. 部員の能力向上

【実績】

検体検査部門(件数)	令和1年度	令和2年度	令和3年度
生化学Ⅰ	459,810	458,652	483,054
生化学Ⅱ	33,318	33,273	35,766
免疫血清	50,207	47,630	54,135
血液	67,284	70,482	79,176
一般	36,734	35,815	38,350
輸血	241	159	188
外部委託	13,112	10,941	12,818

すまいるプチ検診	令和1年度	令和2年度	令和3年度
営業日数(日)	241	243	242
実人数(人)	147	98	113

※平成29年7月よりすまいるプチ検診開始

微生物検査部門(件数)	令和1年度	令和2年度	令和3年度
一般培養	2,886	2,963	3,559
感受性	331	414	461
その他	207	172	247

生理検査部門(件数)	令和1年度	令和2年度	令和3年度
心電図	9,282	9,337	9,895
肺機能	4,054	319	418
超音波	8,832	9,165	10,405
動脈硬化	270	250	218
脳波	61	70	77
筋電図	53	73	44
睡眠検査	58	63	24
歩行試験	4	2	1

病理検査部門(件数)	令和1年度	令和2年度	令和3年度
病理	1,824	1,818	1,850
細胞診	1,616	1,803	1,921
婦人科細胞診	2,119	2,125	2,159

外部精度管理主催団体(点数)	令和1年度	令和2年度	令和3年度
日本医師会 臨床検査精度管理調査	97.7/100	98.1/100	98.0/100
日本臨床衛生検査技師会 精度管理調査	97.4/100	98.5/100	99.0/100
鳥取県臨床検査精度管理調査	参加	参加	参加

【スタッフ紹介】

責任者

部長／鶴原一郎 技師長／先瀬浩功

人員構成

医師／1名 臨床検査技師／13名

認定資格(研修修了含む)※医師以外

日本糖尿病療養指導士	2名
鳥取県糖尿病療養指導士	1名
認定輸血検査技師	1名
認定超音波検査士(消化器領域)	2名
認定超音波検査士(循環器領域)	1名
認定超音波検査士(健診領域)	1名
認定超音波検査士(体表臓器領域)	1名
血管診療技師	1名
臨床工学士	1名
健康食品管理士	1名
二級臨床検査士(循環生理学)	1名
認定認知症領域検査技師	1名
認定心電図専門士	1名
緊急臨床検査士	1名
危険物取扱者乙4類	1名
鳥取県肝炎医療コーディネーター	3名



MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

信頼できる検査室として認知いただけるよう検査品質の向上に努めて参ります。またすまいるプチ検診やコロナ自費検査等、地域の医療ニーズへの対応も行って参ります。

診療放射線部

【概要】

診療放射線部では地域の医療機関の皆さまとの緊密な連携体制の構築が重要と考えております。診断・治療・治療後管理とさまざまな場面において、当院の先進医療機器を皆さまにご利用いただく事で地域連携の一翼を担うことができると考えます。地域医療の密接な連携を目指し、患者さんと主治医の先生を、放射線科紹介と共同利用による画像診断でバックアップします。

当院では64列MDCT、1.5TMRI、FPDマンモグラフィ装置、最新の被ばく低減機能搭載透視装置、アンギオ装置などが稼働しています。

また、DX(デジタルトランスフォーメーション)の取り組みとして、AIによる画像診断支援システムや放射線被ばく管理システムを導入しました。

目標(BSC重点施策)

令和3年度

1. 検査件数の増加
2. 検査の Quality up
3. 働きやすい職場作り
4. 放射線被ばく管理システム導入に向けた取り組み

令和4年度

1. 検査件数の増加
2. 検査の Quality up
3. 働きやすい職場作り
4. SDGs活動の推進

【実績】

検査項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度
一般撮影(件)	16,261	16,016	16,343
マンモグラフィ(件)	5,523	5,266	5,659
透視(件)	3,757	3,454	3,456
CT(件)	6,583	6,581	6,328
MRI(件)	3,322	2,979	3,202
骨塩定量(件)	1,090	962	969

【スタッフ紹介】

責任者

部長／中村希代志 技師長／池嶋道夫

人員構成

医師／1名 診療放射線技師／10名 看護師／1名 クラーク／1名

認定資格(研修修了含む)

日本診療放射線技師会・技師格 シニア	4名
日本診療放射線技師会・技師格 アドバンス	7名
日本診療放射線技師会認定 放射線管理士	3名
日本診療放射線技師会認定 放射線機器管理士	1名
日本診療放射線技師会認定 医療画像情報精度管理士	6名
マンモグラフィ認定技師	5名
磁気共鳴専門技術者	1名
X線CT認定技師	1名
胃がん検診専門技師	4名
医療画像情報専門技師	1名
医療情報専門技師	2名
画像等手術支援認定技師	1名
AI認定技師	1名
診療放射線技師会 業務拡大に伴う統一講習会修了	10名



MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

昨年10月より、高額医療機器共同利用で骨塩定量検査を追加いたしました。また、共同利用、放射線科予約専用ダイヤルを追加し、メールで予約受付ができるようになりました。詳細は当院HPでご確認下さい。

専用ダイヤル 090-5051-8172

E-mail : housya-yoyaku@hakuai-hp.jp

リハビリテーション部

【概要】

当院リハビリテーション部は543㎡のリハビリテーション室を有し、急性期、回復期（回復期リハビリテーション病棟・地域包括ケア病棟）、維持期（療養型病棟）、生活期（訪問リハビリテーション）と患者様が発症後辿って行かれる全ての時期にリハビリテーションを提供できる体制をとっております。加えて在宅生活をしながら治療が継続して行えるよう外来でのリハビリテーションも行っております。外来での小児リハビリテーションでは、作業療法士・言語聴覚士・理学療法士により、お子さんへの発達支援を行っております。令和元年度より腎臓リハビリテーションも開始し、透析に通院される方々への運動機能のサポートも行っております。

目標（BSC重点施策）

令和3年度

1. 自部門収益の増加
2. 組織体制の見直し
3. 人材育成システムの構築
4. 新規事業の開拓

令和4年度

1. 自部門収益の増加
2. 組織力強化（主体性、全員がリーダー）
3. SDGs活動の推進
 （目標 5.「ジェンダー平等を実現しよう」 ターゲット 5.5/ 平等性）
 （目標 8.「働きがいも 経済成長も」 ターゲット 8.5/ 働きがい）

【実績】

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	
リハビリテーション平均単位数/日 （1人の患者が行う訓練時間） *1単位=20分の訓練	一般病棟（急性期リハビリテーション）	3.6単位	2.9単位	2.4単位
	回復期リハビリテーション病棟	5.9単位	6.1単位	5.9単位
	地域包括ケア病棟	2.4単位	2.3単位	2.4単位
回復期リハビリテーション病棟 実績指数 （より早く、より回復して退院できたかを示した点数：基準35以上）	53.16	48.15	48.8	
嚥下造影検査	38件	24件	35件	
嚥下内視鏡検査	48件	23件	37件	
外来小児リハ 通院者数 主な疾患：発達性協調運動障害、学習障害、機能的構音障害、知的障害、言語発達遅滞、注意欠陥多動障害、自閉スペクトラム症、ダウン症、超低出生体重児、経口摂取困難など	149名	172名	124名	

【スタッフ紹介】

責任者

部長／中村達彦 技師長／吾郷秀吉

人員構成

理学療法士／25名
作業療法士／19名 言語聴覚士／9名

認定資格（研修修了含む）

- 日本理学療法士協会 認定理学療法士（運動器）……………1名
- 3学会合同 呼吸療法認定士……………4名
- 心臓リハビリテーション指導士……………1名
- がんのリハビリテーション研修会修了……………11名
- 骨粗鬆症マネージャー……………1名
- フットケアトレーナー……………1名
- ケアマネージャー資格取得者……………1名
- 福祉住環境コーディネーター2級……………10名
- 日本ボバース研究会 成人片麻痺認定基礎講習会修了……………3名
- 日本ボバース研究会 成人片麻痺認定上級講習会修了……………1名
- 日本理学療法士協会 指定管理者（初級）……………3名
- 日本理学療法士協会 指定管理者（上級）……………2名
- 日本理学療法士協会 地域包括ケア推進リーダー……………4名
- 日本理学療法士協会 介護予防推進リーダー……………5名
- 日本理学療法士協会指定 職業性腰痛予防講師……………1名
- 鳥取県糖尿病療養指導士……………2名
- 島根県糖尿病療養指導士……………1名
- 重症児の在宅支援を担う医師等養成インテンシブコース修了……………2名
- 転倒予防指導士……………1名
- リンパ浮腫療法士……………1名
- 認知症ケア専門士……………1名

- LSVT LOUD 認定講習会修了……………2名
- 認定訪問療法士……………1名
- 発達コミュニケーション中級指導者……………3名
- 日本理学療法士協会 フレイル対策推進マネージャー1名
- 呼吸ケア指導士（初級）……………1名

所属学会

- 日本理学療法士協会……………24名
- 日本作業療法士協会……………8名
- 日本言語聴覚士協会……………3名
- 山陰言語聴覚士協会……………3名
- 日本徒手理学療法学会……………1名
- 日本運動器徒手理学療法学会……………1名
- 日本心臓リハビリテーション学会……………4名
- 日本循環器学会……………1名
- 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会……………1名
- 日本リンパ浮腫治療学会……………1名
- 日本骨粗鬆症学会……………1名
- 日本摂食嚥下リハビリテーション学会……………2名
- 日本口腔ケア学会……………1名
- 日本認知症予防学会……………1名
- 日本離床学会……………1名
- 日本転倒予防学会……………1名
- 認知症ケア学会……………1名
- 日本DCD学会……………1名
- 日本訪問リハビリテーション協会……………6名
- 一般社団法人 日本ボバース研究会……………3名
- 日本シーティングコンサルト協会……………2名

- NPO オーソティックソサエティー…1名
- 鳥取県アスレティックトレーナー協議会……………1名
- 鳥取県糖尿病療養指導士会……………1名
- 島根県糖尿病療養指導士会……………1名



MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

現在のリハビリテーション医療は質に視点が趣いております。スタッフ個々が専門的資格取得に励み、多種多様な疾患層に対応できるよう技術を磨いております。

臨床工学室

【概要】

臨床工学室は、臨床工学技士法に基づく国家資格を持つ5名の医療技術者で構成されており、生命維持監視装置の操作、院内にある医療機器の保守管理を行っております。博愛病院の理念のもと、博愛の心で医療を行い地域に貢献できるよう日々の業務に臨んでいます。臨床工学技士の業務として、透析業務、呼吸管理業務、医療機器の保守点検、医療機器安全使用に関する研修活動、医療ガス配管設備点検などがあります。患者様が安全に治療を受けることができるよう、医師、看護師をはじめ、その他医療スタッフと共に活動しています。

目標 (BSC重点施策)

令和3年度

1. 透析患者 QOL の改善
2. 業務改善
3. 機器管理業務
4. 医療機器の動画マニュアルを作成

令和4年度

1. 透析患者の QOL 改善
2. 医療機器の安全使用活動
3. 透析患者の信頼確保
4. 感染予防

【実績】

項目		令和1年度	令和2年度	令和3年度
血液浄化	CHDF	2	26	0
	CHD	0	37	0
	ET吸着	3	1	0
	GCAP	0	0	0
	腹水濾過濃縮	0	1	0
呼吸管理	IPPV	14	19	22
	NPPV	42	32	46
機器管理	ME機器返却時点検	1,104	1,633	1,727
	定期点検	1,974	1,969	2,151
	修理業務(有償修理のみ)	99	108	130
内視鏡室	立ち合い業務	0	0	2
医療ガス	医療ガス配管設備点検	1,936	1,920	2,036
教育	教育	29	12	12

【スタッフ紹介】

責任者

室長／田中保則 主任／田儀匡史

人員構成

医師／1名 臨床工学技士／5名

認定資格(研修修了含む)

透析技術認定士	1名
3学会合同呼吸療法認定士	2名
MDIC(医療機器情報コミュニケーター)	1名
第2種ME技術者	4名
医療ガス保安管理技術者講習会(3日コース)修了	1名



MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

地域の医療機関様、患者様に安心して博愛病院を選んでいただけるよう医療機器の保守管理、生命維持監視装置の安全使用に、より一層精進してまいります。

栄養管理室

【概要】

栄養管理室は、患者さんと向き合った臨床栄養管理の実践と、診療を支援することを目指しています。食事は治療の一環として重要な役割を担います。「安全でおいしく、治療効果を高める食事」を提供できるように努めています。当院では全入院患者さんの栄養スクリーニング・アセスメントをし、栄養ケアプランの作成を行い、定期的にスクリーニングをすることで継続的な栄養管理を実施しています。また、医師の指示に基づき、それぞれの病態に応じた栄養指導（入院・外来・在宅）を行っています。栄養サポートチーム（NST）、糖尿病チーム等の一員としてチーム医療に参加し、管理栄養士の立場から患者さんの個々の栄養状態に応じた提案を行っています。

目標（BSC重点施策）

令和3年度

1. 必要な栄養指導の確実な実施
2. 管理者として必要な知識・技術の向上
3. 新人の育成
4. 新規算定料の獲得

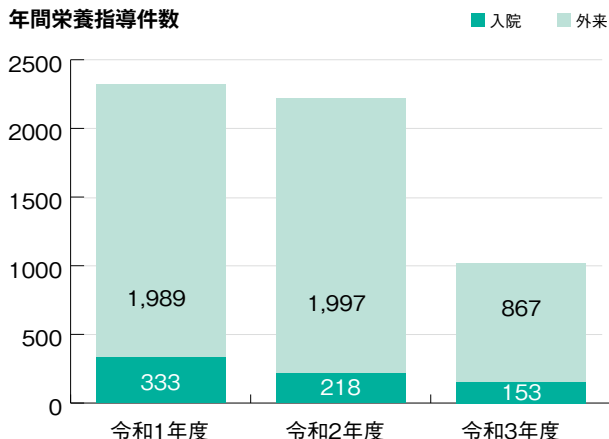
令和4年度

1. 栄養指導件数の維持・増加
2. ワーク・ライフバランスを考慮した業務改善
3. 安全でおいしい食事の提供

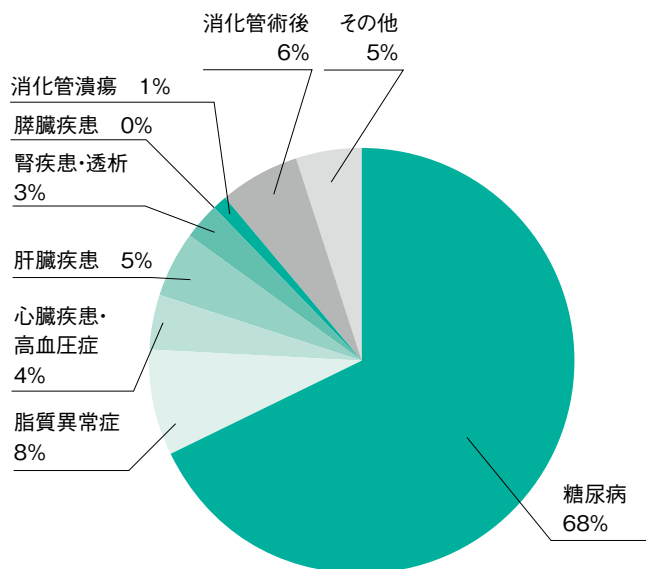
【実績】

	令和1年度	令和2年度	令和3年度
院外紹介栄養指導数(件)	142	121	93

年間栄養指導件数



令和3年度 栄養指導（疾患別）



【スタッフ紹介】

責任者

室長／中村真由美 副主任／山下綾沙

人員構成

看護部長／1名
管理栄養士／3名(育休1名含む)

認定資格

日本糖尿病療養指導士……………2名
NST専門療法士実地修練研修修了……………3名

所属学会

日本栄養士会……………3名
日本病態栄養学会……………3名
日本摂食嚥下リハビリテーション学会……………2名
日本臨床栄養代謝学会……………1名



MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

当院では、管理栄養士が在籍していない医療機関からの紹介患者さんの栄養指導も行っております。食生活に関する様々な相談について継続したサポートをさせていただきます。

在宅医療センター

当センターは、1997年の訪問看護室立ち上げに始まり、2017年在宅医療センター竣工を経て、現在、訪問診療部、訪問看護ステーション博愛、訪問リハビリテーション博愛、サービスプラン博愛、ヘルパーステーション博愛の5部門を擁す県内有数の在宅診療部へと成長してきました。

住み慣れた自宅で、出来るだけ自分らしく療養生活を送れるようサポートすることが我々の使命と役割です。博愛病院はもとより、在宅医療に関わる当地域のクリニック、事業所の皆さんと協力し、住みやすい、療養しやすい地域を作っていきたいと考えています。



訪問診療部

【概要】

自宅から出かけることが難しくなった患者さんに対し、博愛病院の医師が訪問診療を行います。もともと通院していた医師が訪問する、その方が持つ疾患の専門医師が訪問する、緊急時には博愛病院と連携して診療に当たれることが特徴です。

博愛病院は2018年1月より鳥取県内では唯一の機能強化型在宅療養支援病院となっております。

対応疾患

- ◆慢性呼吸器疾患
- ◆脳血管疾患後遺症
- ◆進行期悪性疾患
- ◆慢性心疾患
- ◆神経難病
- ◆その他各種疾患による廃用症候群など

【実績】

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度
訪問診療延回数(件)	331	460	471
往診延回数(件)	35	74	65
合計(件)	366	534	536
在宅死(看取り)(人)	17(11)	34(9)	23(2)
病院死(人)	9	14	8



MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

地域包括診療、在宅診療の重要性が増す中、ケアミックス型である当院の役割は大きくなっています。より良い地域診療が出来るよう、地域の皆さんと協力していきたいと考えております。

【スタッフ紹介】

責任者

センター長／安井建一:脳神経内科(P18)参照
 訪問診療部部長／重白啓司:呼吸器内科(P15)参照
 呼吸器内科部長／西井静香:呼吸器内科(P15)参照
 副院長／角賢一:外科(消化器外科)(P21)参照

訪問看護ステーション博愛

【概要】

24時間、365日いつでもご自宅に伺い、適切な判断に基づいたケアとアドバイスで療養生活が送れるよう支援しています。様々な疾患に対応し特にがん末期の方、在宅看取りの方への支援に力を入れています。また新卒看護師の受け入れや看護学生の訪問実習、訪問看護師ラダーを取り入れ人材育成に取り組んでいます。コロナ感染対策を行いながら訪問看護を継続し体調観察も行っています。

目標 (BSC重点施策)

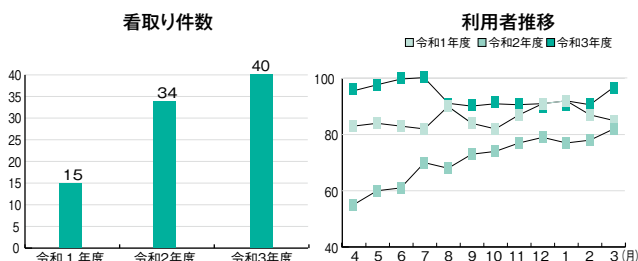
令和3年度

- 1.ターミナルケアを深め、訪問看護の質向上と職員・利用者満足の向上を図る
- 2.ICT活用にて業務改善を行い、時間外労働削減を図る
- 3.介護保険・医療保険報酬体系を理解し、加算算定を確実にを行うことで特定事業の維持を図る

令和4年度

- 1.症状変化時、在宅で出来る検査を行い早期対処することで、利用者・家族が安心して自宅療養出来る
- 2.訪問看護師育成のためのラダープログラムを作成し、個々のラダー評価が出来る

【実績】



【スタッフ紹介】

責任者
看護師長 / 渡部明代

人員構成
看護師 9名
クラーク 1名

認定資格
認定看護管理者教育課程
(ファーストレベル) 修了 4名
介護支援専門員 1名



MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

地域に信頼され、選ばれるステーションを目指しています。がん末期、緩和ケア、在宅看取りに力を入れ支援しています。令和3年5月より機能強化型1が算定可能になりました。

訪問リハビリテーション博愛

【概要】

在宅で療養されている方に理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が訪問してリハビリテーションを行います。主治医からの指示を受け、ケアマネージャー等と連携を取り、ご家庭で安心して生活できるように支援します。

目標 (BSC重点施策)

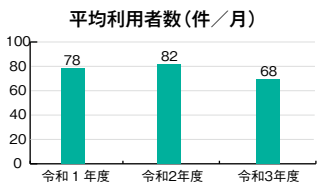
令和3年度

- 1.収益の維持
- 2.訪問リハビリ事業所運営の改善
- 3.スタッフ育成システムの構築
- 4.疾患や制度の知識、リスク管理能力の向上

令和4年度

- 1.収益の向上
- 2.訪問リハビリ運営体制の改善
- 3.スタッフ育成システムの実践
- 4.訪問リハにできるSDGsの取り組みの検討

【実績】



【スタッフ紹介】

責任者
主任 / 増原世子

人員構成
理学療法士 3名
作業療法士 3名
言語聴覚士 1名
事務 1名

認定資格
3学会合同 呼吸療法認定士 1名
日本理学療法士協会
運動器認定療法士 1名
日本理学療法士協会
地域ケア会議推進リーダー 1名

日本理学療法士協会
介護予防推進リーダー 2名
福祉住環境コーディネーター2級
..... 1名
重症児の在宅支援を担う医師等
養成インテンシブコース修了 1名

所属学会
日本訪問リハビリテーション協会
..... 6名
日本理学療法士協会 3名
日本作業療法士協会 3名



MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

訪問リハビリテーション博愛では、呼吸療法認定士の資格を持ったスタッフがおり専門的な呼吸リハビリも行っています。また、脳梗塞、神経難病、循環器疾患、整形疾患等、様々な疾患の方の在宅生活に必要なリハビリを行います。

連携病院 診療情報提供書を頂いている病院、
医院 24箇所
連携事業所 居宅支援事業所 20箇所
地域包括支援センター 4箇所

サービスプラン博愛

【概要】

博愛病院在宅医療センターに介護相談窓口を設置しており、24時間いつでも相談をお受けする体制を整えています。介護支援専門員5名が、医療機関や介護・福祉サービス事業所と連携し、在宅で安心して穏やかに生活できるように対応させていただきます。

目標 (BSC重点施策)

令和3年度

1. 介護報酬収益の増加
2. 職場環境の改善
3. 地域住民の相談窓口としての機能の充実

令和4年度

1. 介護報酬収益の増加により安定した事業所運営を行う
2. 安全で質の高いケアマネジメントを提供し利用者のQOLの向上、在宅生活の継続に貢献する
3. 医療・介護・福祉のシームレスな連携、社会資源の活用により地域の方へ健康と福祉を提供する

【実績】

- ・ケアプラン作成(令和3年度)
 - 要介護……………2,312件(月193件)
 - 要支援……………324件(月193件)
- ・認定調査(令和3年度)……………107件
- ・博愛かるがもカフェ開催
- ・事例検討会

【スタッフ紹介】

責任者

係長／伊澤妙子

人員構成

主任介護支援専門員……………2名

介護支援専門員……………3名



MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

在宅生活を希望される利用者が安心して暮らせるように、地域の医療機関や介護サービスなどと連携を図り、利用者やご家族の思いに寄り添いながら、支援を行います。急に準備が必要になった時にもスピーディーに対応いたします。

ヘルパーステーション博愛

【概要】

介護保険の居宅サービスである訪問介護サービスを提供するところであり、ホームヘルパーがご自宅に訪問し、介護の必要な方がより快適な生活が送れるように支援します。

目標 (BSC重点施策)

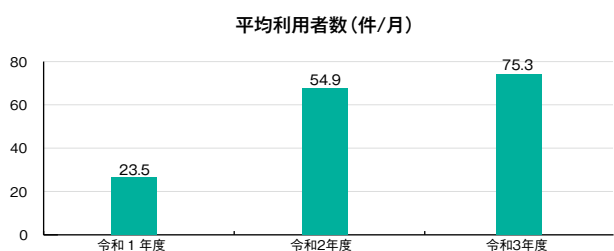
令和3年度

1. 介護報酬の増加
2. 職場環境の改善
3. 質の高い介護技術の提供

令和4年度

1. 介護報酬の増加
2. 職場環境の改善
3. SDGs活動の推進

【実績】



【スタッフ紹介】

責任者

主任／老松良美

人員構成

介護福祉士……………6名

介護員……………1名

(介護職員初任者研修修了)



MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

在宅での生活を少しでも快適に送ることができるよう支援させていただきます。身体面の介護から生活面の介護まで他事業所とも連携しながら行っています。

医療安全対策室

【概要】

平成23年に医療安全の推進を目的に医療安全対策室が設置されました。医療安全対策室は医療安全管理委員会のもと、医療安全に関する知識・認識を高め、院内における医療の安全性の向上をはかり、患者及び職員の安全を確保することを目的に職員から報告されるインシデントレポートの分析・改善策に向けたカンファレンスや院内ラウンドなどを週1回行っています。

目標 (BSC重点施策)

令和3年度

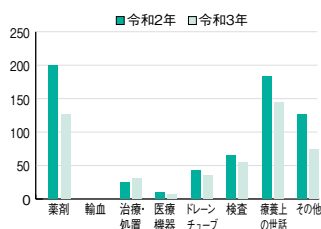
1. 患者確認ルールを徹底
2. 職場環境の整備改善

令和4年度

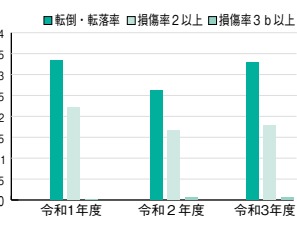
1. 患者誤認防止の軽減
2. 安全安心な医療提供
3. 地域連携強化

【実績】

インシデント概要別件数



転倒・転落率



【スタッフ紹介】

責任者

室長／近藤亮

人員構成

- 医療安全管理室長(医師)……………1名
- 医療安全管理者(専従)(看護師)……………1名
- 診療放射線部室長(放射線技師)……………1名
- 医事課長(医療事務)……………1名
- 感染管理認定看護師……………1名
- 医薬品管理(薬剤師)……………1名
- 医療機器管理(臨床工学士)………1名



MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

昨年度は、医療機関様へご返事の郵送、FAX誤送信があったことから、今年度は院内での「誤認防止ゼロ」を目指し個人情報含め安全管理の徹底に努めて参ります。今後ともよろしくお願いたします。

感染対策室

【概要】

感染対策室は、病院内の感染対策の窓口です。科学的根拠にもとづいた感染対策を実践し、患者さんおよび家族、職員に対し安全な医療、職場環境を提供するため組織横断的に活動しています。病院内には、感染対策チーム(Infection Control Team:ICT)、抗菌薬適正使用支援チーム(Antimicrobial Stewardship Team:AST)があります。メンバーは、医師、看護師、感染制御認定薬剤師、臨床検査技師など多職種で構成されています。

目標 (BSC重点施策)

令和3年度

1. アウトブレイク制御
2. 薬剤耐性菌への取り組み
3. 医療関連感染制御
4. 感染防止対策加算1および感染防止対策地域連携加算の取得

令和4年度

1. アウトブレイク制御
2. 血流感染対策
3. 薬剤耐性菌への取り組み
4. 地域連携の推進

【スタッフ紹介】

責任者

感染対策室室長
インフェクションコントロールドクター(ICD)／西井静香
感染管理認定看護師(CNIC)／田原由紀子

認定資格(研修修了含む)

インフェクションコントロールドクター(ICD)……………1名
感染管理認定看護師……………1名

所属学会

日本環境感染学会……………1名
日本感染管理ネットワーク学会…1名



MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

今年度より、診療所での感染対策に関する加算が新設されました。カンファレンスや相談を通して、病院間のみでなく、地域全体の感染対策を向上できるよう取り組みます。

感染対策チーム (ICT)

【概要】

ICT はインフェクションコントロールチーム (Infection Control Team) の略称で、科学的根拠に基づいて、院内で起こるさまざまな感染症から患者・家族、職員の安全を守るために活動しています。

役割

ICD (感染制御医師) を中心に、感染管理認定看護師、感染制御認定薬剤師、臨床検査技師の多職種により構成されており、組織横断的に病院全体の感染対策に取り組んでいます。

【活動内容】

1. 手指衛生遵守率向上への活動
2. 院内ラウンドによる感染対策遵守状況の確認
3. 感染対策の実施状況の確認や感染性廃棄物の取り扱いに関するアドバイス
4. 耐性菌 (MRSA、薬剤耐性菌など) サーベイランス、血流感染サーベイランス、手術部位感染サーベイランス
5. 抗菌薬の適正使用に関する介入と治療薬物モニタリング
6. 医療関連感染発生状況の把握とアウトブレイクへの緊急対応
7. 感染対策に関する院内研修会の実施
8. 院内感染対策マニュアルの作成と改訂
9. 地域医療施設との連携
10. 新興感染症発生時の準備と対応

【スタッフ紹介】

人員構成

ICD (感染制御医師)	2名
医師	2名
感染管理認定看護師	1名
看護師	2名
感染制御認定薬剤師	1名
臨床検査技師	1名

栄養サポートチーム

【概要】

専門知識や技術を持った複数の職種 (医師、管理栄養士、看護師、薬剤師、言語聴覚士、理学療法士、検査技師など) が、各々の専門性を活かしながら、職種間の垣根を越えたチームで入院患者の栄養管理にあたります。

入院当初から、個々の患者の体格や病状に合わせた栄養療法を実施することで、栄養状態を改善し、疾患の治療効果を上げたり、合併症の予防やQOL (生活の質) を向上させるのが目的です。これにより在院日数を短縮し、医療費を削減することも期待されます。

当院のNSTは、一般社団法人 日本臨床栄養代謝学会 NST稼働認定施設として承認されています。

役割

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 栄養不良患者の早期発見 | 5. 栄養管理上の相談応需 |
| 2. 個々の患者の適切な栄養管理状況の確認 | 6. 合併症の予防や、医療費の削減 |
| 3. 最もふさわしい栄養管理法を指導・提言 | 7. 早期退院や社会復帰を助ける |
| 4. 栄養状態の改善による治癒促進 | |

【活動内容】

回診：週 1 回 (金曜日)
 会議：月 1 回 (第 4 金曜日)
 勉強会：週 1 回 (NST 回診後)
 院内研修会：年 1 ~ 2 回

【スタッフ紹介】

人員構成

医師	4名
薬剤師	1名
臨床検査技師	1名
看護師	6名
管理栄養士	2名
言語聴覚士	2名
理学療法士	1名

認定資格

TNT研修会受講修了 (内科医師)	2名
NST専門療法士	2名
NST専門療法士実地修練研修修了	1名

緩和ケアチーム

【概要】

当チームは、認定看護師、薬剤師を中心にがん患者だけでなく非がん患者も含めた終末期の疼痛、呼吸苦、消化器症状などの臨床症状や精神症状の苦痛緩和への助言や提案を行っています。その他、患者さん・ご家族が自分らしい生活を送れるように自宅などへの退院サポートを支援しています。また、がんリハビリテーションにも力を入れ、患者さんのADLの維持や向上を目指しています。つねに、多職種で関与することを意識して様々な視点から患者さんをサポートするように努めています。さらに、チームでは、緩和ケアに関する知識向上やより薬物療法を理解してもらえるようなアプリを構築し、病棟スタッフなどに利用してもらうことで「誰でも緩和ケア」に触れる機会を作れるようにしています。

役割

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| 1. 身体的苦痛の緩和 | 2. 精神的苦痛の緩和 | 3. 社会的苦痛の緩和 |
|-------------|-------------|-------------|

【活動内容】

チームカンファレンス：緊急時適宜
 定期カンファレンス：月1回
 がんリハビリテーションとの連携

【スタッフ紹介】

人員構成

外科医師 …………… 1名
 薬剤師 …………… 2名
 緩和ケア認定看護師 …………… 1名
 看護師 …………… 6名
 作業療法士 …………… 1名
 理学療法士 …………… 1名
 公認心理師 …………… 1名

褥瘡対策チーム（スキンケアチーム）

【概要】

医師を始め多職種のメンバーで月に1回褥瘡対策委員会を開催し、新規褥瘡発生の低減、褥瘡改善に向けた検討を行っています。また、週1回褥瘡診療計画書をもとに褥瘡保有患者を抽出し、スキンケア委員が中心となり褥瘡の治療やケア・ポジショニングについてカンファレンスを行ったのち回診を行っています。褥瘡発生リスクの高い患者は、各病棟のリンクナースを中心に、使用マットの選択やポジショニングなどの予防対策を実施しています。院内の集合研修を年1回開催し、リンクナースは褥瘡コース研修への参加も推奨し知識・技術の習得を目指しています。

役割

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. 全ての入院患者に対する褥瘡対策評価 | 4. 褥瘡発生状況の把握・分析 |
| 2. 褥瘡発症リスクのある患者の治療計画 | 5. 褥瘡予防対策用具の検討 |
| 3. 褥瘡の治療やケア、ポジショニングへの助言 | 6. ケアに関する知識・技術の習得と啓蒙 |

【活動内容】

ラウンド：週1回（水曜日）
 会議：月1回（第2月曜日）

【スタッフ紹介】

人員構成

整形外科医師 …………… 1名
 薬剤師 …………… 1名
 理学療法士 …………… 2名
 管理栄養士 …………… 1名
 看護師 …………… 9名

心不全チーム

【概要】

心不全チームとは、心大血管疾患の患者さんにおいて、多職種による総合的なチームケアを行います。入院時から回復の支援を図るとともに、退院後の在宅生活における再入院予防の指導管理まで行っています。週1回の回診やカンファレンスを行い、チームでの情報共有と相談を行うことで、よりよいケアが提供できるように活動しています。

役割

1. 安全で有効な運動の設定を検討していきます
2. 再発予防に向けて、生活習慣の指導、栄養指導、服薬指導を検討していきます
3. 院内研修を行い、知識の習得を図ります

【活動内容】

回診：週1回（水曜日）
カンファレンス：月1回
院内研修

【スタッフ紹介】

人員構成
循環器内科医師 …………… 1名
薬剤師 …………… 2名
看護師 …………… 7名
管理栄養士 …………… 1名
理学療法士 …………… 4名
作業療法士 …………… 1名

がんのリハビリテーションチーム

【概要】

当院ではがん治療の早期から積極的に介入し、緩和期では個々の症状に適したリハビリテーションを実施しています。がん患者さんは身体的、精神的症状など様々な苦痛を伴いやすく、またご家族の不安も多く聞かれます。がんリハチームでは多職種が意見を出し合い、患者さんの早期退院やより質の高い生活が送れるよう、チーム医療を実施しています。

役割

1. 苦痛、不安の早期発見
2. 苦痛、不安に対する改善策の提案
3. 早期退院や社会復帰を促す
(患者さんに適したリハビリテーションの介入)
4. 新しい知識の取得（研修会参加、専門資格取得）
5. 多職種による患者さんの状態把握、情報共有

【活動内容】

カンファレンス：月2回（第1・3火曜日）

【スタッフ紹介】

人員構成
外科医師 …………… 3名
薬剤師 …………… 1名
看護師 …………… 8名
医療ソーシャルワーカー …………… 1名
理学療法士 …………… 5名
作業療法士 …………… 3名
言語聴覚士 …………… 2名

呼吸サポートチーム (RST)

【概要】

RSTとはRespiratory Support Teamの略称で呼吸サポートチームのことです。
RSTでは、呼吸器疾患が原因で入院された患者さんに対し、呼吸ケア・機材管理・ポジショニング・日常生活動作等について多職種で情報交換しより良いケアが提供できるように活動しています。
令和4年4月に日本呼吸ケア・リハビリテーション学会および日本呼吸療法医学会の呼吸ケアサポートチーム (RST) 施設に認定されました。

役割

- | | |
|--|----------------------------|
| 1. 人工呼吸器装着患者様の人工呼吸器離脱の促進、人工呼吸器装着期間の短縮を図る | 4. 呼吸ケアに必要な器材の導入・管理の標準化を図る |
| 2. 呼吸ケアを必要とする患者様の医療事故の予防を図る | 5. 医療の経済的な改善（コストの軽減）を図る |
| 3. 院内外での呼吸ケアの普及や啓蒙を図る | 6. 在宅復帰にむけた動作指導・機材選定の提案 |

【活動内容】

回 診：週1回（火曜日）
会 議：月1回（第1火曜日）

【スタッフ紹介】

人員構成
呼吸器内科医師 …………… 1名
看護師 …………… 6名
臨床検査技師 …………… 1名
理学療法士 …………… 4名

整形外科チーム

【概要】

整形外科疾患を有する患者さんに対して、痛みの軽減や早期退院・社会復帰を目指していく必要があります。そのため、現状の課題やリハビリテーションの経過、今後の方向性などを医師、看護師、リハビリテーションスタッフが専門知識を生かし、様々な治療・退院支援を検討し提案する連携チームです。

役割

- | | |
|--|-------------------|
| 1. 術後管理の確認と指導・提言 | 3. 退院に向けた方針の確認と検討 |
| 2. リハビリテーションと病棟ADLの進行状況を医師と共有し、治療方針の立案 | 4. 早期退院や社会復帰を助ける |

【活動内容】

回 診：週2回（火曜日、金曜日）
整形ラウンド：術後管理の抜き打ちチェック（月1回）

【スタッフ紹介】

人員構成
医師 …………… 2名
看護師 …………… 2名
理学療法士 …………… 4名

糖尿病チーム

【概要】

増え続ける糖尿病を背景に、糖尿病に関する正しい知識の普及と啓発、糖尿病治療中の方の療養のサポートなどに関して、多職種のスタッフがそれぞれの専門知識を活かし協力しながら活動しています。

専門医、糖尿病療養指導士（看護師、臨床検査技師、薬剤師、管理栄養士）、糖尿病看護認定看護師、管理栄養士、鳥取県糖尿病療養指導士（理学療法士）が専門的知識を活かして連携し、糖尿病患者の日常的な療養生活のサポートを行っています。また、月に1回糖尿病教室を開催し、糖尿病教育入院及び外来患者へのケア向上に努めています。

役割

- 年2回患者さんとスタッフのふれあいの場である博愛ウォーキングを開催しています。
- また、患者さん向けの情報発信として「かえで通信」を発行しています。
- 〈専門医〉治療方針を計画し、治療を遂行する為の援助とともに、日常生活の習慣を変えるための動機付けなどを行います。
- 〈看護師〉入院・外来患者に対し、インスリン注射指導、生活全般に関する療養指導などを行います。
- 〈管理栄養士〉個々の患者に合わせた栄養指導を行います。
- 〈理学療法士〉耐糖能向上のための運動療法を指導し、身体状況に合わせた生活指導を行います。
- 〈薬剤師〉薬学的観点から患者を援助するだけでなく、生活全般について適切な情報を提供します。
- 〈臨床検査技師〉糖尿病教室では検査値の見方を説明し、血糖測定器の使用方法を解説し、トラブルにも対応しています。

【活動内容】

- 糖尿病教室（1月1回：7日間）
- かえで通信発行（2ヶ月に1回）
- 博愛ウォーキング（年2回）
- 院内研修会（年1回）

【スタッフ紹介】

人員構成

- 医師 …………… 2名
- 看護師 …………… 4名
- 薬剤師 …………… 1名
- 臨床検査技師 …………… 3名
- 管理栄養士 …………… 1名
- 理学療法士 …………… 2名
- 作業療法士 …………… 1名

認定資格

- 日本糖尿病療養指導士 …………… 7名
- 鳥取県糖尿病療養指導士 …………… 3名
- 島根県糖尿病療養指導士 …………… 1名
- 糖尿病看護認定看護師 …………… 1名

患者支援部

【概要】

当院では地域の医療機関・他施設・各サービス事業所等と連携を円滑に推進することで、患者さんがより良い医療を受けていただき、安心した生活が送れるように患者支援部を設置し、連携機関の窓口として対応しています。

地域連携室

地域の医療機関からの紹介患者さんに関する診療や検査等の事前予約を調整、また医療機関からの様々な問い合わせに対応しています。受診後のお返事を紹介元医療機関に迅速に送ることで、患者さんの治療がスムーズに進むようお手伝いしています。地域の医療機関と当院をつなぐ窓口として、患者さんが円滑に診療をお受けいただけるよう取り組んでいます。

入退院支援室

急性期病床、地域包括ケア病床、療養病床、回復期リハビリテーション病床と多機能な病床を有するケアミックス病院です。病床の一元管理を行い、適正な病床管理及び院内外のパイプ役として入退院調整に取り組んでいます。また近隣病院との連携を行い、ケアミックスを発揮して地域の方々が住み慣れた場所で療養できるよう、各病棟に配置した入退院支援看護師とともに退院調整が円滑にいくよう支援しています。

医療相談室

医療ソーシャルワーカー（MSW）が患者さんの療養・生活環境を整えていくことで住み慣れた地域（自宅）で安心して生活できるように各医療機関・地域の関連機関・行政・ケアマネージャー等と連携し調整（退院等）に努めています。また様々な社会福祉制度についてのご相談に応じており、医療・福祉・介護のコーディネートをいたしております。

患者相談室

患者さん・ご家族等からのご心配やお困り事等の相談窓口となっています。相談内容に応じて、各専門職員への橋渡しを行っています。

【実績】

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	
紹介患者数(件)	4,232	4,174	4,051	
(内、予約数)	1,769	1,676	1,714	
患者相談窓口対応数(件)	288	154	132	
転院受入 状況(件)	回復期病棟	52	40	32
	療養病床	20	19	11
	地域包括ケア病棟	16	19	4
	一般病棟	15	18	21

令和3年度はコロナ病床確保のため、転院受入を制限せざるを得ない状況でした。

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度
対応患者数(MSW)	1,337 (院内カンファ件数)	1,273 (院内カンファ件数)	984 (院内・多職種カンファ件数)
合同カンファレンス数(件)	627	671	667
家屋訪問数(件)	235	247	234

【スタッフ紹介】

責任者

室長／竹内龍男 副看護部長／竹仲美奈子

人員構成

医師	1名
医療ソーシャルワーカー	3名
監理監	1名
看護師	2名
事務員	2名

認定資格(研修修了含む)

認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了	1名
医療対話推進者認定	2名
社会福祉士	3名
精神保健福祉士	1名
医療安全管理者養成研修修了	2名



MESSAGE/地域医療機関のみなさまへ

頼れる患者支援部として地域の様々な医療・福祉関連施設との連携体制を構築し、切れ目の無い医療・福祉サービスの支援、調整に取り組んでいます。お気軽にご相談下さい。

事務部

【概要】

私たち事務部は、総務課、用度施設管理課、経理調達課、医事課の4課で構成された組織です。少人数ではありますが、各構成員は院内で働く多種多様な職員が業務に専念できるように、各々の専門性を発揮し日々業務に邁進しています。

頼られる組織、相談しやすい職員であることを心掛け、働きやすい職場環境作りを目指すことで病院に貢献できると考えています。

【スタッフ紹介】

責任者

事務部長／佐藤宏通

人員構成

総務課…………… 5名
 用度施設管理課…………… 4名
 経理調達課…………… 3名
 医事課…………… 17名
 (兼務、パート職員、派遣職員含む)



医師支援室

【概要】

医師支援室は医師の業務負担軽減を目的に設置されました。医師が行う業務のうち事務的な業務(書類作成補助、外来診療支援、データ入力など)を主に行っています。医師の業務負担を軽減することにより、医師が患者さんと向き合う時間が増え、「患者満足度の向上」や「医療の質の向上」に貢献できることを目指しています。

【スタッフ紹介】

責任者

副院長／濱本哲郎

人員構成

室長 医師(兼務)…………… 1名
 室長補佐(兼務)…………… 1名
 医師事務作業補助者…………… 3名

認定資格

医師事務作業補助技能認定者…………… 2名



情報システム管理室

【概要】

電子カルテをはじめ、イントラネット、各種システムや IT 機器の導入、管理(メンテナンス・故障時対応・操作説明など)を行っています。

最近では、職員内線通話用 iPhone や LINE WORKS、AI 読影システムを新たに導入し、現在はセキュリティ対策の強化やナースコールシステムの更新に着手しています。

全員が本業との兼務の中、毎週1回はミーティングを行い、院内の問題点などについて情報共有、解決策の検討を行い、病院全体の業務改善に励んでいます。

【スタッフ紹介】

責任者

室長／中村希代志

人員構成

医師…………… 1名
 診療放射線技師…………… 1名
 臨床検査技師…………… 1名
 薬剤師…………… 1名
 理学療法士…………… 1名
 臨床工学技士…………… 1名

看護師…………… 1名
 医事課職員…………… 1名
 用度施設管理課職員…………… 1名

認定資格

医療情報技師…………… 2名
 医用画像情報専門技師…………… 1名



活動目標

医療の質に関する指標

教育・研究実績

満足度調査

広報物紹介



令和4年度 部署別活動目標シート(博愛病院)

	戦略マップ	戦略目標	重要成功要因(CSF)
財務の視点	収益の増加	重点1. 経営の改善	収益の増加 診療単価の増加 新規患者の増加
	診療単価の増加		
	新規患者の増加	重点2. 組織運営の見直し	離職率の低下
	離職率の低下		
	救急患者応需率の向上	重点3. 救急医療の充実	救急患者応需率の向上 専門外お断りの減少
	専門外お断り率の減少		
	イメージの向上	重点4. SDGs活動の推進	イメージの向上 学会発表
	学会発表		
顧客の視点	患者満足度の向上	重点1. 経営の改善	患者満足度の向上
	職員満足度の向上	重点2. 組織運営の見直し	職員満足度の向上 短時間正職員制度の利用実績
	短時間正職員制度の利用実績		
	救急担当医師・看護師満足度の向上	重点3. 救急医療の充実	救急担当者の理解度・満足度の向上
	健康教育への利便性の向上	重点4. SDGs活動の推進	健康教育への利便性の向上
業務プロセスの視点	適切な医療の提供	重点1. 経営の改善	適切な医療の提供 漏れのない算定 ふくよね博愛クリニック患者の受入
	漏れのない算定	重点2. 組織運営の見直し	中堅リーダー(主任・副主任)役割発揮の向上 短時間正職員制度の運用 人事考課制度の再構築
	ふくよね博愛クリニック患者の受入		
	中堅リーダー役割発揮の向上	重点3. 救急医療の充実	救急外来トリアージマニュアルの修正 事例検討、個別指導の実施
	短時間正職員制度の運用		
	人事考課制度の再構築	重点4. SDGs活動の推進	SDGs活動の拡大
	救急外来トリアージマニュアルの修正		
SDGs活動の拡大			
学習と成長の視点	診療報酬の知識を深める	重点1. 経営の改善	診療報酬の知識を深める ふくよね博愛クリニックとの連携強化
	ふくよね博愛クリニックとの連携強化	重点2. 組織運営の見直し	管理者教育の実施 短時間正職員制度の体制整備 人事考課研修会の実施
	管理者教育の実施		
	短時間正職員制度の体制整備	重点3. 救急医療の充実	救急疾患勉強会の開催
	人事考課研修会の実施		
	救急疾患勉強会の開催	重点4. SDGs活動の推進	SDGsについて理解を深める
	SDGsについて知識を深める		

理念(ビジョン)

私たちは博愛の心で医療を提供し地域へ貢献します。

使命・任務・役割(ミッション)→重点施策

1.経営の改善 2.組織運営の見直し 3.救急医療の充実 4.SDGs活動の推進

重要業績評価指標 (KPI)	目標値 (KGI)	目標値を達成するための具体的行動計画
外来患者数、単価 入院患者数、単価 新入院患者数 初診料算定患者数 初診紹介患者数	331人/日 14,300円/人 180人/日 38,900円/人 210人/月 700人/月 250人/月	患者数および診療単価を各科で目標設定し、ヒアリングを通して理解を求める。各部署が協力して適切なDPCコーディングの設定や請求漏れの防止、適切なベッドコントロールを行い収益の増加を目指す。ふくよね博愛クリニックとの連携を強化し、新規患者の増加を目指す。
離職率	5%以下	組織運営の見直しを行う事で働きやすい職場作りを行い、離職率の低下を目指す。
救急患者応需率 時間外患者の初診率 前年度比	救急車90%以上 時間外患者90%以上 20%以上/年 10%以上	「断らない救急」を実践し、救急医療の充実を図るとともに、社会医療法人維持のための指標を維持する。救急疾患の勉強会、ガイドラインの見直し等を行い、お断り理由として件数の多い「専門外」の件数の減少を目指す。
利用者満足度 学会発表回数	5段階評価4以上70%以上 全国学会1回	当院のSDGs活動についてアンケート調査を行いイメージを調査する。全国学会で当院のSDGs活動について発表を行う。
満足度	5段階評価4以上70%以上	地域に根差したかかりつけ病院としてふくよね博愛クリニックと連携し適切な医療を提供することにより患者満足度の向上を目指す。
職員満足度 利用者数	評価3.6以上 5人	人事考課の見直しや管理者教育を行う事により職員満足度の向上を目指す。短時間正職員制度の利用者をつくる。
救急担当医師・看護師の理解度 救急隊員満足度 開業医満足度	評価60%以上 救急隊員評価4.5以上 開業医評価4.5以上	救急委員会で救急患者受入れに携わる医師・看護師に対して勉強会、トリアージマニュアルの内容が周知されているか調査を行う。また、救急隊員を対象に満足度調査を実施する。時間内外問わず、紹介患者の受け入れを行う事により開業医満足度向上を目指す。
サイトへのアクセス回数	100件以上/月	健康教育へのアクセスを容易にすることにより、患者・地域住民を問わず幅広い層へ情報を発信する。
クリティカルパス適応率 加算等の算定率の向上(前年比) ふくよね博愛クリニックからの紹介人数	35% 5%以上 10人/月	バスの利用を促進し、標準的で安全な医療の提供を行う。医事課を中心に各部署と協力して各項目に対して漏れのない請求を行い、算定率向上を目指す。ふくよね博愛クリニックとの連携を強化し、入院や検査の必要な患者を引き受ける。
役割実践率 運用開始時期 人事考課マニュアルの作成、 評価表の見直し	70%以上 年度中 10月	管理者教育で学んだ事を実際に職場で生かすスキルアップにつなげる。各部署で中堅リーダーの役割、業務を明文化しそれに基づく実践評価表を作成し研修前後にアンケートを実施する。問題の抽出、シミュレーションを行った上で制度設計を行う。法人本部にて人事考課マニュアルの作成、評価表の見直しを行うことにより誰にでも分かりやすい人事考課を構築し11月の人事考課からの開始を目指す。
トリアージマニュアルの修正件数 事例検討回数	1件/2年 6回以上/年	救急委員会で既存の救急疾患のトリアージマニュアルを修正・周知するとともに、お断り事例について検討を行う。病院長による個別指導も継続する。
はっけんチャンネル配信件数 おしかけ出前講座の開催回数 (オンライン含)	6本以上/年 6回以上/年	「質の高い教育をみんなに」を目標に、誰もが平等に健康に関する教育が受けられるよう、動画チャンネルでの配信、出前講座の充実を図る。
勉強会開催回数 連絡協議会開催回数	1回/年 1回/年	診療報酬改定にあわせて当院での変更点や影響について各職種に勉強会を開催する。ふくよね博愛クリニックとの連携強化のため連絡協議会を開催し、スタッフの連携を強める。
管理者教育開催回数 体制整備の進捗率 研修会開催回数(考課者・被考課者)	1回/年 年度中100% 各1回/年	部署長に続き主任・副主任クラスに対して管理者教育を実施する。短時間正職員制度導入の体制整備のロードマップを作成し、実行する。考課者・被考課者に対して研修会を開催し、人事考課制度に関する理解を深める。
院内勉強会開催回数 専門家を招いての勉強会開催回数	6回以上/年 1回/年	専門外の疾患でも初期対応が行えるよう、メジャーな救急疾患に関する勉強会を開催する。救急患者の対応について専門家を招き勉強会を開催する。
研修会開催回数	1回/年	SDGs活動を推進するため勉強会を開催し、職員の理解を深める。

1. 主な診療実績指標

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	
1日平均外来患者数	356名	331名	333名	
1日平均入院患者数	169名	164名	159名	
救急車受入件数	1228件	1299件	1444件	
1日平均救急車搬入件数	3.4件	3.6件	4.0件	
平均在院日数	一般病棟	10.9日	11.9日	13.2日
	地域包括ケア病棟	26.3日	25.1日	18.2日
	回復期リハビリテーション病棟	75.6日	79.6日	867日
	療養病棟	130日	114.5日	127.4日
平均病床稼働率	88.1%	85.5%	82.8%	
手術件数	751件	783件	803件	
院内がん登録件数(年単位)	367件	-	-	
外来化学療法件数	532件	585件	521件	
がん相談件数(がん患者指導管理料イ)	71件	103件	121件	

2. 病院全体に関するプロセス指標

(1) 肺血栓塞栓症の予防策実施率

	令和1年度	令和2年度	令和3年度
肺血栓塞栓症の予防策実施率	100%	100%	100%

(2) 手術開始1時間以内の予防的抗菌薬投与率

	令和1年度	令和2年度	令和3年度
予防的抗菌薬投与率	99.8%	97.6%	95.10%

分子:手術開始1時間以内に予防的抗菌薬が投与開始された手術件数
 分母:特定術式の手術件数

3. 病院全体に関するアウトカム指標

(1) 感染症発生率

SSIデータ

手術手技	令和1年度			令和2年度			令和3年度		
	SSI数(件)	手術数(件)	発生率	SSI数(件)	手術数(件)	発生率	SSI数(件)	手術数(件)	発生率
虫垂の手術	0	17	0.0%	0	20	0.0%	0	33	0.0%
肝切除	0	3	0.0%	0	1	0.0%	0	0	0.0%
膵頭十二指腸切除	0	0	0.0%	0	1	0.0%	0	0	0.0%
その他の肝胆膵手術	0	1	0.0%	0	0	0.0%	1	2	50.0%
胆嚢手術	0	41	0.0%	0	40	0.0%	0	35	0.0%
大腸手術	4	44	9.1%	1	23	4.3%	2	35	5.7%
幽門側胃切除	0	9	0.0%	1	7	14.3%	0	0	0.0%
胃全摘	1	7	14.3%	1	2	50.0%	0	0	0.0%
胃手術	0	4	0.0%	0	4	0.0%	0	11	0.0%
直腸手術	1	7	14.3%	2	8	25.0%	0	2	0.0%
小腸手術	0	5	0.0%	1	4	25.0%	3	12	25.0%
腹部手術	1	3	33.3%	0	1	0.0%	2	4	50.0%

SSI発生率=感染件数/手術件数×100

MRSA新規検出率(入院患者)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度
MRSA検出率	0.25	0.35	0.38

MRSA検出率=MRSA新規検出患者数/延べ入院患者日数×1000(件/1000患者日)

(2) 在宅復帰率

	令和1年度	令和2年度	令和3年度
一般病棟	90.9%	97.6%	96.9%
地域包括ケア病棟①(2階病棟)	93.2%	90.2%	91.1%
地域包括ケア病棟①(4階A病棟)	92.4%	92.5%	89.6%
療養病棟①	87.4%	62.4%	73.0%
回復期リハビリ病棟②	80.3%	77.1%	78.0%

(3) クリニカルパス使用患者率

	令和1年度	令和2年度	令和3年度
パス使用率	23.9%	26.6%	31.8%

(4) 脳卒中地域連携パスの運用件数

連携パス運用件数

病院名	令和1年度	令和2年度	令和3年度
鳥取大学医学部附属病院	27	15	15
山陰労災病院	3	3	2

(5) がん地域連携パス実績

地域がん診療連携クリニカルパス実績

	令和1年度	令和2年度	令和3年度
胃がん	3	0	3
大腸がん	4	6	2
肝臓がん	0	0	0
肺がん	0	0	0
乳がん	1	1	3
合計	8	7	8

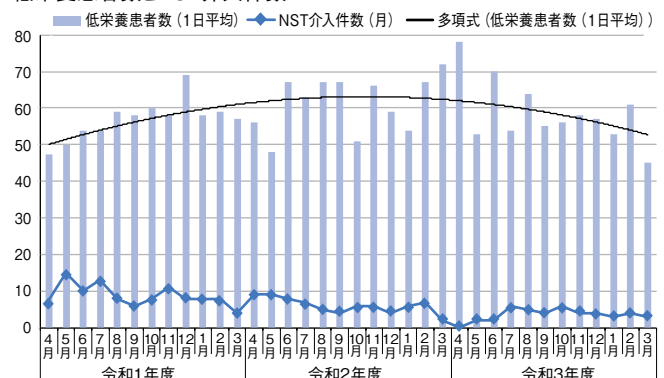
(6) 地域医療機関サポート率

	令和1年度	令和2年度	令和3年度
地域医療機関サポート率	81.3%	80.9%	80.9%

(3) NST活動実績

	令和1年度	令和2年度	令和3年度
活動回数	49	47	39
介入患者数	38	22	15
介入件数	111	73	44

低栄養患者数とNST介入件数

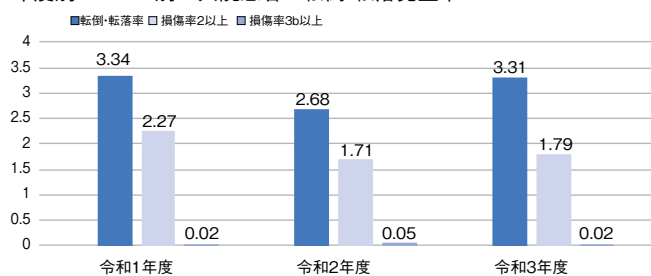


(4) 緩和ケアチーム

	令和1年度	令和2年度	令和3年度
介入患者数	35	43	51

(5) 転倒・転落レベル2以上

年度別 レベル別 入院患者の転倒・転落発生率



(6) 褥瘡推定発生率

	令和1年度	令和2年度	令和3年度
褥瘡推定発生率	1.30%	1.67%	0.90%

(7) 職員インフルエンザワクチン接種率

	令和1年度	令和2年度	令和3年度
接種率	92.5%	94.8%	95.9%

(8) 脳梗塞入院1週間以内のリハビリテーション強度

	令和1年度	令和2年度	令和3年度
脳梗塞入院1週間以内のリハビリテーション強度	2.2単位	2.6単位	2.6単位

(9) 退院14日以内のサマリー作成率

令和1年度	総数	退院後14日以内		令和2年度	総数	退院後14日以内		令和3年度	総数	退院後14日以内	
		作成数	作成率			作成数	作成率			作成数	作成率
4月	212	193	91.0%	4月	183	181	98.9%	4月	204	203	99.5%
5月	192	191	99.5%	5月	160	159	99.4%	5月	171	171	100.0%
6月	174	163	93.7%	6月	215	212	98.6%	6月	169	167	98.8%
7月	225	220	97.8%	7月	220	214	97.3%	7月	194	188	96.9%
8月	239	229	95.8%	8月	196	192	98.0%	8月	231	222	96.1%
9月	196	192	98.0%	9月	192	187	97.4%	9月	216	214	99.1%
10月	222	213	95.9%	10月	186	186	100.0%	10月	177	172	97.2%
11月	230	220	95.7%	11月	204	203	99.5%	11月	168	166	98.8%
12月	259	256	98.8%	12月	228	223	97.8%	12月	194	183	94.3%
1月	196	188	95.9%	1月	171	168	98.2%	1月	177	173	97.7%
2月	217	206	94.9%	2月	180	178	98.9%	2月	195	191	97.9%
3月	201	197	98.0%	3月	216	213	98.6%	3月	213	212	99.5%
年間	2,563	2,468	96.3%	年間	2,351	2,316	98.5%	年間	2,309	2,262	98.0%

(10) インシデント・アクシデントレポート集計結果

リスクレベル別・月別アクシデントレポート件数 (令和3年度)

分類	分 類												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
0	エラーや医薬品・医療用具の不具合が見られたが患者さんには実施されなかった												379
1	患者さんへは実害ではなかった (何らかの影響を与えた可能性は否定できない)												256
2	処置や治療は行わなかった (患者観察の強化、バイタルサインの軽度変化、安全管理の為に検査などの必要性は生じた)												212
3a	簡単な処置や治療を要した (消毒、湿布、皮膚の縫合、鎮痛剤の投与など)												67
3b	濃厚な処置や治療を要した (バイタルサインの高度変化、人工呼吸器の装着、手術、入院に日数の延長、外来患者さんの入院、骨折など)												15
4a	永続的な障害や後遺症が残ったが、有意な機能障害や美容上の問題は伴わない												0
4b	永続的な障害や後遺症が残る、有意な機能障害や美容上の問題は伴う												0
5	死亡												0
その他	麻薬の管理・紛失等												0
総合計	91	82	99	83	80	77	76	82	70	73	59	58	930

(1)項目別・リスクレベル別レポート件数(令和3年度)

項目・リスクレベル	レベル0	レベル1	レベル2	レベル3a	レベル3b	レベル4	レベル5	合計
薬剤	33	79	39	8	0	0	0	159
輸血	0	0	0	0	0	0	0	0
治療・処置	3	24	10	5	2	0	0	44
医療機器	1	9	2	1	0	0	0	13
ドレーン・チューブ	1	10	11	19	2	0	0	43
検査	13	30	19	5	0	0	0	67
療養上の世話	4	73	82	22	11	0	0	192
その他	13	32	45	6	1	0	0	97
麻薬管理	0	0	0	0	0	0	0	0
計	68	257	208	66	16	0	0	615

4. 疾病に関する指標 疾病大分類別・性別・病名数

(1)疾病大分類別・性別・病名数

(令和3年度)

分類 番号	分類名	男	女	総数	構成比(%)
	総数	968	1,341	2,309	100.0
I	感染症及び寄生虫症	23	32	55	2.4
II	新生物<腫瘍>	90	189	279	12.1
III	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	6	3	9	0.4
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	60	60	120	5.2
V	精神及び行動の障害	3	2	5	0.2
VI	神経系の疾患	36	30	66	2.9
VII	眼及び付属器の疾患	54	73	127	5.5
VIII	耳及び乳様突起の疾患	6	17	23	1.0
IX	循環器系の疾患	116	151	267	11.6
X	呼吸器系の疾患	126	80	206	8.9
XI	消化器系の疾患	211	207	418	18.1
XII	皮膚及び皮下組織の疾患	8	9	17	0.7
XIII	筋骨格系及び結合組織の疾患	37	67	104	4.5
XIV	腎尿路生殖器系の疾患	32	153	185	8.0
XV	妊娠、分娩及び産じょ<褥>	0	16	16	0.7
XVI	周産期に発生した病態	0	0	0	0.0
XVII	先天奇形、変形及び染色体異常	0	1	1	0.0
XVIII	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2	0	2	0.1
XIX	損傷、中毒及びその他の外因の影響	81	174	255	11.0
XX	傷病及び死亡の外因	0	0	0	0.0
XXI	健康状態に影響をおよぼす要因及び保健サービスの利用	0	0	0	0.0
XXII	特殊目的用コード	77	77	154	6.7

(2)点数表小分類別・上位手術別・手術数(入院)

(令和3年度)手術総数 834件

順位	コード	分類名	件数
1	K282	水晶体再建術	122
2	K046	骨折靱帯の手術	70
3	K476	乳腺悪性腫瘍手術	47
4	K872-3	子宮鏡下有莖粘膜下筋腫切除術、子宮内膜ポリプ切除術	36
4	K888	子宮付属器腫瘍摘出術(両側)	36
6	K867	子宮頸部(腔部)切除術	32
7	K687	内視鏡的乳頭切開術	31
8	K653	内視鏡的胃、十二指腸ポリプ・粘膜切除術	30
8	K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	30
10	K081	人工骨頭挿入術	29
10	K654	内視鏡的消化管止血術	29
12	K718-2	腹腔鏡下虫垂切除術	27
12	K719	結腸切除術	27
14	K664	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	24
15	K743	痔核手術(脱肛を含む。)	22

順位	コード	分類名	件数
16	K877	子宮全摘術	21
17	K048	骨内異物(挿入物を含む。)除去術	20
17	K142	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。)	20
19	K000	創傷処理	19
19	K634	腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術(両側)	19
21	K721	内視鏡的結腸ポリプ・粘膜切除術	18
22	K082	人工関節置換術	17
22	K633	ヘルニア手術	17
24	K616-4	経皮的シャント拡張術・血栓除去術	14
24	K722	小腸結腸内視鏡的止血術	14
26	K059	骨移植術(軟骨移植術を含む。)	13
26	K688	内視鏡的胆道ステント留置術	13
26	K865	子宮脱手術	13
29	K068-2	関節鏡下半月板切除術	12
29	K861	子宮内膜掻爬術	12

5. がん診療に関する指標

(1) 部位(中分類)別・性別・腫瘍数(令和2年)

項目	男	女
食道	5未満	0
胃	31	18
小腸	5未満	5未満
結腸	28	27
直腸S状結腸移行部	5未満	5未満
直腸	7	9
肝及び肝内胆管	9	5未満
胆のう	0	5未満
その他及び部位不明の胆道	5未満	5未満
膵	11	5
喉頭	5未満	0
気管支及び肺	17	6
胸腺	5未満	5未満
その他及び部位不明の骨、関節及び関節軟骨	5未満	5未満
造血系及び細網内皮系	5未満	0
皮膚	0	5未満
後腹膜及び腹膜	5未満	0

項目	男	女
乳房	0	54
子宮頸	0	33
子宮体部	0	5
卵巣	0	5未満
その他及び部位不明の女性性器	0	5未満
前立腺	11	0
腎	5未満	5未満
腎盂	0	5未満
膀胱	5未満	0
髄膜	5未満	0
脳	5未満	5未満
脊髄、脳神経及びその他の中枢神経系	0	5未満
甲状腺	5未満	5未満
副腎	0	5未満
その他の内分泌腺及び関連組織	0	5未満
原発部位不明	0	5未満

(2) 項目別・リスクレベル別レポート件数(令和3年度)

	診断のみ	自施設診断 自施設 初回治療開始	自施設診断 自施設 初回治療継続	他施設診断 自施設 初回治療開始	他施設診断 自施設 初回治療継続	初回治療終了後	その他
令和1年	62	238	0	14	3	85	1
令和2年	79	234	0	13	10	31	0
令和3年	73	204	0	8	3	31	1

(3) 発見経緯別

	がん検診・健康診断・ 人間ドック	他疾患の経過観察中 の偶然発見	剖検発見	その他	不明
令和1年	114	40	0	177	72
令和2年	110	53	0	185	19
令和3年	90	51	0	161	18

6. リハビリに関する指標

(1) FIM利得

	令和1年度	令和2年度	令和3年度
一般病棟	14.07	14.59	16.61
回復期リハ病棟	22.43	21.65	25.09
地域包括ケア病棟	20.28	19.43	23.96

	令和1年度	令和2年度	令和3年度
回復期リハビリテーション病棟 実績指数(施設基準35以上)	53.16	48.15	48.8

FIM利得:退院時FIM-入院時FIM

→点が高いほどリハビリやケアの効果が高いということ

(点が高いほど患者自身でできることが多くなり、介助してもらった量が少なくなったということ)

令和3年度院内研修会

【院内研修】医療安全対策委員会

No.	主催者名	日時	題目	講師	対象	参加人数
1	医療安全対策委員会	R3.7.26~8.27	第1回医療安全研修会 「基礎から学ぶ医療安全」(オンライン)	パラマウントベッド株式会社顧問転倒転落研究会 杉山良子	全職員	380
2	医療安全対策室・薬剤部	R3.11.24	「麻薬事故を減らすために」	薬剤部薬剤師 大谷聡子	看護部、薬剤部	20
3	医療安全対策室 ・臨床工学室	R3.12.14, 16, 21	BLS研修会	臨床工学室臨床工学技士	看護部、コメディカル	57
4	医療安全対策委員会	R4.3.1~25	第2回医療安全研修会・ 医療ガス安全管理研修会 「酸素の安全な使用方法について」 (オンライン)	臨床工学室主任 田儀匡史	全職員	354

【院内研修】感染対策室

No.	主催者名	日時	題目	講師	対象	参加人数
1	感染対策委員会	R3.7.19~8.15	第1回感染対策研修会 「コロナウイルスと新型コロナウイルス」(オンライン)	国立国際医療研究センター国際感染症センター 国際感染対策室医長 忽那賢志	全職員	386
2	感染対策委員会	R4.3.14~3.31	第2回感染対策研修会 「消毒薬の適正使用と医療連 感染の予防について(オンライン)	薬剤部主任 ICT担当薬剤師 中山卓	全職員	378

【院内研修】教育委員会

No.	主催者名	日時	題目	講師	対象	参加人数
1	教育委員会	R3.5.10	救急診療に関する研修会 「救急医療について」	鳥取大学医学部附属病院救急救命センター 教授 上田敬博	全職員	59
2	教育委員会	R3.6.7	接遇向上研修	看護部長 分倉千鶴子	全職員	26
3	教育委員会	講義:R3.11.15 オンライン: R3.12.14~R4.1.18	メンタルヘルス研修会 「ストレスを緩和させるコミュニケーションとは」	法人本部戦略推進室 本多千鶴	全職員	409
4	教育委員会	講義:R4.1.26 オンライン: R4.2.5~3.14	人権・倫理研修 「ACP、臨床倫理カンファの基礎知識」	脳神経内科部長 安井建一	全職員	386
5	教育委員会	R4.3.7~3.31	個人情報保護(オンライン)	情報システム管理室医療情報技師 矢倉征道	全職員	412

【院内研修】臨床工学室

No.	主催者名	日時	題目	講師	対象	参加人数
1	臨床工学室	R3.4.2	BLS研修会	臨床工学室主任 田儀匡史	新入職員	13
2	臨床工学室	R3.4.5	シリンジポンプTE-381 説明会	臨床工学室主任 田儀匡史	病棟看護師	101
3	臨床工学室	R3.6.17	DFM100 AED使用手順について	臨床工学技士 福田悟	3階A病棟	8
4	臨床工学室	R3.6.22	NPPVマスク管理	臨床工学技士 物部智也	4階A病棟	19
5	臨床工学室	R3.11.12	NPPVマスクフィッティング	臨床工学技士 物部智也	3階B病棟	15
6	臨床工学室	R3.11.29	PCAポンプ	臨床工学技士 二野宮一郎	2階病棟	19
7	臨床工学室	R3.12.14	BLS研修会	臨床工学室主任 田儀匡史 臨床工学技士 二野宮一郎、物部智也、福田悟	コメディカル、事務部	76
8	臨床工学室	R4.3.11	医療ガス安全管理研修会	臨床工学室主任 田儀匡史(オンライン)	全職員	361
9	臨床工学室	R4.4.14	生体情報用モニタ	臨床工学技士 福田悟	3階A病棟	18
10	臨床工学室	R4.6.21	BLS研修会	臨床工学技士 福田悟	院内保育園かるがも	5
11	臨床工学室	R4.6.24	人工呼吸器AirCurve	臨床工学室主任 田儀匡史	3階A病棟	9
12	臨床工学室	R4.6.28	人工呼吸器AirCurve	臨床工学技士 二野宮一郎	4階B病棟	5

【院内研修】その他

No.	主催者名	日時	題目	講師	対象	参加人数
1	放射線部運営委員会	R3.8.2~9.30	「被ばく管理について」(オンライン)	公益財団法人日本医師会公式チャンネル	医師、看護部、コメディカル	189
2	薬剤部	R3.9.27~10.29	「くすりの適正使用 粉碎について」(オンライン)	薬剤部薬剤師 國谷聡子	全職員	132
3	緩和ケアチーム	R3.10.28~ 11.25	現場で使える疼痛評価(がん疼痛アセス メントの使い方と項目の意味)(オンライン)	看護師主任 佐野晴美	全職員	88
4	緩和ケアチーム	R3.12.28~ R4.1.28	現場で使える疼痛評価(現場で使える 日々の疼痛アセスメント)(オンライン)	看護師主任 佐野晴美	看護部	32
5	虐待防止委員会	R4.2.8~2.28	虐待防止研修会 「児童虐待」(オンライン)	法務省ビデオライブラリー-虐待防止シリーズ	全職員	286
6	糖尿病療養委員会	R4.3.4	「糖尿病薬物療法(注射療法)と 低血糖について」	糖尿病内科医長 藤岡洋平 糖尿病看護認定看護師 森下江利子	全職員	34

【院内研修】看護部

No.	主催者名	日時	題目	講師	対象	参加人数
1	看護部教育委員会	R4.4.5	中央検査室の構造と役割	臨床検査部技師長 先瀬浩功	新人看護師	5
2	看護部教育委員会	R4.4.5	放射線部の構造と役割	診療放射線部技師長 池嶋道夫、 診療放射線技師 上野裕介、白石誉之	新人看護師	5
3	看護部教育委員会	R4.4.6	感染(標準予防策)	感染管理認定看護師 田原由紀子	新人看護師	5
4	看護部教育委員会	R4.4.6	抗がん剤の取扱い	薬剤部薬剤師 國谷聡子	新人看護師	5
5	看護部教育委員会	R4.4.6	麻薬・毒薬の取扱い	薬剤部主任 中山卓	新人看護師	5
6	看護部教育委員会	R4.4.7	医療機器の取扱い	臨床工学室主任 田儀匡史、 臨床工学技士 物部智也	新人看護師	5
7	看護部教育委員会	R4.4.8	基礎看護技術(演習) ①静脈注射・持続点滴・経管栄養 ②救急カート・清潔操作・回診車説明 ③摘便・浣腸・バルンカテーテル・導尿 ④酸素吸入カヌラorマスク吸引	看護師副主任 細田めぐみ、和泉真弓、 高橋久美子、坂田和美、田中靖子、 内藤泰子、藤影彩、矢倉綾子	新人看護師	5
8	看護部教育委員会	R4.4.9	電子カルテ、パソコンの使い方	看護師 世佐木輝佳	新人看護師	5
9	看護部教育委員会	R4.4.9	栄養管理について	看護師長 加藤美紀、 栄養管理室副主任 中村綾沙	新人看護師	5
10	看護部教育委員会	R4.4.9	当院の看護記録とは(講義)	看護師長 藤居貴子	新人看護師	5
11	看護部教育委員会	R4.4.9	内視鏡検査・治療について	看護師副主任 坂田和美	新人看護師	5
12	看護部教育委員会	R4.4.12	退院調整パス	退院支援看護師 大森真紀子、香田綾子	新人看護師	5
13	看護部教育委員会	R4.4.12	自分たちの思う看護師像	看護師 荒濱敬信	新人看護師	5
14	看護部教育委員会	R4.4.14	心電図モニター・12誘導の取扱い	臨床検査部臨床検査技師 後藤那子	新人看護師	5
15	看護部教育委員会	R4.4.14	糖尿病看護について	糖尿病看護認定看護師 森下江利子	新人看護師	5
16	看護部教育委員会	R4.6.3、7	看護補助業務者の役割とは 日々のケアで配慮すること	看護師長 渡部明代	看護補助者	40
17	看護部教育委員会	R4.6.16	メンバーシップ研修	看護師主任 三島真弓	ラダーII申請者	14
18	看護部教育委員会	R4.6.17、21、30、 7.1、5、21	心不全	循環器内科部長 田中保則	全看護職員	170
19	看護部教育委員会	R4.6.25	看護診断(基礎編)	鳥取大学医学部保健学科 野口佳子	ラダーI ラダーII申請者	45
20	看護部教育委員会	R4.7.5、8	急変時の対応 講義・デモスト・実技	臨床工学室主任 田儀匡史	看護補助者	40
21	看護部教育委員会	R4.8.10、17	意思決定支援	乳がん看護認定看護師 櫻井晶子	ラダーII・III申請者	25
22	看護部教育委員会	R4.8.17	フィジカルアセスメント研修 (呼吸・循環・腹部)	鳥取大学医学部附属病院認定看護師 中本有史 心リハ指導士 石賀奈津子	新人看護師	7
23	看護部教育委員会	R4.8.19	医療安全	医療安全対策室看護師長 山崎博美	新人看護師	5
24	看護部教育委員会	R4.8.19	死後のケア	緩和ケア認定看護師 佐野晴美	新人看護師	5
25	看護部教育委員会	R4.8.19、25	口腔ケアと食事介助	リハビリテーション部副主任言語聴覚士 浜田由香理	看護補助者	26
26	看護部教育委員会	R4.9.7、21	褥瘡予防	看護師副主任 細田めぐみ	看護補助者	22
27	看護部教育委員会	R4.9.16	看護診断(応用編)	鳥取大学医学部保健学科 野口佳子	ラダーI ラダーII申請者	31
28	看護部教育委員会	R4.10.4、5	BLS研修会	循環器内科部長 田中保則、 脳神経内科部長 安井建一、 臨床工学室主任 田儀匡史、 臨床工学技士 物部智也、福田智	全看護職員	80
29	看護部教育委員会	R4.10.8	SBAR・褥瘡	鳥取大学医学部附属病院 ティーチングナース 高田有花・須田友子 認定看護師 藤井香織	新人看護師	7
31	看護部教育委員会	R4.10.21、11.1	医療従事者に必要な接遇の基本	看護師副主任 細田めぐみ	看護補助者	42
30	看護部教育委員会	R4.10.26	リフレクション研修	鳥取大学医学部保健学科 奥田玲子	ラダーIII申請者 看護師長	21
32	看護部教育委員会	R4.11.9	呼吸器疾患	呼吸器内科部長 西井静香、 認定看護師 中本有史	全看護職員	60
33	看護部教育委員会	R4.11.22	転倒転落予防	看護師主任 三島真弓 リハビリテーション部理学療法士 中河真吾	全看護職員	32
34	看護部教育委員会	R4.11.19、12.17	事例学習報告会	発表者11名	ラダーII申請者	74
35	看護部教育委員会	R4.12.15	脳梗塞の初期治療	脳神経内科部長 安井建一	全看護職員	65
36	看護部教育委員会	R4.1.18、27	高齢者の口腔ケア	リハビリテーション部副主任言語聴覚士 浜田由香理	全看護職員	36
37	看護部教育委員会	R4.1.19、20	新人看護師 患者体験学習発表会	発表会	新人看護師	63
38	看護部教育委員会	R4.2.15	履修報告会	履修報告者5名	全看護職員	32

【論文紙上发表】

No.	著者	共著者	タイトル	誌名	巻号	始頁~終頁	年	出版	担当部署	
1	濱本哲郎	長谷川隆、河村知彦、松本栄二、堀立明、岸本幸廣、鶴原一郎、磯本一	Mucosal tearを伴った collagenous colitisの1例	鳥取医学雑誌	49	3・4	67-69	2021	鳥取県医師会	消化器内科
2	西井(伊藤)静香	榎田 豊、重白啓司、山本司生、孝田雅彦	訪問診療における中断の実態とその要因	鳥取医学雑誌	49	1・2	6~11	2021	鳥取県医師会	呼吸器内科
3	濱本哲郎	長谷川隆、河村知彦、松本栄二、堀立明、岸本幸廣、鶴原一郎、磯本一	内視鏡的に発育課程を観察し得たラズベリー様腺窩上皮型胃癌の1例	日本消化器病学会雑誌	119	1	66-71	2022	日本消化器病学会	消化器内科

【研究会・学会発表(院外)】

No.	演者	共同発表者	タイトル	学会名	場所	月日	担当部署
1	長谷川隆	河村知彦、松本栄二、濱本哲郎、堀立明、岸本幸廣、鶴原一郎、磯本一	急速に増大し腸重積を来した回腸悪性リンパ腫の1例	第115回日本消化器病学会中国支部例会	くにびきメッセ	R3.6.13	診療部(消化器内科)
2	河村知彦	濱本哲郎、長谷川隆、堀立明、松本栄二、岸本幸廣、鶴原一郎、磯本一	早期胃癌 ESD 穿孔に対し胃局所切除術で対応した一例	第126回日本消化器内視鏡学会中国支部例会	web開催	R3.7.11	診療部(消化器内科)
3	岸本幸廣	河村知彦、長谷川隆、松本栄二、堀立明、濱本哲郎、鶴原一郎	急性増悪を来した、治療に不応の B 型慢性肝炎	第98回山陰肝胆膵疾患研究会	米子コンベンションセンター	R3.7.17	診療部(消化器内科)
4	謝花典子	向山智之、八島一夫、濱本哲郎、野坂美仁、岸本幸廣、磯本一、三浦邦彦	20年経過した対策型胃内視鏡検診の現状	第59回日本消化器がん検診学会大会	神戸	R3.11.4	診療部(消化器内科)
5	長谷川隆	安井建一、河村知彦、松本栄二、濱本哲郎、堀立明、岸本幸廣、磯本一	臨床的に癌性髄膜炎を疑った多発骨転移を伴う胃癌の1例	第125回日本内科学会中国地方会	web開催	R3.11.6	診療部(消化器内科)
6	河村知彦	濱本哲郎、長谷川隆、堀立明、松本栄二、岸本幸廣、鶴原一郎、磯本一	虚血性腸炎との鑑別を要した、mucosal tearを伴った collagenous colitis の1例	日本消化器病学会中国支部第116回例会	とりぎん文化会館、web開催	R3.11.21	診療部(消化器内科)
7	謝花典子	向山智之、八島一夫、濱本哲郎、野坂美仁、岸本幸廣、磯本一、三浦邦彦	米子市における胃がん施設検診の現状と問題点-第19報-	第52回日本消化器がん検診学会中国四国地方会	松山市	R3.11.27~28	診療部(消化器内科)
8	角 賢一	近藤亮、工藤浩史	集学的治療中止後、長期再発兆候のみられない乳癌術後皮膚再発、リンパ節再発、肺転移、脳転移の一例	第29回日本乳癌学会総会	横浜 web ハイブリッド開催	R3.7.1~3	診療部(外科)
9	角 賢一	近藤亮、工藤浩史	当院における乳癌脳転移、髄膜播種症例の検討	第18回日本乳癌学会中国四国地方会	米子 web開催	R3.9.10~11	診療部(外科)
10	角 賢一	-	乳房超音波医師更新講習会試験合格	日本乳がん検診制度管理中央機構	東京	R3.11.13	診療部(外科)
11	角 賢一	竹本大樹、山根成之、近藤亮	肛門より小腸が脱出した特発性直腸破裂の一例	第83回日本臨床外科学会総会	東京/web開催	R3.11.18~20	診療部(外科)
12	角 賢一	竹本大樹、山根成之、近藤亮、工藤浩史	逐年経過観察中に発見された乳癌2例	鳥取県西部地区乳がん症例検討会	米子西部医師会館	R4.3.9	診療部(外科)
13	安井建一	-	当院のオピカボン使用症例のご紹介	第2回パーキンソン病治療WEBセミナー-in米子	ANAクラウンプラザホテル	R3.10.1	診療部(脳神経内科)
14	安井建一	-	エンスプリング投与を開始した NMOSD 2 症例	Tottori NMO Seminar	米子国際ファミリープラザ	R4.3.7	診療部(脳神経内科)
15	藤岡洋平	藤本正伸、富樫健二、中山奈都子、古志谷梨恵、仲田享平	ワークショップ (パネリスト)	日本肥満学会第18回肥満症サマーセミナー	web開催	R3.7.9	診療部(糖尿病内科)
16	大谷聡子	-	心不全チームにおける薬剤師の役割	第13回大山心臓リハビリテーション研究会	web開催	R3.8.20	薬剤部
17	白石誉之	-	頭部 MRI 位置決め画像のアーチファクトについて	山陰なかよし勉強会	web開催	R3.9.4	診療放射線部

No.	演者	共同発表者	タイトル	学会名	場所	日時	担当部署
18	山澤学志	杉原しおり、池嶋道夫	画像診断における読影の補助への取り組み	第17回中四国放射線医療技術フォーラム(CSFRT2021)	鳥取大学 医学部附属病院 Web開催	R3.12.18	診療放射線部
19	杉原しおり	山澤学志、池嶋道夫	整形外科領域における撮影位置・撮影条件の検討	2021年度鳥取県診療放射線技師学会大会 がん検診研究会	web開催	R4.3.13	診療放射線部
20	中河真吾	-	医療従事者を対象とした肩こりの関連因子の検討	中四国リハビリテーション医学研究会	オンデマンド 配信	R3.12.12 ～26	リハビリテーション部
21	高田景子	田中晶子、石倉千尋、竹村楓香、松岡洋子	急性期病棟におけるタクトールケアの導入	日本医療マネジメント学会 鳥取支部	web開催	R3.9.4	看護部(4A)
22	矢倉征道	-	コロナ禍におけるiPhone利活用	第5回中国医療情報技師会	web開催	R3.10.30	情報システム管理室
23	矢倉征道	-	iPhone導入1年後の評価	第31回広島県医療情報技師会研修会	web開催	R4.1.22	診療放射線部・ 情報システム管理室

【講演会実績(院外からの委託分)】

No.	講師	主催者名	題目	日時	部署	備考
1	安井建一	鳥取大学医学部医学科	臨床神経学講義 パーキンソン病	R3.12.13	診療部(脳神経内科)	鳥取大学医学部 医学科3年
2	藤岡洋平	興和株式会社	2型糖尿病と脂肪肝	R3.7.9	診療部(糖尿病内科)	web開催
3	中山 卓	令和3年度 鳥取県院内感染対策講習会 オンライン	消毒薬の使い方	R3.12.1～R4.1.16	薬剤部	web開催
4	矢倉征道	第17回中四国放射線医療技術フォーラム	画像の裏に隠れたDICOM情報の役割	R3.12.18～R4.1.19	診療放射線部	web開催 「モーニングセッション」
5	吾郷秀吉	鳥取県立境港総合技術高等学校	鳥取県立境港総合技術高等学校 福祉科第3学年「生活支援技術」社会人講師 リモート授業「リハビリテーションの実際」	R3.9.15	リハビリテーション部	
6	本多千鶴	NPO法人中海エリア糖尿病療養機構	糖尿病療養指導における役割と実践 チーム・患者との情報共有	R3.8.19	法人本部経営統括部 戦略推進室	令和3年度糖尿病療養指導勉強会
7	本多千鶴	鳥取県医師会	糖尿病の食事療法	R3.10.31	法人本部経営統括部 戦略推進室	鳥取県糖尿病療養指導 試験受験資格取得のための講習会
8	本多千鶴	鳥取県立米子養護学校	カラダは食事で作られる 食生活をふりかえろう!!	R4.1.17	法人本部経営統括部 戦略推進室	高等部1年基礎コース 食生活学習講師

【おしかけ出前講座】

No.	講座開催日	注文先	時間	講座タイトル	職種	講師名	部署	人数
1	R3.6.18	聴覚障害者就労継続支援センター ふくろう様	13:30～14:30	寝たきりを防ぐ!足腰健康教室	理学療法士	中河真吾	リハビリ	15
2	R3.10.20	米子ガス産業株式会社 経営管理部副部長 松井様	15:00～16:00	自宅でもできる腰痛予防	理学療法士	桑村龍司	リハビリ	16
3	R3.11.17	セブンス税理士法人山陰オフィス ご担当:総務課 竹尾静香様	13:30～14:30	自宅でも出来る肩こり対策	理学療法士	桑村龍司	リハビリ	44

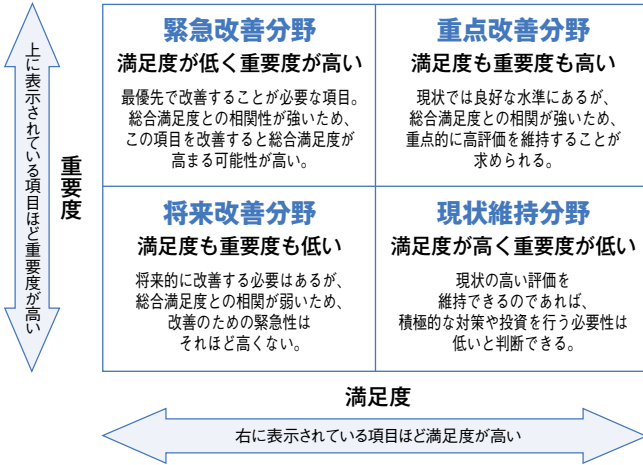
満足度調査集計方法

CSポートフォリオ分析

(患者満足度調査・開業医満足度調査・職員満足度調査)

項目別満足度と総合満足度から、重点改善項目を抽出する分析する方法

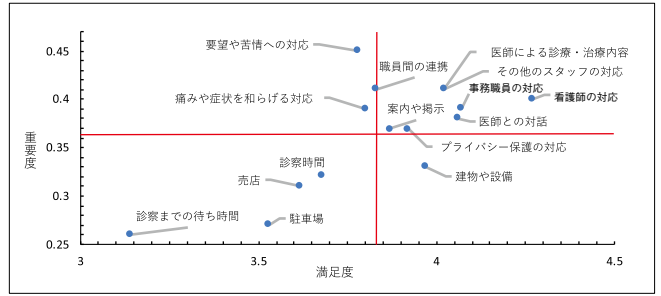
「項目ごとの満足度」を横軸、総合満足度と項目別満足度との相関係数(関係の強さ)を縦軸にとり、各項目をプロットして重点的に改善すべき項目を明らかにする。「総合満足度への影響度」と「個別項目の満足度」の2軸の空間に各項目をプロットすることにより、改善点(総合満足度と強く相関しているのに、現状の満足度が低い項目)の抽出を行い、改善施策立案・優先順位付けの判断資料とする。



2021年度 患者満足度アンケート<外来>

1.満足度

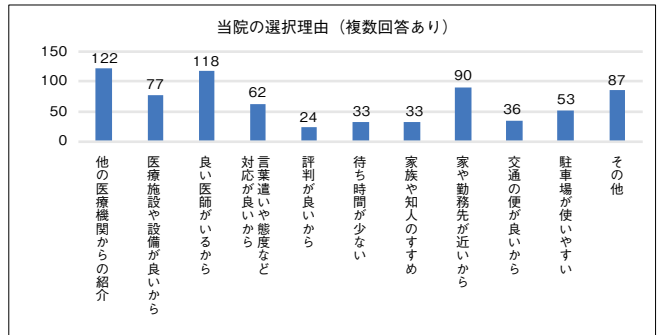
2022.01.17~2022.01.21 回答465件



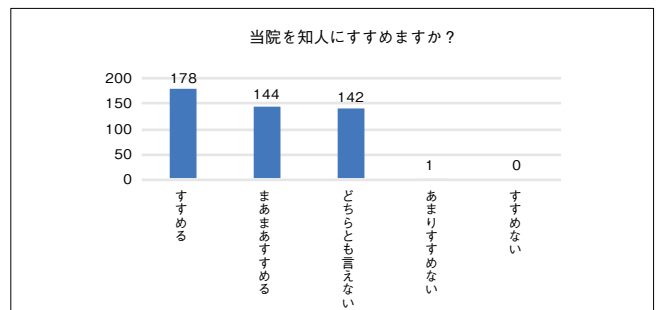
【結果】

「看護師の対応」「事務職員の対応」「医師との対話」の順で満足度が高く、「診察までの待ち時間」「駐車場」「売店」「診療時間」の順に満足度が低かった。緊急改善項目として「要望や苦情の対応」「痛みや症状を和らげる対応」「職員間の連携」があがった。

2.当院の選択理由



3.総合評価



外来・入院・透析患者満足度調査実施報告

【実施期間】

外 来:令和4年1月17日~1月21日

入院・透析:令和4年1月24日~2月28日

【実施方法】

バインダーにアンケート用紙を挟み、外来・入院および透析中の患者さんに、アンケートの主旨と記入要項等を説明し、無記名方式で回答していただいた。

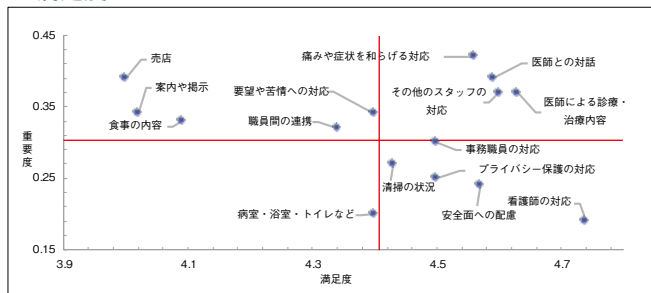
【目 的】

患者さんの声を分析し、今後のより良い病院運営と診療サービスの充実に努めるため

2021年度 患者満足度アンケート<入院>

1.満足度

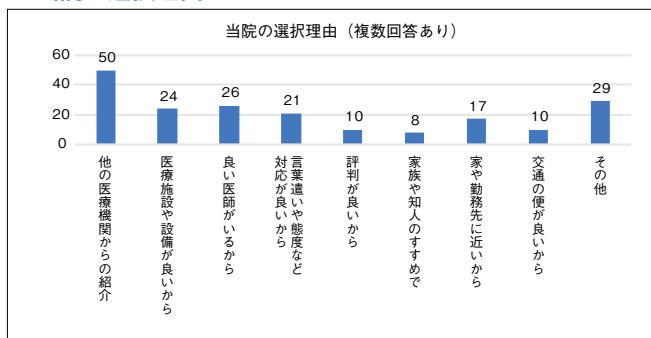
2022.01.24~2022.02.28 125件回答



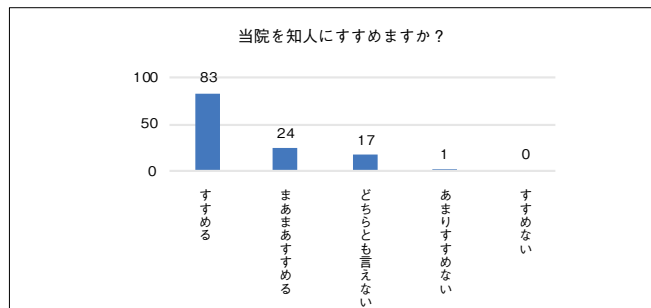
【結果】

「看護士の対応」「医師による診療・治療内容」「その他スタッフの対応」の順で満足度が高かった。満足度の低さ、緊急改善項目ともに「売店」「案内や掲示」「食事の内容」「職員間の連携」「要望や苦情への対応」の順にあがった。

2.当院の選択理由



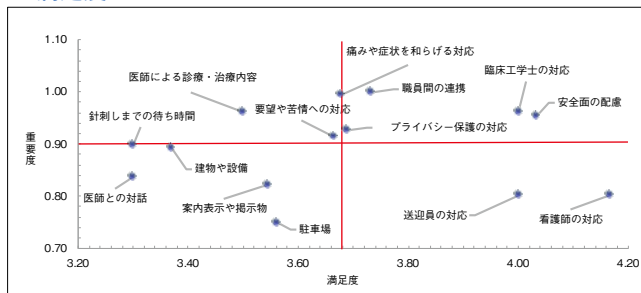
3.総合評価



2021年度 患者満足度アンケート<透析>

1.満足度

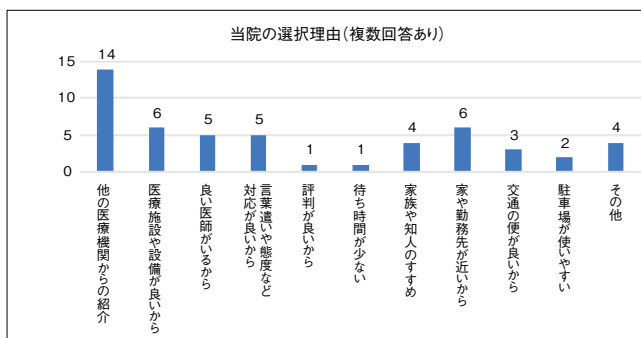
2022.01.24~2022.02.28 回答30件



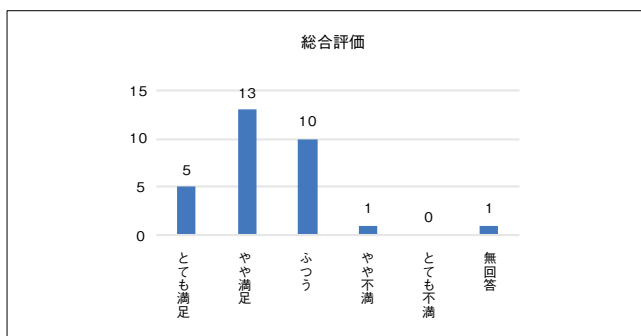
【結果】

「看護士の対応」「安全面の配慮」「送迎員の対応」および「臨床工学士の対応」の順で満足度が高く、「針刺しまでの待ち時間」「医師との対話」「建物や設備」「医師による診療・治療内容」の順に満足度が低かった。緊急改善項目として「針刺しまでの待ち時間」「医師による診療・治療内容」「要望や苦情への対応」があがった。

2.当院の選択理由



3.総合評価



2022年度 開業医満足度調査結果報告

【実施期間】

令和4年6月

【対象者】

西部地区開業医

【実施方法】

アンケート用紙を郵送し、返信用封筒にて返信していただく

【目的】

開業医の皆様から率直なご意見をいただき、地域の先生方と患者さんに満足して頂ける病院となるために、今後のより良い病診連携につなげる。

【配布枚数】

182枚

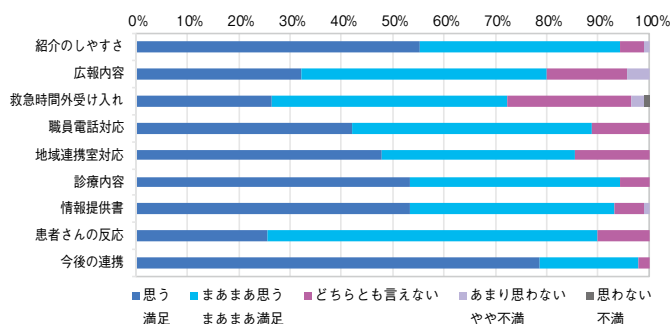
【回収枚数(回収率)】

91枚(50%)

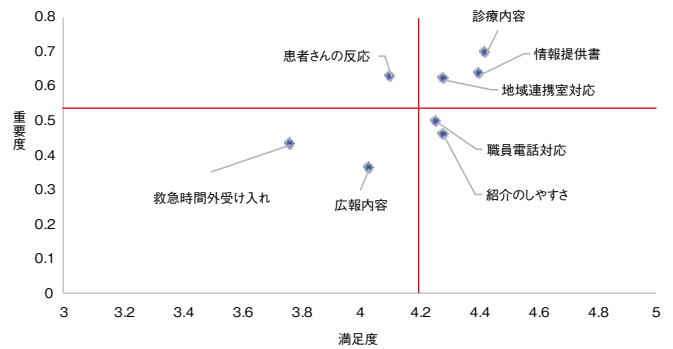
【設問内容】

- ①博愛病院に患者さんを紹介しやすいと思いますか？
 思う・まあまあ思う・どちらとも言えない・あまり思わない・思わない
- ②博愛病院の広報内容(年誌博愛便・季刊free magazine博愛すまいるん・ホームページ等)は、情報源として活用しやすいと思いますか？
 思う・まあまあ思う・どちらとも言えない・あまり思わない・思わない
- ③救急時・時間外の受け入れ体制はいかがですか？
 満足・まあまあ満足・どちらとも言えない・やや不満・不満
- ④職員の電話対応はいかがですか？
 満足・まあまあ満足・どちらとも言えない・やや不満・不満
- ⑤地域連携室の対応はいかがですか？
 満足・まあまあ満足・どちらとも言えない・やや不満・不満
- ⑥紹介された患者さんへの診療内容はいかがですか？
 満足・まあまあ満足・どちらとも言えない・やや不満・不満
- ⑦返書や診療情報提供書(検査結果等の添付資料を含む)の内容はいかがですか？
 満足・まあまあ満足・どちらとも言えない・やや不満・不満
- ⑧博愛病院を受診された患者さんの反応はいかがですか？
 満足・まあまあ満足・どちらとも言えない・やや不満・不満
- ⑨博愛病院との連携を続けたいと思いますか？
 思う・まあまあ思う・どちらとも言えない・あまり思わない・思わない

【結果①】満足度



【結果②】CSポートフォリオ分析



【結果③】フリーコメント内訳

項目	良いところ	良くないところ
紹介しやすさ	1	0
ホームページ	0	0
救急時間外の受け入れ	2	2
電話対応	0	2
地域連携室対応	0	1
診療内容	0	1
診療情報提供書	0	3
患者さんの反応	0	1
今後の連携	1	0
その他	5	2

開業医の皆さまより、貴重なご意見をいただきました。病院執行部会が中心となり、関係部署とともに改善に努めてまいります。

2021年度 職員満足度調査実施報告

【実施期間】

令和3年7月30日(金)～8月20日(金)

【対象者】

令和3年7月30日時点で同愛会に就業している全職員
(正規職員・嘱託職員・短時間職員)
(長期欠勤者・派遣・出向職員・外部委託業者は除く)

【実施方法】

日本医療機能評価機構 病院機能評価事業支援システムの利用

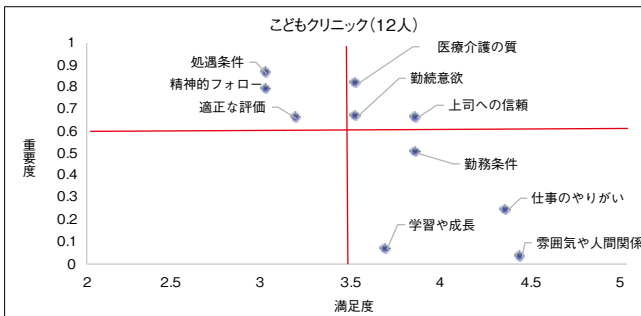
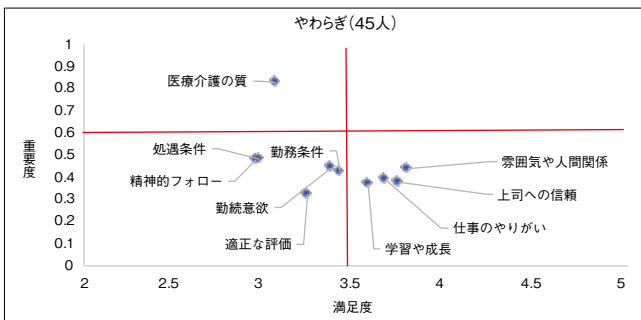
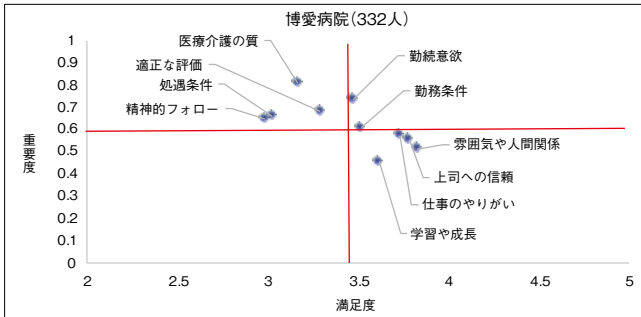
【目的】

組織の強みと弱み、職員のモチベーションの状況を可視化するほか、職員の声(自由記述の内容)を分析することで、提供される医療の質を高める糸口となり、今後のより良い組織づくりにつなげるため

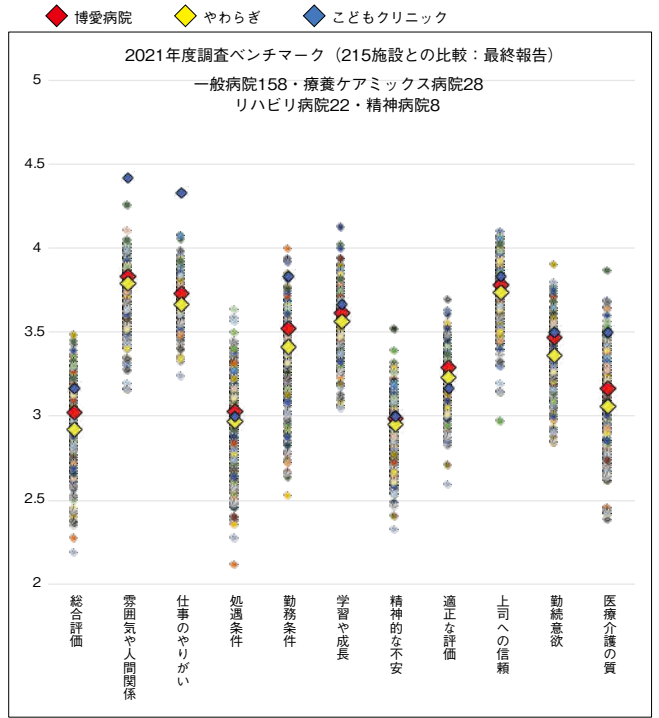
【回答数(回答率)】

390人(79%)

【施設別CSポートフォリオ分析】



【日本医療機能評価機構ベンチマーク比較】



広告物紹介

院内広報誌
博愛かるがもニュース

発行：毎月定期発行
対象：院内職員向け



医療機関向け情報誌
博愛便

発行：年1回 発行
発行部数：700部
対象：医療機関向け



院外広報誌
博愛すまいるん

発行：春号、夏号、秋号、新年号の
年4回の定期発行
発行部数：4,000部/回
対象：地域のみなさま向け



100周年記念誌

大正10年「博愛衆に及ぼす」という志のもとに創立された博愛病院は、昨年10月に創立100周年を迎えました。節目の年として令和4年3月に記念誌を発刊いたしました。大山と弓ヶ浜を表紙に刻印し、博愛病院と同愛会の100年の歩み、関係各所からのメッセージや回顧録、現在の取り組みをまとめています。



ホームページ

随時情報を更新しています。
詳しくは
<https://www.hakuai-hp.jp/>



【外来診療予約・放射線科検査予約】について

予約受付時間 平日8時30分～17時00分

外来診療の予約

紹介元医療機関

事前予約受付用FAX用紙

ご記入後FAX送信

(ご希望の診療科・医師名・受診希望日等記載)

地域連携室直通

FAX (0859) 48-0376

放射線科(MRI/CT)の予約

紹介元医療機関

放射線部に直接電話

TEL (0859) 48-0418

放射線部担当者が予約をお取りします。
電話にて予約後、紹介患者予約受付用
FAX用紙にてFAX送信をお願いいたします。

地域連携室直通

FAX (0859) 48-0376

地域連携室

予約手続きを行い、折り返し『予約票』をFAXにて送信いたします。(10～15分程度)

紹介元医療機関

患者さんへ『予約票』・『紹介状』を渡していただき、当日持参して頂くようにお伝え下さい。

※紹介患者さんの来院日が決まりましたら、先に診療情報提供書をFAXしていただきますようお願いいたします。

患者さん 〈診療・検査当日〉

総合受付(1Fロビー)に紹介状等を持参の上、お越し下さい。各診療科への受付を行います。

※セカンドオピニオン外来の予約は、完全予約制となっていますので
下記までご連絡お願いいたします。

患者支援部 地域連携室：TEL (0859) 48-0377

ご不明な点がございましたら、患者支援部 地域連携室までお問い合わせください。



FAX (0859)48-0376

博愛病院 紹介患者予約受付用FAX用紙

年 月 日

紹介目的	診療科	<input type="checkbox"/> 循環器内科	<input type="checkbox"/> 消化器内科	<input type="checkbox"/> 脳神経内科	<input type="checkbox"/> 糖尿病内科	<input type="checkbox"/> 呼吸器内科
		<input type="checkbox"/> 外科	<input type="checkbox"/> 乳腺外科	<input type="checkbox"/> 整形外科	<input type="checkbox"/> 産婦人科	<input type="checkbox"/> 眼科
		<input type="checkbox"/> 放射線科	<input type="checkbox"/> 泌尿器科	<input type="checkbox"/> 皮膚科		
		<input type="checkbox"/> その他記載 ()				
	指定医師	無 ・ 有	医師名			
	主訴(病名等)					
受診希望日	第1希望日	年	月	日	担当医師 への事前 連絡	有
	第2希望日	年	月	日		医師名 ()
	第3希望日	年	月	日		無

※緊急時や当日の場合、電話で事前の来院連絡をいただいている患者様は、下記のみご記入下さい。
事前にカルテをご用意します。(保険情報は保険証もしくはカルテのコピーをFAXしていただいてもかまいません。)

フリガナ	M・T・S・H・R			性別	
氏名	様	年	月	日 (歳)	男 ・ 女
住所	〒	—	TEL ()	—	当院受診歴
					有 ・ 無

保険情報 本人 家族

保険者番号		資格取得	年	月	日
記号・番号	.	有効期限	年	月	日
被保険者 (世帯主)					
後期	広域連合番号	資格取得	年	月	日
	被保険者番号	有効期限	年	月	日
	負担割合	<input type="checkbox"/> 1割・ <input type="checkbox"/> 3割			
公費	負担者番号	資格取得	年	月	日
	受給者番号	有効期限	年	月	日

その他記載事項

病院・診療所名
施設名
医師氏名

TEL
FAX

地域連携室受付時間	本書送信先
平日 8:30~17:00 休診日 土曜・日曜・祝日・年末年始(12/29~1/3)	博愛病院 患者支援部 地域連携室 TEL (0859)48-0377 FAX (0859)48-0376

※折り返し、「予約票」をFAXいたします。患者様にお渡し下さいますようお願いいたします。
※時間外・夜間・休日の電話・FAXは代表番号へ切り替わります。予約手続きは翌平日となりますので、ご了承下さい。
※当日紹介については、FAX予約は致しかねますご了承下さい。

博愛病院 外来診療担当医師一覽表

令和4年10月1日現在

診療科目		月	火	水	木	金	
内科	午前診	1 診	ベースメーカー外来 田中 保則 (循環器)	田中 保則 (循環器)	●鳥大医師 (循環器)	田中 保則 (循環器)	田中 保則 (循環器)
		2 診	山本 宗平 (消化器)	浜本 哲郎 (消化器)	安井 翔 (消化器)	山本 宗平 (消化器)	浜本 哲郎 (消化器)
		3 診	足立 晶子 (脳神経内科)	●鳥大医師 (脳神経内科)	足立 晶子 (脳神経内科)	安井 建一 (脳神経内科)	安井 建一 (脳神経内科)
		4 診		松本 栄二 (肝臓)	堀 立明 (肝臓)	松本 栄二 (肝臓)	堀 立明 (肝臓)
		5 診	竹内 龍男 (糖尿病)	竹内 龍男 (糖尿病)	藤岡 洋平 (糖尿病)	竹内 龍男 (糖尿病)	藤岡 洋平 (糖尿病)
		6 診	山本 司生 (呼吸器)	●鳥大医師 (呼吸器)	西井 静香 (呼吸器)	山本 司生 (呼吸器)	西井 静香 (呼吸器)
		7 診			重白 啓司 (総合診療内科)	●鳥大医師(第1,3,5) (総合診療内科・血液内科)	重白 啓司 (総合診療内科)
		8 診	岸本 幸廣 (消化器)				岸本 幸廣 (消化器)
		禁煙外来	休止中				
		午後診	予約再来				
小児科	小児リハビリテーション (13時30分～14時30分)	●博愛こども発達・在宅 支援クリニック医師	●博愛こども発達・在宅 支援クリニック医師		●博愛こども発達・在宅 支援クリニック医師	●博愛こども発達・在宅 支援クリニック医師	
外科	午前診	1 診	竹本 大樹	山根 成之	近藤/竹本/山根 交代	竹本 大樹	山根 成之
		3 診	近藤 亮	角 賢一	[アミノインデックス外来] 木村 修	近藤 亮	角 賢一
		午後診	予約再来				
		ストーマ外来					交代
		乳腺専門 外来 ※午後(14時～15時30分)	午前診 午後診	角 賢一	角 賢一 (新患のみ)	角 賢一 (新患のみ)	角 賢一 (新患のみ)
腎臓外科	午前診	杉谷 篤		杉谷 篤			
	午後診	杉谷 篤	杉谷 篤	杉谷 篤	杉谷 篤		
整形外科	午前診	1 診	根津 明菜	中村 達彦	根津 明菜	中村 達彦	●奥野 誠
		2 診	山本 吉蔵		●鳥大医師 (診療：9時～)	山本 吉蔵	根津 明菜
		3 診	●岸本 英彰	三木 純		三木 純	
		人工関節専門外来	山本 吉蔵			山本 吉蔵	
		骨粗鬆症専門外来	山本 吉蔵	中村 達彦		中村達彦/山本吉蔵	
		午後診	予約再来				
リハビリテーション科	午後診	中村 達彦					
産婦人科	午前診	片桐 千恵子	石原 幸一	下雅意 るり	片桐 千恵子	石原 幸一	
	午後診	下雅意 るり	片桐 千恵子	石原 幸一	片桐/石原/下雅意 交代		
	女性内分泌外来・思春期外来 (14時～16時)					片桐 千恵子 (予約制)	
泌尿器科	午前診 (受付：11時まで)		●鳥大医師 (診療：9時30分～)		●鳥大医師 (診療：9時30分～)	●宮川 征男	
眼科	午前診 (受付：水曜10時まで 月・火・木・金曜11時まで)	小松 恵子	小松 恵子	小松 恵子	小松 恵子	小松 恵子	
放射線科	午前・午後	中村 希代志/ ●鳥大医師(第1,2)	中村 希代志	中村 希代志	中村 希代志/ ●鳥大医師(月2回)	中村 希代志	
皮膚科	午後診 (受付：13時30分～16時)				●鳥大医師 (診療：14時～)		
救急科	午前診			●鳥大医師			
ドック健診センター	1 診	鶴原 一郎		鶴原 一郎		鶴原 一郎	
	2 診		工藤 浩史	工藤 浩史	工藤 浩史		
	3 診	木村 修	木村 修		木村 修	木村 修	

※内科、外科、整形外科の午後は原則、予約再来ですが、救急、紹介患者さんにつきましては従来通り対応しています。
●は非常勤医師です。 各診療科とも、緊急手術等のため休診となる場合もございますので、事前にお電話等でご確認下さい。

受付・診療時間	午前	午後	お問い合わせ
受付時間	8時00分～12時00分まで	14時30分～16時50分まで	〒683-0853 鳥取県米子市両三柳1880番地
診療時間	8時30分より	15時00分より	TEL(0859)29-1100(代)

（切り取ってお使い下さい）

博愛病院年誌

「博愛便2022」HAKUAI information

発行日 令和4年9月

発行 社会医療法人 同愛会 博愛病院

〒683-0853 鳥取県米子市両三柳1880番地

TEL (0859)29-1100(代)

FAX (0859)29-6322

印刷 東京印刷株式会社



博愛病院 連絡先一覧	TEL	FAX
[代 表]	(0859) 29-1100	(0859) 29-6322
[地 域 連 携 室]	(0859) 48-0377	(0859) 48-0376
[診 療 放 射 線 部 (共 同 利 用)]	(0859) 48-0418	(0859) 48-0376
[ド ッ ク 健 診 セ ン タ ー]	(0859) 48-0880	(0859) 48-0881
[訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン 博 愛]	(0859) 24-8119	(0859) 24-8120
[訪 問 リ ハ ビ リ ス テ ー シ ョ ン 博 愛]	(0859) 29-1136	(0859) 24-8120
[サ ー ビ ス プ ラ ン 博 愛]	(0859) 48-0366	(0859) 48-0367
[ハ ル パ ー ス テ ー シ ョ ン 博 愛]	(0859) 29-2322	(0859) 48-0367

同愛会グループ

- ・ 博愛こども発達・在宅支援クリニック ・ 介護老人保健施設やわらぎ
- ・ ふくよね博愛クリニック ・ やすぎ博愛クリニック